

特許局技師 安藤 格
特許局事務官 奥山 萬次郎

*六

第一千二百六十六號

静岡縣濱名郡濱松町傳馬三百六十二番地

請 求 人 帝國製帽株式會社

東京市日本橋區濱町二丁目十一番地特許代理業者

代 表 者 氣賀 賀子 治

大阪市北區天滿橋筋六丁目番外二十九番地

右代理人 岩岡 伊代 治

東京市京橋區南大工町九番地特許代理業者

被請求人 株式合資濱谷帽子會社

東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許代理業者

代 表 者 俣 野 音次郎

右帝國製帽株式會社ヨリ株式合資濱谷帽子會社ニ對シ第一三三六號登錄實用新案ヲ無効トスル爲審判ヲ

右代理人 淺見 芳太郎

請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

右代理人 稻木 繁太郎

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第一三三六號實用新案登錄ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔タルヘシト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ一枚ノ氈毛ニテ帽子ヲ製作スルヲ以テ自己ノ考案ナリトシ實用新案ノ登錄ヲ出願シ明治三十九年二月二十二日第一三三六號ヲ以テ登錄セラレタルモ右ハ請求人ノ考案ニシテ既ニ明治三十八年十月十二日第四九五號ヲ以テ登錄ヲ受ケタルモノナレバ被請求人ハ實用新案法第十八條ニ依リ登錄ヲ受クルノ權利ヲ有セス今兩者ノ登錄證ヲ對照スルニ其ノ文字ハ素ヨリ同一ニアラ

サルモ其ノ意味ニ於テハ全然同一ナリ即チ請求人ノ第四九五號登錄請求範圍ニハ「圖面ニ示ス如キ形狀ニシテ繼目ナキモノ」トアリ被請求人ノ第一三三六號ノ請求範圍ニハ「圖面ニ示セル如ク全體ヲ一枚ノ氈毛ニテ製シ」云々トアリテ繼目ナキモノト云ヒ一枚ノ氈毛ト云フモ同一物ナルコト明ナリ柳帽子ノ原料ハ三角形ノ袋ニシテ從來世人ノ普ク使用シ來リタル山高帽子、中折帽子等ノ如キ種類ノ帽子ヲ製造スルニハ適スルモノ本件ノ如キ帽子ヲ製造スルコトハ非常ノ困難ニシテ東洋西洋共ニ不能ノ技トシテ鳥打帽子ノ如キモ皆數枚ノ小氈毛ヲ繼キ合セテ作りタルモノナリ然レトモ若シ一枚ノ羅紗ニテ之ヲ作ルコトヲ得ルモノトセバ其ノ形狀、工費、耐久力、美觀等繼キはぎノモノト同一ニアラサルニヨリ請求人會社ハ辛苦經營スルコト數年漸ク宿望ヲ達スルニ至リタルヲ以テ直ニ登錄ヲ受ケタリ尙ホ請求人ノ實用新案法第十八條ヲ引用シタルハ同條ニ依リ登錄ヲ受クル權利ヲ有セサルコトヲ論シタルモノニシテ其ノ登錄ノ無効ヲ主張シタルハ同法第三十一條ニ依リタルモノナリト云フニアリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ請求ハ其ノ理由ナキヲ以テ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔タルヘシト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ第一三三六號登錄實用新案及第四九五號登錄實用新案ハ其ノ構成同一ニシテ請求人ノ登錄カ先願ナルカ故ニ被請求人ノ登錄ハ實用新案法第十八條ニ依リ登錄ヲ受クル權利ヲ有セサルヲ以テ無効ナリト云フモ被請求人ノ第一三三六號實用新案ノ無効ヲ請求スルニ實用新案法第十八條ヲ適用スルハ誤レリ何トナレハ第十八條ノ法意ハ同一若クハ類似ノ出願カ共ニ繼續シテ出願中ニ係ル場合ヲ規定シタルモノニシテ第一三三六號ノ出願ニ先チ第四九五號ハ既ニ登錄セラレタルモノナルヲ以テ第一三三六號ノ出願中ニ於テハ最早第四九五號ハ出願中ニアラサレハナリ請求人ハ又一枚ノ羅紗ヲ以テ帽子ヲ構成スルコトカ自己ノ權利ナルカ如ク主張スルモノ元來羅紗ナル語ハ一種ノ毛織物ニ對スル通語ニシテ被請求人カ第一三三六號ニ所用スル處ノ資料ハ毛織物ニアラスシテ羊毛ヲ以テ縮絨セシメ

*七

袋狀トナシタル所ノ所謂普通帽子ノ資料タル氈毛ナリトス故ニ請求人ノ實用新案ト被請求人ノ實用新案トハ其ノ資料ニ於テ特別アルモノトス尙ホ請求人ノ實用新案ハ其ノ形狀全然普通ノ鳥打帽ト同一ナルモ被請求人ノ實用新案ハ軍帽ト同一ノ形狀ナリ其ノ構造ニ於テモ兩者相異ナリ一ハ牝牡ノ金具ヲ以テ帽子ノ前部ト庇トヲ接着シタルニ反シ他ハ(イ)ナル平坦ノ頂上ニ(ロ)ナル縁縫ヲ設ケ境界部ニ(ハ)ナル縫目ヲ施設シ(ニ)ナル數多ノ氣孔ヲ穿テ(シ)ナル環ヲ(ウ)ノ内側ニ挿嵌シタルモノニシテ彼是全然其ノ構成ヲ異ニスルモノトス元來帽子ナルモノハ山高、中折等ト雖モ悉ク一枚ノ氈毛ヲ以テ構成シタルモノナルカ故ニ之ヲ以テ適宜ノ形狀ナル帽子ヲ構成スルモ第四九五號ノ登録ニ關係ヲ有スルモノニアラスト云フニアリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 本件請求人ノ第四九五號登録實用新案帽子ハ明治三十八年九月二十五日登録ヲ出願同年十月十二日登録セラレタルモノニシテ其ノ願書中登録請求範圍トシテ「別紙圖面ニ示ス如キ形狀ニシテ縫目ナキ帽子(イ)トアリ又其ノ圖面ノ説明ニ依レハ(イ)ハ羅紗類ヲ以テ作レル縫目ナキ帽子、(ロ)ハ縫目ナキ帽子(ニ)ヨリ突出シタル庇トアリ而シテ被請求人ノ第三三三六號登録實用新案帽子ハ全體ヲ一枚ノ氈毛ニテ製シ内部ニ綴ヲ挿入シ周圍ニ空氣抜鳩目ヲ施シタルモノナルカ故ニ縫目ナキ帽子ノ構造ハ請求人ノ第四九五號實用新案ノ權利ニ屬スルト雖モ被請求人ノ實用新案ハ其ノ外ニ帽子ノ内部ニ綴ヲ挿入シ周圍ニ空氣抜ノ鳩目ヲ施シタルヲ以テ此ノ點ニ於テ其ノ構造ヲ異ニスシ兩者ハ別種ノ構造ヨリ成ルモノト云ハサルヲ得ス而シテ其ノ實用新案權亦此ノ點ニ存スルヲ以テ被請求人ノ實用新案登録出願以前ニ於テ請求人ノ實用新案ノ登録アルモ之カ爲被請求人ノ實用新案ハ無効トナルヘキモノニ非ラス其ノ他當事者双方ニ於テ論争スル所アルモ必要ナキニ依リ説明セス
 右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス
 審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年二月四日於特許局

審判長 特許局事務官 宿利英治
 特許局技師 安藤藤格
 特許局事務官 奥山萬次郎

第一千三十一號

請求人 磐井彦太郎
 代理人 大野成之
 被請求人 西尾六三

東京市赤坂區田町一丁目二番地
 東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許代理業者
 名古屋市駿河町百一番戸

右磐井彦太郎ヨリ西尾六三ニ對シ第三三三〇號登録實用新案ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ付審理ヲ遂タル處
 請求人申立ノ要領ハ第三三三〇號實用新案輕便掛「ランプ」ノ登録ハ無効スト審決相成度其ノ理由ハ被請求人カ明治三十八年八月八日實用新案ノ登録ヲ出願シ同年九月八日第三三三〇號ヲ以テ登録ヲ受ケタルモノト同一ノ「ランプ」ハ去ル明治三十七年既ニ請求人ノ考案ニ成リ勝電燈ト稱シテ同年四月之ヲ製造販賣シタルヲ始メトシ同年中數回新聞紙ニ廣告シ又東京、横濱、名古屋、大阪、長崎等ノ商人ニ特約販賣シタルコトアリ其ノ他今日迄引續キテ販賣シタルモノ夥シキヲ以テ前記實用新案第三三三〇號登録ニ係ル「ランプ」

ハ其ノ登録出願以前帝國内ニ於テ公ニ用キラレタルモノ又ハ少クモ之ニ類似スルモノナルヲ以テ實用新
案法第一條第二項第一號ニ該當シ其ノ登録ハ無効ナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至第十三號證ヲ提出
シ且證人ノ訊問ヲ請求シタリ

被請求人ハ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ差出サス
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件第三一〇號實用新案權ハ明治三十八年八月八日實用新案ノ登録ヲ出願シ同年九月八日登録シタル
モノナリ然ルニ本件實用新案ニ係ル「ランプ」ト同一ノモノカ明治三十七年頃ヨリ請求人ニ依リ廣ク販
賣セラレタルノ事實ハ證人赤堀龜次郎ノ證言ニ依リ明瞭ナルヲ以テ本件實用新案權ニ係ル「ランプ」
ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ同法第三十一條ニ依リ其ノ登録ハ之ヲ無効トスヘキモノ
トス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

第三一〇號登録實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年二月五日於特許局

審判長 特許局事務官 宿利英治
特許局事務官 松田啓太郎
特許局技師 安藤格

第一千二百四十四號

北海道石狩國空知郡岩見澤村字志文 請求人 辻村直四郎
北海道石狩國夕張郡角田村字栗山 被請求人 藤井藤藏

右辻村直四郎ヨリ藤井藤藏ニ對シ第二九八一號實用新案ノ登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ付審
理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ登録ヲ受ケタル實用新案第二九八一號草取器四德「ホ」ノ登録ハ無効ナ
リト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ請求人ノ突「ホ」ヲ模造スルニ當リ三角形ノ一部ヲ加ヘテ類似ノ
モノヲ作り實用新案トシテ登録ヲ受ケタルモノニシテ突「ホ」ノ特長ヲ其ノ儘採用シ些ノ改良無ク唯
同一ナリトノ責ヲ免レンカ爲ニ刃端ノ一部ヲ尖形トナシタルハ却テ除草ヲ困難ナラシムルノミナラス研
磨ヲ不易易ナラシメ重量ヲ増スノ不便アリ從テ四德「ホ」ハ突「ホ」ノ一部ヲ有害無意味ニ變形セシノ
ミナレハ類似ノモノニシテ登録ヲ受ケタルノ權利ナキカ故ニ無効ナリト云フニ在リ
被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ四德「ホ」ハ突「ホ」トハ全然其ノ
形體ヲ異ニス之ヲシモ類似ナリトセハ突「ホ」ニ在リテモ全ク新案ナリト云フヲ得ス何トナレハ從來使
用セラレ「シヨブルホ」三角「ホ」ノ如キハ突「ホ」ニ酷似スレハナリ又突「ホ」ハ庭園ノ如キ硬堅
ノ土地ナレハ或ハ刃端ノ研磨宜キヲ得レハ除草シ得ラル、モ田畑耕地ニ在リテハ有效ナラス殊ニ雜草繁
茂又ハ畦間中凹ナル箇所ニ在リテハ全然其ノ用ヲナサスト云フニ在リ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件請求人ノ所有ニ係ル登録第五三三號實用新案突「ホ」ハ長方形ノ鋼版ノ周邊ニ刃ヲ付シ兩端ニ近

ク二箇ノ刀尖杆ヲ設ケ中央ニ支持杆及ヒ柄ヲ付シタルモノニシテ其ノ登録ヲ受クルコトヲ得タルハ主
トシテ此ノ種ノ除草器ニ新規ナル刀尖杆ヲ設ケタルノ點ニ在ルハ疑フヘカラス而シテ被請求人ノ有ス
ル登録第二九八一號實用新案四德「ホー」ハ菱形ノ兩端ヲ切斷シタル形狀ノ鋼版ノ周邊ニ刃ヲ付シ中央
ニハ柄ヲ付スヘキ支持杆ヲ設ケ其ノ兩側ニ四箇ノ刀尖杆ヲ配設シタルモノナリ然ルニ除草器ニ於テ
二箇ノ刀尖杆ヲ設ケルハ前記第五三三號突「ホー」ノ實用新案權ノ範圍ニ屬スルヲ以テ第二九八一號實
用新案四德「ホー」ニ於テ刀尖杆ヲ設ケタルノ點ハ實用新案法第十四條ニ該當スト雖モ鋼版ヲ菱形ト爲シ
且之カ爲之ヲ土中ニ推進セシムルニ當テ抵抗ヲ少カラシメタルハ前記突「ホー」ニ比シ實用上效果ヲ異
ニスルモノト認ムルヲ以テ請求人ノ主張ノ如ク其ノ登録カ無効ニ屬スヘキモノナリト云フヲ得ス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年二月五日於特許局

審判長 特許局事務官 松田啓太郎
特許局技師 安藤格
特許局事務官 人見次郎

第一千二百五十五號

東京市日本橋區通油町二番地

請求人 藤掛與左衛門

東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許代理業者

右代理人 稻木繁太郎

東京市下谷區入谷町三百二十八番地

被請求人 柴山善三

右藤掛與左衛門ヨリ柴山善三ニ對シ第六一九三號實用新案登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ付審
理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ登録ヲ受ケタル第六一九三號登録實用新案ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被
請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人ハ明治四十年四月十二日本件實用新案登録ノ出願
ヲ爲シ同年七月二十五日第六一九三號ヲ以テ其ノ登録ヲ受ケタルモノナリ而シテ該品ノ構造ハ普通内記
ト稱スル組紐ノ面ニ容易ニ種々ノ模様ヲ顯出スヘク別紙ヲ以テ組紐ハシタルモノナリ然ルニ之ト同一
ノ品物ハ明治三十年十一月七日ヨリ請求人ニ於テ製造販賣シ且又明治四十年三月開會ノ東京勸業博覽會
ニモ出品シタリ其ノ他請求人以外ニ於テハ平田常次郎、金子安平、栗田房治等カ之ヲ製造シ且前述博覽會
へ出品シタル事實アリテ第六一九三號登録實用新案ハ其ノ出願前公知公用ニ屬スルモノナリ且被請求人
ノ本件第六一九三號實用新案登録出願前明治四十年四月九日栗田房治ヨリ同様ノ實用新案登録ノ出願シ
タルニ普通ニ存在スル物品ナリトノ理由ヲ以テ登録ヲ拒絕セラレタルモノナルカ故ニ右實用新案ハ實
用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ無効ナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第六號證ヲ提出シ且證
人訊問ヲ請求シタリ

被請求人ハ答辯書ヲ提出セス又口頭審判期日ニモ出廷セス
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ證人ノ供述ヲ聽キ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件第六一九三號實用新案權ハ明治四十年四月十二日其ノ實用新案ニ付登録ヲ出願シ同年七月二十五
日登録シタルモノナリ然ルニ右實用新案ト其ノ構造ヲ同フスル實用新案ハ明治四十年四月九日即チ前

記實用新案ノ登録出願前東京市淺草區南富坂町七番地粟田房治ヨリ登録ヲ出願シ同年四月十九日實用新案法第一條第二項第一號ニ該當ストノ理由ヲ以テ其ノ登録ヲ拒絕セラレ其ノ處分確定シタルモノナルヲ以テ本件第六一九三號登録ニ係ル實用新案權ノ實用新案法第十八條ノ規定ニ違フモノナリ加之前記實用新案ハ其ノ登録出願前公ニ用キラレタルモノナルコト證人高力直寛ノ供述ニ依リ明瞭ナルヲ以テ右實用新案權ハ實用新案法第三十一條ニ依リ之ヲ無効トスヘキモノナリ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
第六一九三號實用新案權ハ之ヲ無効トス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年二月二十日於特許局

審判長 特許局事務官 宿 利 英 治

特許局技師 安 藤 格

特許局事務官 人 見 次 郎

第一千二百六十一號

熊本縣下益城郡杉合村字小岩瀬九百十番地

熊本縣下益城郡杉合村字井崎四百四十四番地

佐賀縣東松浦郡佐志村大字佐志四千三百四十一番地

右志垣三次後藤金太郎ヨリ宮崎寅治ニ對シ第二四〇四號登録實用新案權利確認ノ爲審判ヲ請求シタルニ

請 求 人 志 垣 三 次

請 求 人 後 藤 金 太 郎

被 請 求 人 宮 崎 寅 治

付審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第二四〇四號登録實用新案ハ請求人等カ多年製造セシ糶摺器ト撞着スト審決相成度其ノ理由ハ請求人等ハ第一號圖面ノ器ニ基キ工夫ヲ凝ラシ第二號圖ノ器ヲ案出シ明治二十二年以來繼續製造シ來リシニ被請求人ハ明治三十八年之ト同一器械ニ付實用新案ノ登録ヲ受ケ請求人等カ多年製造シ來レル權利モ之カ爲ニ蹂躪セラレタリト云フニアリテ志垣平作外六名ノ證明書ヲ提出セリ被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ主張ハ不當ニ付申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ明治二十二年以來第二四〇四號登録實用新案ノ糶摺器ト同様ノ糶摺器ヲ製造シ來リタリト云フモ被請求人ハ如斯事實ヲ認メス尙ホ請求人ハ此ノ事實ヲ立證スル爲メ志垣平作外三名ノ署名アル證明書ヲ提出シタルトモ如斯證書ハ隣友知人ニ依頼スルトキハ自由ニ作製スルコトヲ得ルモノナレハ信ヲ置クニ足ラス尙ホ請求人後藤金太郎ノ如キハ明治三十九年中被請求人ノ許諾ヲ受ケ右第二四〇四號登録實用新案糶摺器ヲ製造販賣シタルコトアリト云フニアリテ乙第一號證ヲ提出セリ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
請求人等ハ明治二十二年以來被請求人ノ第二四〇四號登録實用新案糶摺器ト同一物品ヲ製造販賣セリト主張シ其ノ證據トシテ志垣平作外六名ノ署名ニ係ル證明書ヲ提出セリト雖モ右證明書ハ私人ノ作成ニ係リ隨時ニ作成シ得ヘキ性質ノモノナルカ故ニ之ニ據リ請求人等主張ノ事實アリト認定スルコトヲ得ス加之被請求人ノ實用新案糶摺器ハ其ノ胴ノ内部ニ於テ心棒ヲ包圍スル部分ニハ最モ堅強ナル砂利、砂土、石灰及煉土ノ混合物ヲ用キ其ノ兩齒ヲ保持スルニハ堅強ナル砂土、石灰、煉土及食鹽ノ混合物ヲ用キ而シテ兩齒ノ摺レ合フヘキ部分ニハ軟弱ナル砂土、煉土及食鹽ノ混合物ヲ用フル構造ヲ有スルモ請求人等カ製造販賣セリト主張スル糶摺器ハ胴ノ内部ニ於テ單ニ赤土及食鹽ノ混合物ヲ用キタリ

ト謂フニ過キス此ノ點ニ於テ被請求人ノ實用新案ノ構造ト差異アルモノト認ム從テ該實用新案ト撞着
スルモノニアラス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス
明治四十一年二月二十日於特許局

審判長 特許局長 中 松 盛 雄
特許局技師 鈴木千代吉
特許局事務官 奥山萬次郎

第一千二百九十三號

津市西來寺町五番屋敷 請 求 人 岡 本 清 吉
津市上濱町百七十四番屋敷 被 請 求 人 中 川 芳 之 助
右岡本清吉ヨリ中川芳之助ニ對シ第六八一九號實用新案登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審
理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ登錄第六八一九號實用新案中川式味噌豆碎練機ノ登錄ハ無効ナリト審決相成度其ノ
理由ハ請求人ハ被請求人ノ本件實用新案登錄出願前被請求人ト共同考案ニ成レル味噌豆破碎機ニ對シ明
治三十六年七月特許ヲ出願シタルモ特許拒絕ノ査定ヲ受ケタルヲ以テ其ノ後兩名ハ更ニ共同考案ノ上該

機械ニ改良ヲ加ヘ本件實用新案ト同一ノ機械ヲ請求人ニ於テ製造シ共同販賣シタルヲ以テ該實用新案登
録出願以前既ニ三重及岐阜兩縣下ノ各地ニ販賣シ現ニ公ニ之ヲ使用シツ、アリ故ニ本件實用新案ハ被請
求人ニ於テ獨リ之ヲ專用シ得ヘキ新規ノ考案ニアラスト云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル爲甲第一號證及
甲號第二號證ヲ提出セリ
被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ被請求人ト共ニ明治三十六
年七月特許出願ノ機械カ特許拒絕ノ査定ヲ受ケタル後兩名ノ共同考案ヲ以テ改良ヲ施シ本件實用新案ト
同一ノ機械ヲ請求人ニ於テ製造シ之ヲ共同販賣シタリト云フニ在レトモ被請求人ハ特許共同出願ニ係ル
機械カ拒絕サレタルノ事實ハ之ヲ認ムト雖モ爾來味噌搗機ノ操縦ニ從事シツ、研究シタル結果小玉截斷
ノ至使ナルヲ認メ之ヲ數箇ニ截斷シツ、送出サルヘキ考案ヲ起シ之カ製造ヲ請求人ニ命シ以テ今日ニ至
レリ而シテ共同販賣ナルモノハ利益共通ノ計算ヲ以テ共同ノ利益ヲ圖ルニ在ルモ被請求人ハ全ク自己ノ
經濟ヲ以テ請求人ニ命シテ製造セシメ單獨ノ自由意思ヲ以テ之ヲ販賣シタルコトハ各買受人ノ證明スル
所ニ依リ明ナリ設令請求人カ他ヨリ受ケタル注文アリトスルモ是レ偶々請求人カ被請求人ノ依頼ヲ受ケ
タル模型ニヨリ自由ニ之ヲ製造シテ擅ニ販賣シタルモノニシテ請求人ノ提出セル販賣地方及數量表ニ示
セル二十五臺中二十臺ハ被請求人ノ單獨販賣ニシテ他ノ五臺ハ被請求人ノ權利ヲ侵害シタルモノト認ム
ト云フニ在リテ其ノ答辯ヲ確ムル爲乙第一號證乃至乙第四號證ヲ提出セリ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件被請求人ノ有スル登錄第六八一九號實用新案中川式味噌豆碎練機ハ明治四十年九月十二日出願シ
同年十月十四日付ヲ以テ登錄セラレタルモノナリ然ルニ請求人ハ本件實用新案ト同一ノ機械ヲ明治三
十七年以來三重岐阜兩縣ノ各地へ被請求人ト共同販賣セリト主張シ被請求人ハ右ハ共同販賣ニ非スシ

テ請求人ノ提出セル販賣數量表ニ示セル二十五臺中二十臺ハ自己ノ單獨販賣ニ係リ他ノ五臺ハ請求人ニ於テ被請求人ノ權利ヲ侵害シタルモノナリト云フト雖モ本件實用新案味噌豆碎練機ヲ明治三十七年以來販賣シタルノ事實ハ當事者双方ノ認ムル所ナルノミナラス各自ノ提出セル證據ニ依リ明ナルヲ以テ該實用新案ハ其ノ登錄出願前既ニ公用ニ屬シタルモノト認メサルヲ得ス從テ本件實用新案ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ同第三十一條ニ依リ其ノ登錄ハ無効ニ屬スヘキモノナリ以上ノ理由ニ依リ該實用新案ノ無効タル上ハ當事者間ニ爭フ所アリト雖モ說明ノ要ヲ認メス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
 登錄第六八一九號實用新案中川式味噌豆碎練機ノ登錄ハ之ヲ無効トス
 審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
 明治四十一年二月二十七日於特許局

審判長 特許局長 中 松 盛 雄
 特許局事務官 松 田 啓 太 郎
 特許局技師 安 藤 格

第一千二百四十五號

大阪市東區北久寶寺町四丁目三十八番屋敷 請 求 人 嘉 門 長 藏
 大阪市北區真砂町三十九番地特許代理業者 右 代 理 人 奥 戶 善 之 助
 大阪市東區北久寶寺町三丁目十七番屋敷 被 請 求 人 野 口 龜 次 郎

大阪市東區釣鐘町二丁目四十七番地特許代理業者 右 代 理 人 戶 田 松 次 郎
 右嘉門長藏ヨリ野口龜次郎ニ對シ第五三九三號登錄實用新案權利確認ノ爲審判ヲ請求シタルニ付審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人カ製造販賣セル莫大小製「シャツ」ハ實用新案登錄第五三九三號ト撞着スルモノトストノ審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ實用新案登錄第五三九三號ノ有權者ニシテ被請求人ハ同第三七九五號ノ有權者ナリ此ノ兩者ハ實質ニ於テ甚シキ相違アリ請求人ノ分ハ「シャツ」ノ前面右側ニ一箇ノかくしヲ設ケ其ノ口ヨリ下ニ又横ニ物品ヲ入ルヘクナシ之カ爲「シャツ」ノ裏面物入トナルヘキ部分ニ別切レヲ附着セリ又被請求人ノ實用新案ハ俗ニ「ごんぶり」形ト稱シ「シャツ」ノ前面一杯ニ口ヲ設ケ其ノかくしトナル部分ハ上端ト下端トニ於テ切レヲ繼キ合ハセタルモノナリ故ニ外見ニ於テモ又其ノ裁方ニ於テモ全ク相違セルニ係ラス被請求人ハ曩キニ請求人ヲ相手取り大阪地方裁判所檢事局ニ實用新案權侵害ノ告訴ヲナシタル際自己ノ製作品トシテ第五三九三號同様ノ「シャツ」一枚ヲ呈出シタリ右物品ハ「ごんぶり」形ニアラス其ノ裁方ニ於テモ又前面右側ニ一箇ノかくしヲ設ケタル點ニ於テモ全ク請求人有權ノモノニ同シクシテ請求人ノ實用新案ニ撞着スルモノナリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ主張ハ不當ニ付申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔タルヘシト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ明治三十九年九月九日金貨「シャツ」ナル名稱ノ實用新案登錄ヲ出願シ同年十一月二十八日第三七九五號ヲ以テ登錄セラレタリ而シテ本物品ハ其ノ解説書ニ依ルモ腹卷兼用ナル全腹共通ノ陰囊ヲ付スルヲ目的トスルヤ明ナリ然ルニ請求人ノ「メリヤス」襯衣ハ明治四十年三月十日ヲ以テ實用新案登錄ヲ出願シ同年五月十日第五三九三號ヲ以テ登錄セラレタルモノニシテ被請求人ノ先案金貨

「シャツ」ニ比スレハ案出、出願並ニ登録共半箇年ノ後ナルコト明ニシテ被請求人ヨリ謂ハシメハ請求人ノ實用新案ノ前面ニ廣キ匿囊ヲ設ケタルハ明ニ被請求人ノ實用新案ノ腹袋兼用ニシテ全腹共通ノ匿囊ノ精神ト一致セルモノニシテ、僅カニ匿囊中ノ上邊ニ別ニ横長キ二重匿囊ヲ設ケタル點ノミ被請求人ノモノト異ナルノミ之ヲ要スルニ請求人ノ實用新案ハ被請求人ノ實用新案ニ對シ實施許諾ヲ得テ實施スヘキ性質ノモノナリト云フニアリテ乙第一號證乃至乙第九號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

被請求人ノ製造販賣セル乙第七號證物品「莫大小製」シャツ「右側ニ一箇ノかくしヲ設ケタルモノ」カ請求人ノ第五三九三號登錄實用新案「メリヤス」襯衣ト撞着スルヤ否ヤニ付審案スルニ第五三九三號登錄實用新案ニ在リテハ莫大小製襯衣ノ腹部右方ニ匿囊口ヲ設ケ裏面ヨリ別切レヲ縫着シ腹部ニ於テ廣キ匿囊ヲ作り而シテ其ノ左方上部ニ別ニ横長キ二重匿囊ヲ設ケタルモノニシテ乙第七號證ニ在リテハ同シク莫大小製「シャツ」ノ腹部右方ニ匿囊口ヲ設ケ裏面ヨリ別切レヲ縫着シ腹部ニ於テ廣キ匿囊ヲ設ケタルモノニシテ此ノ點ニ於テ請求人ノ實用新案ニ撞着スルモノトス其ノ他當事者双方ニ於テ論争スル所アルモ本件審決ニ必要ナキカ故ニ説明セス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
被請求人カ製造販賣セル乙第七號證物品ハ請求人ノ第五三九三號登錄實用新案ト撞着スルモノトス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年二月二十九日於特許局

審判長 特許局事務官 宿利英治

特許局技師 安藤格
特許局事務官 奥山萬次郎

第一千二百十四號

大阪市東區東平野町五丁目千三百六十三番屋敷	請求人	木村寅藏
大阪市東區高麗橋二丁目百二十六番屋敷特許代理業者	右代理人	岡田謙三郎
大阪市東區北久寶寺町三丁目百十番屋敷	被請求人	邑瀬安治郎
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者	右代理人	淺村三郎
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者	右代理人	佐々木高吉

右木村寅藏ヨリ邑瀬安治郎ニ對シ第五三六九號登錄實用新案登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人カ所有ニ係ル前記第五三六九號登錄實用新案ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ノ右實用新案登錄ヲ出願シタルハ明治四十年三月十八日ナリ然ルニ其ノ製品ハ請求人カ曩ニ明治三十八年二月二十八日ヲ以テ出願シ同年四月十二日ヲ以テ特許ヲ與ヘラレタル第八七四號特許ノ製品ト全然同一ニシテ何等區別ヲ生スヘキ特點ヲ有セサルモノナルカ故ニ被請求人ノ實用新案ハ實用新案法第一條第一號及第二號ニ該當シ無効タルヘキモノナリト云フニ在リ而シテ其ノ申立ニ付甲第一號證乃至第五號證ヲ提出セリ
被請求人ハ本件審判請求書副本ノ送付ヲ受ケ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セス

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件第五三六九號登録實用新案ハ本件審判繫屬中明治四十年十一月二十二日其ノ權利ヲ拋棄セラレタルモノナルヲ以テ審判請求ノ目的物ハ茲ニ消滅シタルモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

本件請求ハ之ヲ却下ス

明治四十一年三月五日於特許局

審判長	特許局長	中 松 盛 雄
特許局事務官	松 田 啓 太郎	
特許局技師	安 藤 格	

第一千百六十號

大阪市北區會根崎上一丁目二十七番地

請 求 人 山 田 銀 太 郎

大阪市東區釣鐘町二丁目四十七番地特許代理業者

右 代 理 人 戶 田 松 次 郎

東京市京橋區南傳馬町一丁目七番地

被 請 求 人 田 口 精 爾

東京市京橋區桶町三十一番地特許代理業者

右 代 理 人 高 尾 傳 七

右山田銀太郎ヨリ田口精爾ニ對シ第五三一號實用新案登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第五三一號登録實用新案泥狀墨使用器ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ被請求人

所有ノ本件實用新案ハ明治三十八年九月十六日出願同年十月十八日ヲ以テ登録セラレタルモノナリ然ルニ請求人ハ之ト同一精神ニ成ル日月型文具ナルモノヲ成案シ明治三十八年三月二十一日付ヲ以テ意匠登録ヲ出願シ願書番號第八〇七七號ノ通知ヲ領セリ其ノ後模樣ニ變更ヲ生セルニ依リ更ニ五月ニ入り改メテ意匠登録ヲ允請シテ願書番號第八三九八號ヲ入手セルト同時ニ之ヲ製シ同年五月十三日其ノ製品ヲ石油函一箇ニ容レテ奈良市福井庄八ニ送付シ煉墨即チ泥墨使用器ニ充テタリ然ルニ同年六月十九日付拒絕査定書ニ依リ不許可ニ歸セリ其ノ後同年七月一日ヨリ實施セラルヘキ實用新案法ニ依リ登録ヲ受ケント欲シタルモ既ニ前記ノ如ク公ニ賣出シタル事實ノ明白ナルヲ以テ斷然之ヲ止メ普通品トシテ各所ニ販賣セリ請求人カ意匠ノ本意ハ新月形部ヲ貯水又ハ馴筆ノ筒所トシ圓孔部ニハ墨「インキ」ノ類ヲ入ル、ノ目的ニ外ナラス其ノ玻璃製ナルニ至リテハ全然同一ノモノナルカ爲被請求人ノ實用新案泥狀墨使用器ニ於ケル玻璃製ノモノハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シタルモノニシテテ其ノ他之ヲ金屬或ハ適宜ノ資料ヲ以テ製セラル、ト雖モ形狀構造使用效果ノ一致セル點ヨリセハ之カ類似タルヲ免レスシテ等シク實用新案法第一條第二項第一號ニ該當スルコト爭フヘカラスト云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル爲甲第一號乃至第十號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人カ主張スル公知ノ事實ハ之ヲ認メス且物品同一若クハ類似ナリトノ主張ハ頗ル不當ナリト信スト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件登録第五三一號實用新案泥狀墨使用器ハ其ノ圖面及請求人ヨリ提出シタル製品ニ依レハ圓形面内ニ圓形ト新月形トノ凹陥部ヲ設ケ新月形ヲ水溜、圓形ヲ泥狀墨入トナシ全體ニ蓋ヲ附シタルモノニシテ明治三十八年九月十六日出願同年十月十八日付ノ登録ニ係ルモノナリ然ルニ該實用新案ト同一考案

ニ基キ圓形而内ニ圓形ト新月形トノ四隅部ヲ設ケタルモノニ付日月型文具ト稱シテ請求人ヨリ本件實用新案登録出願前即チ明治二十八年三月及五月ノ兩度ニ意匠登録ノ出願ヲ爲シ爾來其ノ製品ヲ公ニ販賣シタルノ事實ハ請求人ノ提出セル甲號證ニ依リ之ヲ認ムルヲ得ヘン而シテ請求人ノ所謂日月型文具ニハ其ノ表裏面及ヒ周面ニ裝飾ヲ施シタルモノ本件實用新案泥狀墨使用者ニハ斯ノ如キ裝飾ヲ附セサルノ差異アリト雖モ其ノ構造效果ニ於テハ何等ノ差異ナキヲ以テ該實用新案ハ前記日月型文具ニ類似スルモノタルヲ免ルヘカラス從テ本件實用新案泥狀墨使用者ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ同第三十一條ニ依リ其ノ登録ハ無効ニ屬スヘキモノナリ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
 登録第五三一號實用新案泥狀墨使用者ノ登録ハ之ヲ無効トス
 審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年三月二十五日於特許局

審判長 特許局長 中 松 盛 雄
 特許局技師 安 藤 格
 特許局事務官 人 見 次 郎

第一千二百九十一號

大阪市南區間屋町百六十二番屋敷

請 求 人 木 村 梅 藏

大阪市南區安堂寺橋通二丁目五番屋敷特許代理業者

右 代 理 人 小 池 宗 三 郎

大阪市西區立賣堀北通二丁目七十六番屋敷

被 請 求 人 藤 本 鶴

大阪市東區島町二丁目五十六番屋敷特許代理業者

右 代 理 人 川 口 秀 臣

右木村梅藏ヨリ藤本鶴ニ對シ第三四二一號登録實用新案文鎮兼呼子笛ノ登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第三四二一號登録實用新案登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ從來呼子笛製造ヲ專業トシ世上弘ク製造家トシテ知ラレ其ノ工場モ設置シアリテ製造ノ呼子笛ハ其ノ形狀各種アリ何レモ内地玩弄品商並ニ輸出貿易商ヨリ斷ヘス注文ヲ受ケ其ノ需用ヲ供給シ來リタルモノナリ然ルニ本件被請求人所有ノ實用新案品ナルモノハ右請求人カ多年製造販賣シタルモノト同一ナル物品ニシテ公ニ知ラレタルモノナルカ故ニ實用新案法第一條第一項ニ該當シ無効タルヘキモノナリト云フニ在リ而シテ其ノ申立ニ付甲第一號證乃至第五號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ本件請求ハ却下相成タシ其ノ理由ハ本件係争ノ目的物タル第三四二一號登録實用新案權ハ被請求人ニ於テ曩ニ之ヲ拋棄シ目下何等權利ノ存在スルモノニアラスト云フニ在リ仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件審判ノ請求ハ明治四十年十二月四日ニ係リ而シテ本件第三四二一號登録實用新案ハ被請求人ニ於テ既ニ明治四十年一月二十五日ヲ以テ其ノ權利ヲ拋棄シタルモノニ屬スルカ故ニ本件請求ハ其ノ目的物ノ存在ナキモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
 本件請求ハ之ヲ却下ス

明治四十一年三月二十七日於特許局

審判長 特許局長 中松盛雄

特許局事務官 松田啓太郎
特許局技師 安藤格

第一千二百五十一號

東京市下谷區御徒士町二丁目二十三番地

東京市本所區林町三丁目六番地

東京市淺草區壽町二十九番地

東京市淺草區北三筋町七十一番地特許代理業者

右日向利平外一人ヨリ芳村源助ニ對シ第一六一五號登録實用新案ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第一六一五號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人カ明治三十九年三月登録ヲ受ケタル第一六一五號登録實用新案ト同一ノ物品ハ請求人湯川辰次郎カ明治三十七年ニ發明シ東京市日本橋區通油町三德堂等ヲ始メ市内一般ノ金物商ニ販賣セルモノナレハ前記登録ハ無効タルヘキモノナリト云フニアリテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出シ且證人ノ訊問ヲ申請セリ
被請求人答辯ノ要領ハ本件請求ハ之ヲ棄却スト審決相成度其ノ理由ハ請求人主張ノ事實ハ總テ認メスト云フニアリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ且證人ノ陳述ヲ聽キ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

被請求人ノ第一六一五號登録實用新案ハ明治三十九年三月八日登録ヲ出願シ同年同月二十六日登録セラレタルモノナリ然ルニ其ノ登録出願前ニ於テ請求人カ之ト同一ノ物品ヲ製作シ東京市内ノ金物商ニ販賣セシコトハ甲第一號證ノ三、八、九、十七、二十、三十四、三十八、四十、五十、五十二及甲第二號證中薪炊竈ニ關スル記載並ニ證人宮坂重太郎ノ陳述ニ徴シテ明ナルノミナラス被請求人亦其ノ登録出願前ニ於テ該物品ヲ製造販賣セシコトハ事實參考人貞家八郎ノ陳述及甲第一號證ノ十九、五十七、二十七ニ徴シテ明ナリ故ニ本件登録ノ物品ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ登録ヲ受クルコトヲ得サルモノニ屬シ其ノ登録ハ同法第三十一條ニ依リ無効トナスヘキモノナリ
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

被請求人ノ第一六一五號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年三月二十八日於特許局

審判長 特許局事務官 宿利英治
特許局技師 安藤格
特許局事務官 奥山萬次郎

第一千二百八十九號

第一千二百九十號

大阪市南區間屋町百六十二番屋敷

請求人 木村梅藏

*二十七

大阪市南區安堂寺橋通二丁目五番屋敷特許代理業者 右代理人 小池宗三郎
大阪市西區立賣堀北通二丁目七十六番屋敷 被請求人 藤本 鶴

右木村梅藏ヨリ藤本鶴ニ對シ第三一〇號及第四〇三九號登錄實用新案文鎮兼呼子笛ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ併合審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ前記第三一〇號及第四〇三九號實用新案登錄ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ從來呼子笛製造ヲ專業トシ世上弘ク製造家トシテ知ラレ其ノ工場モ設置シアリテ製造ノ呼子笛ハ其ノ形狀ニ於テ各種アリ何レモ内地玩弄品商並ニ輸出貿易品商ヨリ絶ヘス其ノ注文ヲ受ケ之カ需用ヲ供給シ來リタリ然ルニ本件被請求人所有ノ各實用新案品ナルモノハ右請求人カ多年製造販賣シタルモノト同一ナル物品ニシテ公知ニ屬スルモノナルカ故ニ實用新案法第一條第一項ノ規定ニ該當シ無効タルヘキモノナリト云フニ在リ而シテ其ノ申立ニ付甲第一號證乃至第五號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人提出ニ係ル甲第一號證乃至甲第四號證ハ何レモ本件各登錄實用新案品ニ關係スルモノニアラスト云フニ在リ而シテ其ノ申立ニ付乙第一號證乃至第八號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件第三一〇號登錄實用新案文鎮兼呼子笛ハ適宜ニ鳥ノ形體姿勢ヲ現ハシ常ニ文鎮トシテ用ヒ又隨時家人ヲ呼招スルノ用ニ供スル物品ニシテ又第四〇三九號登錄實用新案文鎮兼呼子笛ハ適宜ニ蟲類ノ形體姿勢ヲ現ハシ而シテ同シク常ニハ文鎮トシテ用ヒ隨時家人ヲ呼招スルノ用ニ供スル物品ナリ然ルニ甲各號證ノ記載特ニ甲第二號證一ノ記載スル處ニ依レハ孔雀呼子、馬呼子、鶴呼子、鹿呼子、其ノ他新形取合云々トアリ又何レモ本件各實用新案登錄出願以前ノ日付ヲ以テ商品ノ注文應答ヲ爲セルモノニ

係ルカ故ニ之ニ依リテ本件各實用新案品ト同一若クハ類似ナル物品カ其ノ各登錄出願以前ニ於テ既ニ公ニ用キラレタルモノナルコトヲ認知シ得ルモノトス依テ本件各登錄實用新案ハ實用新案法第一條第二項第一號ノ規定ニ該當スルモノニシテ其ノ登錄ヲ受クルヲ得サルモノニ屬ス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
第三一〇號及第四〇三九號登錄實用新案ハ之ヲ無効トス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年三月二十八日於特許局

審判長 特許局長 中松盛雄
特許局事務官 松田啓太郎
特許局技師 安藤格

第一千二百五十四號

東京市日本橋區通油町二番地 請求人 藤掛與左衛門
東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許代理業者 右代理人 稻木繁太郎
東京市日本橋區橋町二丁目四番地 被請求人 上野繁次郎
右藤掛與左衛門ヨリ上野繁次郎ニ對シ第五七四九號實用新案登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處
請求人申立ノ要領ハ第五七四九號組紐ノ實用新案ノ登錄ハ無効ナリ審判費用ハ被請求人ノ負擔トスヘキ

モノト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ明治四十年四月二十九日出願同年六月十七日付第五七四九號ヲ以テ組紐ノ登録ヲ受ケタルモノナリ然ルニ右登録セラレタル組紐ト全然同一ナル物品ハ被請求人ノ登録ヲ出願セサル以前ヨリ市内組紐商間ニ於テ内記又ハ模様入内記紐等種々ノ名稱ノ下ニ盛ニ製造販賣セラレタルモノニシテ本請求人亦明治三十九年十一月七日ヨリ甲第一號證ノ如キ物品ヲ製造販賣シ且明治四十年三月二十日開會ノ東京勸業博覽會ニ出品シ其ノ他平田常次郎ハ甲第二號證ノ物品ヲ金子安平ハ甲第三號證ノ物品ヲ栗田房治ハ甲第四號證ノ物品ヲ孰レモ明治四十年三月二十日開會ノ東京勸業博覽會ニ出品シタル事實アルヲ以テ第五七四九號實用新案ハ實用新案法第一條ノ規定ニ違反ス加之右實用新案ト同一ノ物品ニ付テハ明治四十年四月九日栗田房治ヨリ實用新案ノ登録ヲ出願シ同年四月十九日拒絕査定セラレ其ノ處分確定シタルモノナルヲ以テ前記實用新案ノ登録ハ實用新案法第十八條ニ違反スルモノニシテ同法第三十一條ニ依リ無効トスヘキモノナリト云フニ在リ審判番號第一二五五號事件ニ關シ提出シタル證據物全部及同事件ニ關スル證人訊問調書ヲ援用シタリ

被請求人ハ答辯ヲ提出セス
仍テ一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件第五七四九號實用新案權ハ明治四十年四月二十九日其ノ實用新案ニ付登録ヲ出願シ同年七月二十五日登録シタルモノナリ然ルニ右實用新案ト其ノ構造ヲ同フスル組紐ハ明治四十一年四月九日即チ前記實用新案ノ登録出願前東京市淺草區南富阪町七番地粟田房治ヨリ實用新案ノ登録ヲ出願シ同年四月十九日實用新案法第一條第二項第一號ニ該當ストノ理由ヲ以テ其ノ登録ヲ拒絕セラレ其ノ處分確定シタルモノナルヲ以テ前記實用新案ノ登録ハ實用新案法第十八條ニ違反フモノナリ加之前記實用新案ト類似ノモノカ登録出願前公ニ用キラレタルモノナルコトハ審判番號第一二五五號事件ノ證人高力直寛ノ

供述ニ依リ明瞭ナルヲ以テ右實用新案ノ登録ハ實用新案法第三十一條ニ依リ之ヲ無効トスヘキモノナリ
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

第五七四九號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年三月三十日於特許局

審判長 特許局長 中松盛雄
特許局事務官 宿利英治
特許局事務官 人見次郎

第一千七百七十四號

大阪市東區南本町四丁目四番地 請求人 白崎多吉
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者 右代理人 淺村三郎
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者 右代理人 佐々木高吉
香川縣高松市大字四番町六十八番戸 被請求人 諏訪直記
右白崎多吉ヨリ諏訪直記ニ對シ第九五三號實用新案登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處
請求人申立ノ要領ハ被請求人カ登録ヲ得タル第九五三號實用新案便利靴下足袋ハ實用新案法第一條第二

項第一號ニ該當スルヲ以テ該登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ被請求人カ明治三十八年十二月六日登録ヲ出願シ同年同月二十五日登録ヲ受ケタル第九五三號實用新案ト同一構造ノ靴下足袋ハ明治二十九年以來京都大阪神戸ノ同業者間ニ於テ製造販賣セラレ就中京都ニ在リテハ各高等小學校用品販賣店ニ於テ賣捌キタルモノニシテ本件靴下足袋ハ其ノ登録出願以前ヨリ已ニ公知公用ニ屬スルコト明確ナリトスト云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル爲メ第一號證乃至甲第八號證ヲ提出シ且證人訊問ノ申請ヲ爲シタリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ利益ナケレハ訴權ナシト云訴訟上ノ原則ハ審判事件ニモ適用セラル、モノト信ス請求人ハ莫大小業ヲ營ムモノニ非サレハ本件審判事件ヲ提起スルニ足ル利益ヲ有セス從テ訴權ナシト云フ可シ假ニ請求人ニ請求スヘキ權利アリトスルモ其ノ請求ハ不當ナリ其ノ理由ハ被請求人カ百方苦心ノ結果本件實用新案ヲ案出シ其ノ登録ヲ受ケタル後即チ明治三十九年三月三日請求人ハ大阪莫大小同業組合組長西松常吉ト共ニ組合ノ雇書記トシテ被請求人ニ對シ本件實用新案權ノ制限付讓渡ヲ申込ミ數回會談セシモ金額ノ點ニ至リ折合ハス爾來請求人ハ組合ノ爪牙トナリテ組合員ヲシテ京都東京莫大小製造人ト聯絡ヲ通シ本件實用新案カ其ノ登録前ニ公知公用ノモノナルカ如ク裝ヒ再三無効審判ヲ提起シ資本ナキ被請求人ヲシテ爭訟ニ腦マシメントスルモノナリト云フニ在リテ其ノ答辯ヲ確ムル爲メ審判番號第一〇〇〇號實用新案登録無効事件ノ乙第一號乃至第三號證及同審決書ヲ乙第四號證トシテ援用シ尙ホ乙第五號乃至第七號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ證人ノ供述ヲ聽キ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

被請求人ハ莫大小業ニ何等關係ナキ請求人ハ本件審判ヲ提起スヘキ利益ヲ有セス從テ訴權ナシト云フト雖モ實用新案法第三十一條ハ登録實用新案カ第一條第二條又ハ第十八條ノ規定ニ違フモノナルコト

ヲ發見シタル者ハ特許局ニ無効ノ審判ヲ請求スルコトヲ得トアリテ請求人ノ資格ニ付キ何等ノ制限ナキヲ以テ請求人ノ本件請求ハ違法ニアラス而シテ請求人ハ本件登録第九五三號實用新案便利靴下足袋ハ其ノ登録出願前即チ明治三十八年十二月六日前京都、大阪、神戸等ニ於テ公知公用ニ屬セリト主張スト雖モ甲第一號乃至第五號證ハ何レモ箇人ノ證明ニ係リ之ニ依リ直ニ事實ヲ認定スルヲ得サルノミナラス證人中川佐太郎ノ供述ハ本件實用新案ト同一ノ靴下足袋ノ製造販賣ヲ始メタル年月ニ於テ證人福井淺次郎ノ供述ハ前記靴下足袋ノ販賣ヲ始メタル年月ニ於テ證人植村忠藏ノ供述ハ的場松吉ノ住所ニ於テ各證人ノ提出シタル前記證明書ノ記載ト違フ所アルヲ以テ該供述ハ共ニ之ヲ信スルニ足ラス又第六號證ニ於テ第一、第二、長沓下、本ノ水及永トアルハ果シテ請求人主張ノ如ク本件實用新案ト同一品ヲ指シタルモノト認ムルニ由ナシ其ノ他請求人ノ主張ヲ確ムルニ足ルヘキ證據ナキヲ以テ本件實用新案カ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ無効ニ屬スヘキモノト認ムルヲ得ス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年四月八日於特許局

審判長 特許局長 中 松 盛 雄
 特許局技師 安 藤 格
 特許局事務官 人 見 次 郎

第千二百六十五號

*三十四

大阪市南區天王寺區上ノ町千七百八十五番邸

請求人 松岡良友

大阪市東區備後町二丁目十八番屋敷特許代理業者

右代理人 堤他彦

堺市材木町東四丁十二番屋敷

被請求人 池田留吉

大阪市北區老松町三丁目九十三番屋敷特許代理業者

右代理人 岡八

右松岡良友ヨリ池田留吉ニ對シ第三六八二號實用新案登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第三六八二號登錄實用新案ハ實用新案法第十八條ノ規定ニ違フモノナルニヨリ該登錄ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ノ第三六八二號登錄實用新案ハ甲第一號證ノ通り毛蟲狀ニ連接シタル毛紐(三)ヲ中部ヨリ折り合ハセ之ヲ縱絲間ニ織成シタルモノニ係リ明治三十九年九月三日ノ出願ニシテ同年十一月十四日ヲ以テ登錄セラレタルモノナリ而シテ請求人ノ第六八八三號登錄實用新案ハ甲第二號證ノ通り經絲(一)ヲ粗ニ張リ之ニ緯絲(二)ヲ織リ込ミタル原料布ヲ適當ノ幅員ニ縱斷シテ得タル紐狀ノモノヲ緯(三)トナシ此ノ緯絲(三)ヲ中央ヨリ縱斷シテ經絲(一)ニ織成シ又ハ縱折スルコトナク直チニ經絲ニ折疊スル如ク織リ込ミテ成ルモノニシテ明治三十九年三月三十一日附ヲ以テ特許出願ニ係リ同四十年八月三日右特許願日附ヲ援用シテ實用新案登錄ノ出願ヲ爲シタルモノニシテ右兩者ハ全然同一ノ物品ナリ而シテ其ノ出願日附ハ前述ノ如ク第三六八二號ハ明治三十九年九月三日ニシテ第六八八三號ハ同年三月三十一日ナレハ前者ハ明ニ實用新案法第十八條ニ違反シ其ノ登錄ハ無効タルヘキモノナリ被請求人ハ第六八八三號登錄實用新案ハ特許願第三三三四五號トハ實質内容ヲ異ニスルモノト云フモ

其ノ誤リナルコトハ右特許願書一切ヲ一覽スレハ明ナリ被請求人ハ又兩實用新案ハ其ノ構造ヲ異ニスト云フト雖モ被請求人ノ實用新案ハ請求人ノ實用新案ト殆ント同一ニシテ只麻繩(一)ヲ毛紐ノ間ニ織リ込ムノ點ニ於テ差アルノミニシテ其ノ新案タル大體ニ於テ毫モ異ナル無シ而シテ右差異ノ如キハ主タル緯ヲ節約スル上ニ於テ將タ織地ヲ厚カラシムル目的ニ於テ古ヨリ一般織物業者間ニ行ハル、構造ナレハ此ノ點ニ於テハ新案ト認メラレタルニアラス假リニ數歩ヲ譲リ此ノ點カ其ノ一要素ナリトセハ第三六八二號登錄實用新案ハ明ニ請求人ノ實用新案ニ類似スルモノニシテ登錄ヲ受クル資格無キモノナリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ主張ハ不當ニ付申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ノ登錄第六八八三號實用新案ハ實用新案公報第百二十五號ニ依レハ登錄ハ明治四十年十月十六日ニシテ其ノ出願ハ明治四十年三月三十一日(前特許出願日援用)トアリテ請求人ノ云フ如ク明治三十九年三月三十一日ニ非ス又特許願第三三三四五號ト實用新案第六八八三號トハ其ノ實質内容ヲ異ニスルノミナラス登錄第六八八三號實用新案ハ登錄第三六八二號實用新案トハ其ノ構造及形狀竝其ノ請求範圍ノ主要ノ點ニ於テ差異アリト云フニアリテ乙第一號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
被請求人ハ第六八八三號登錄實用新案ハ特許出願日(即チ明治四十年三月三十一日)ヲ援用シタルコトヲ認ムルモ特許願第三三三四五號ノ出願日附ヲ援用シタルコトヲ認メス又前記實用新案登錄願ニハ別紙査定書相添ヘトアルモ其ノ査定書ハ特許願第三三三四五號拒絕査定ナルヤ否ヤ不明ナリト云フト雖モ請求人カ本局ニ差出シタル第六八八三號實用新案登錄出願書ニ依レハ請求人ハ特許願第三三三四五號出願日附ヲ援用シ又其ノ願書ニ添附セルハ特許願第三三三四五號拒絕査定書ナルコトハ本局ニ於テ

*三十五

明ナル事實ナルヲ以テ請求人ノ第六八八三號登錄實用新案ハ實用新案法第十九條ニ依リ特許願第三三二四五號ノ出願日即チ明治三十九年三月三十一日ニ於テ出願シタルモノト看做スヘキモノナリ被請求人ハ又特許願第三三二四五號ト實用新案第六八八三號トハ其ノ實質内容ヲ異ニスルモノナリト云フト雖モ右出願ニ關スル一件書類ニ依レハ兩者ハ其ノ構造ヲ異ニスルモノニアラス而シテ請求人ノ第六八八三號實用新案ト被請求人ノ第三六八二號實用新案ト比較スルニ前者ハ經絲ヲ粗ニ張り之ニ緯絲ヲ織リ込ミタル原資布ヲ適當ノ幅員ニ縱斷シテ得タル紐狀ノモノヲ緯絲トナシ之ヲ中央ヨリ縱折シテ經絲ト織成シ又ハ縱折スルコト無ク直ニ經絲ニ折疊スル如ク織リ込ミタルモノニシテ後者ハ毛蟲狀ニ連接シタル毛紐ヲ中部ヨリ折リ合ハセ之ヲ緯絲トナシ麻繩ト共ニ經絲ト上下相互ニ組ミ合ハセタルモノニシテ後者ノ前者ニ異ナルハ唯麻繩ヲ毛紐ノ間ニ織リ込ミタルノ點ニアリ然ルニ麻繩ノ如キ地緯ヲ模様地ノ間ニ織リ込ムコトハ模様緯ヲ節約スル爲或ハ織地ヲ堅厚ナラシムル爲古來織物業者間ニ行ハル處ニシテ新規ナルモノニアラス要スルニ兩者ハ其ノ構造相類似セルモノト認ム然リ而シテ請求人ノ實用新案登錄出願ハ前記ノ理由ニ依リ明治三十九年三月三十一日ニシテ被請求人ノ實用新案登錄出願ハ同年九月三日ナルカ故ニ被請求人ノ第三六八二號實用新案登錄ハ實用新案法第十八條ニ違反シ同法第三十一條ニ依リ之ヲ無効トスヘキモノナリ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
 被請求人ノ第三六八二號實用新案登錄ハ之ヲ無効トス
 審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
 明治四十一年四月十六日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 大竹 多氣

特許局事務官 宿利 英治
 特許局事務官 奥山 萬次郎

第一千二百九十四號

長野縣小縣郡上田町千九百二番地

請求人 中村 淳

長野縣小縣郡鹽尻村大字下鹽尻七百二十六番地

被請求人 母袋 忠右衛門

右中村淳ヨリ母袋忠右衛門ニ對シ第七三三二八號實用新案登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ登錄第七三三二八號實用新案蠶種器ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ該實用新案ハ實用新案第五四四八號框製蠶種用梓盤及同第六〇五五號中村式木板梓製器ト同一又ハ類似品ナルヲ以テ新規トナスヘカラス提出ノ證據物甲第一號證ノ母袋式蠶種框盤ヲ見ルニ登錄出願中ノ番號ヲ記シ公衆ニ發賣セラレタルモノニシテ截頭圓錐形ノ金屬筒ハ其ノ登錄請求範圍ニハ上下兩邊折返シアラサルモ之ヲ折返シテ母袋式蠶種梓盤トシテ發賣又ハ公示シタル上ハ公衆ニ知ラレタルモノナレハ蠶種器ニ於テ更ニ新規トスヘカラス次ニ凹字形ノ穴モ甲第一號證ノ金屬筒ヲ取り離ストキハ既ニ凹字形ニ穿チアルヲ以テ新規ナラサルノミナラス中村式木板梓製器ノ勾配アル穴ト同一目的ニ出テ金屬筒ヲ嵌入スルトキハ其ノ用途外觀共ニ同一ニシテ實用上特殊ノ效用ヲ有セサルナリ被請求人ハ登錄出願前即チ明治四十年七月ニ蠶具商タル信濃蠶業合資會社ニ提供シ同會社ハ亦之ヲ埴科蠶業株式會社ニ貸與セリト主張セリ斯ノ如ク法人ヨリナレル集團體ニ轉々シタルヲ以テ公知セラレタルハ明ナリト云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル

爲甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ前ニ登録無効トナリタル實用新案第五四八號框製蠶種用框盤ヲ製作シ其ノ一部ハ信濃蠶業合資會社ノ手ヲ經テ販賣セリ而シテ明治四十年六月ニ至リ實用新案第七三二八號ヲ以テ登録セラレタル蠶種器ヲ案出セリ然レトモ本器ハ尙ホ改良ヲ加フヘキ點ナキヲ保シ難キヲ以テ批評ヲ乞ハシカ爲同年七月信濃蠶業合資會社ニ預托シタル外出願前未タ一枚タモ發賣シタルノ事實ナシ然レトモ請求人ヨリ既ニ甲第一號證ヲ提出シアルヲ以テ同會社ニ就キ調査ヲ遂ケシ處明治四十年七月埴科蠶業株式會社ハ前記會社ニ登録第五四八號ノ框盤ノ貸與ヲ需メ來リ社員巖ニ被請求人ヨリ批評ヲ乞ハシカ爲預托セシ蠶種器カ框製蠶種用框盤ト其ノ形狀大差ナク而モ體裁美ナリシヲ以テ特ニ之ヲ撰ミ過テ實用新案第一二〇八二號母袋式蠶種框盤ト筆記シタルモノ一枚ヲ貸與シタルノ事實ヲ發見セリ然レトモ被請求人ヨリ信濃蠶業合資會社ニ預托シタルモノハ勿論埴科蠶業株式會社ノ借受ケタルモノモ公衆ニ示シタルコトナク又賣却シタルコトナキヲ以テ共ニ公衆ニ知ラレタルモノニ非スト云フニ在リテ其ノ答辯ヲ確ムル爲乙第一號乃至第三號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件登録第七三二八號實用新案蠶種器ハ木板ニ凹字形ノ穴ヲ穿チ之ニ斷頭圓錐形ノ金屬筒ヲ嵌入シ其ノ上下兩縁ヲ外側ニ折返シテ脫離スルコト勿ラシメタルモノニシテ明治四十年十月二十二日出願同年十一月十九日付ヲ以テ登録セラレタルモノナリ然ルニ請求人ハ該實用新案ハ框製蠶種用枠盤及中村式木板枠製器ト同一又ハ類似品ナリト云フト雖モ請求人援用ノ蠶種器ハ何レモ截頭圓錐形ノ穴ヲ穿チ之ニ同形狀ノ金屬筒ヲ嵌入シタルモノニシテ本件實用新案トハ其ノ構造ヲ異ニスルヲ以テ同一又ハ類似品ナリト云フヲ得ス又請求人ハ本件實用新案ハ其ノ登録出願前母袋式蠶種枠盤トシテ發賣セラレタル

ヲ以テ公用ニ屬シタルカ如ク主張スト雖モ被請求人カ登録出願前即チ明治四十年七月本件實用新案ト同一ノモノヲ製シ其ノ批評ヲ乞ハシカ爲之ヲ信濃蠶種合資會社ニ預託シ同會社ハ過テ之ヲ母袋式蠶種枠盤トシテ他ニ貸與シタルコトアルハ被請求人ノ申立ニ依リ之ヲ認ムルヲ得ヘキモ請求人主張ノ如ク公ニ發賣シタリト認ムヘキ證據ナキノミナラス本件實用新案カ其ノ登録出願前ニ於テ公用ニ屬シタリト認ムヘキモノナキヲ以テ該實用新案カ請求人主張ノ如ク實用新案法第一條ニ違ヒ其ノ登録カ無効ニ屬スヘキモノト云フヲ得ス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年四月二十三日於許特局

審判長 特許局事務官 松田 啓太郎
特許局技師 安 藤 格
特許局事務官 人 見 次 郎

第一千二百八十二號

群馬縣多野郡藤岡町五百五十三番地 請求人 福 島 元 助
東京市京橋區木挽町九丁目十八番地特許代理業者 右代理人 披 山 庄 次 郎
靜岡縣志太郡藤枝町百八十六番地 被請求人 石 田 惠 太 郎

右福島元助ヨリ石田憲太郎ニ對シ第四七九八號實用新案ノ登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ
 審理ヲ遂クル處
 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第四七九八號實用新案桑葉刻器ノ登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由
 ハ被請求人カ明治四十年二月十二日付ヲ以テ登録ヲ出願シ登録ヲ受ケタル第四七九八號實用新案桑葉刻
 器ノ構造ハ請求人カ明治三十九年八月二十七日付ヲ以テ特許ノ出願ヲナシ更ニ同四十年一月二十三日付
 ヲ以テ實用新案ノ登録ヲ出願シ登録ヲ受ケタル第四七四〇號實用新案桑葉刻器ノ構造ト全然同一ナリ故
 ニ被請求人ノ實用新案ハ實用新案法第十八條ニ該當シ當然無効タルヘキモノナリト云フニアリテ其ノ申
 立ヲ確ムル爲實用新案公報第九十四號及第九十五號ヲ提出セリ
 被請求人ハ本件審判請求書副本ノ送付ヲ受ケ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セス
 仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件被請求人ノ第四七九八號登録實用新案桑葉刻器械ハ明治四十年二月十二日登録ヲ出願シ同年三月
 十一日登録セラレタルモノニシテ請求人ノ第四七四〇號登録實用新案桑葉刻器ハ明治四十年一月二十
 三日登録ヲ出願シ同年三月六日登録セラレタルモノナリ今兩者ヲ比較スルニ被請求人ノ實用新案ニ於
 ケル導桿(イ)組(ロ)導桿(ハ)ハ請求人ノ實用新案ニ於ケル側板(イ)組(ロ)送桿(ハ)ニ等シク又被請求人ノ實用新案
 ノ曳出杆(三)關着連杆(ホ)ハ請求人ノ實用新案ノ走子(五)部ニ等シク又被請求人ノ實用新案ノ橫杆(ニ)彈條
 (下)戻杆(イ)引上杆(ロ)上下杆(ハ)庖刀(カ)庖刀杆(キ)握手(ク)蓋押(ケ)桿杆(コ)止杆(カ)彈機(ニ)桿蓋(イ)送帶
 (ロ)轉子(ロ)ハ請求人ノ實用新案ノ曲軸(ニ)彈條(イ)戻杆(イ)引上杆(ロ)上下(カ)庖刀(カ)導桿(ニ)聯桿(カ)押盤(イ)緩急
 桿(イ)支桿(ロ)彈機(ロ)桿(イ)紐(ロ)送布(ロ)轉子(ロ)ニ相等シクシテ兩者ハ同一構造ニ係ルモノト認ム故ニ被
 請求人ノ第四七九八號實用新案ハ實用新案法第十八條ニ違反シ其ノ登録ハ同法第三十條ニ依リ無効ト

ナスヘキモノナリ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

被請求人ノ第四七九八號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年四月二十五日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 阪田 貞一
 特許局 事務官 宿利 英治
 特許局 事務官 奥山 萬次郎

第千百二十七號

大阪市東區寺山町番外九百七十四番屋敷	請求人	升田 憲堅
京都市下京區高辻通油小路東へ入永養寺町二十六番地	請求人	松下 七兵衛
大阪市東區島町一丁目五十六番屋敷特許代理業者	右代理人	川口 秀臣
大阪市西區立賣堀北通二丁目五十八番屋敷	被請求人	篠内 勇藏

右升田憲堅外一名ヨリ篠内勇藏ニ對シ第一一一五號實用新案登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依
 リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第一一一五號實用新案登録紙燃機ハ無効ナリ審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審
 決相成度其ノ理由ハ右實用新案紙燃機ハ請求人松下七兵衛カ明治二十九年森太助ニ製作セシメ使用シタ

甲第一號證ノ一及二ト同一機械ニシテ被請求人ノ考案ニアラス被請求人ハ大工ナルヲ以テ時々松下方ニ雇入レ右機械ノ修繕ヲ爲サシメタルヲ以テ被請求人ハ右機械ヲ熟知シ自己ノ考案ト僞リ登録ヲ出願セシコトハ同業者三宅與兵衛ノ熟知スル所ナリ加之被請求人ノ言ニ依ルモ被請求人ハ若林喜三郎ト共ニ紙燃機ヲ考案シタルモノナルカ故ニ之ヲ自己一人ノ考案トシテ受ケタル登録ハ無効ナリ又若林喜三郎ハ明治三十五年、六年頃ヨリ右紙燃機ヲ松下七兵衛ノ工場ニ入レ紙燃玉ヲ製セシ後明治三十九年十二月之ヲ松下七兵衛ニ賣渡セリ要スルニ被請求人ノ登録ヲ受ケタル紙燃機ハ被請求人ノ考案ニアラサルノミナラス明治二十九年以來公知ニ屬スルモノナルカ故ニ其ノ登録ハ無効ナリ被請求人ハ乙第一號證ニ依リ請求人等カ被請求人ノ實用新案ヲ認知セリト主張スルモ請求人等カ乙第一號證ノ契約ヲナシタル當時ハ被請求人ノ實用新案ハ如何ナル構造ナルヤ之ヲ知ラスト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出シ且證人ノ訊問申請ヲ爲シタリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ請求ハ之ヲ棄却シ審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決相成度其ノ理由ハ本件登録實用新案紙燃機ハ被請求人カ明治二十五、六年頃ヨリ同二十六、七年頃迄考案ヲ積ミ苦心ノ結果新規ニ案出シタルモノナリ請求人松下七兵衛カ森太助ニ製作セシメシ甲第一號證カ被請求人ノ實用新案ト同一ナリトセハ之レ被請求人カ京都在住ノ節若林喜三郎ト共ニ紙燃機ヲ考案シ之ヲ請求人松下七兵衛ニ賣渡シタルコトアルヲ以テ請求人ハ却テ之ヲ自己ノ考案ノ如ク云做シ本件審判ノ請求ヲ爲セルモノト推定スルノ外ナシ而シテ請求人ハ乙第一號證即チ明治三十九年十一月二十一日作製シタル公正證書紙燃製造業組合契約書第一條第二條ニ依リ被請求人ノ登録實用新案權ノ存立ヲ認メタリト云ハサルヘカラス尙ホ被請求人ハ松下工場ニ雇ハレタルコトナシ又請求人ハ乙第一號證ノ契約ノ當時被請求人ノ實用新案ハ如何ナル構造ナルヤ知ラスト云フト雖モ請求人松下七兵衛及同人ノ委任狀ヲ所持スル正木大學兩名

ハ明治三十九年十月二十七日被請求人ノ住所ニ來リ登録證及説明書ヲ一覽セリ又若林喜三郎ハ被請求人ノ考案ヲ補助セシニ過キスシテ其ノ主要部分ハ悉ク被請求人ノ考案ニ出テタルモノナリト云フニ在リテ乙第一號證ヲ提出シ且證人ノ訊問ヲ申請セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人ハ本件第一、二、五號實用新案紙燃機ハ請求人松下七兵衛カ森太助ニ製作セシメシ甲第一號證ト同一機ニシテ被請求人ハ右松下ノ工場ニ大工トシテ雇ハレタルカ故ニ右機械ヲ熟知シ之ヲ以テ彼レ自身ノ考案トシテ登録ノ出願ヲナセシモノニシテ右機械ハ被請求人ノ考案ニアラスト主張スルモ右主張ノ事實ヲ認ムルニ付證據十分ナラス請求人ハ又本件實用新案ハ被請求人カ若林喜三郎ト共ニ考案シタルモノニシテ被請求人己ノ考案ニアラス然ルニ之ヲ自己ノ考案トシテ登録ヲ受ケタルハ不法ナリト云フト雖モ證人若林喜三郎ノ陳述ニ依レハ若林ハ該考案ニ付被請求人ヲ補助セシニ過キサルモノナルコトヲ認ムヘキカ故ニ被請求人カ之ヲ自己ノ考案トシテ登録ヲ受ケタルモ不法ニアラス請求人ハ又本件實用新案ハ實用新案法第一條第一項第一號ニ該當スト云フト雖モ本件實用新案カ其ノ登録出願前同一又ハ類似ノ物品ニ關シ帝國内ニ於テ公ニ用キラレタルモノ又ハ之ニ類似スルモノナルコトヲ認ムルニ付證據十分ナラス其ノ他當事者双方ニ於テ論辯スル所アルモ必要ナキカ故ニ説明セス

請求人申立相立タズ

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年五月五日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 阪 田 貞 一

特許局事務官 宿利英治
特許局事務官 奥山萬次郎

第一千二百二十七號

群馬縣山田郡境野村甲千九百二十四番地 請求人 田島幸吉
東京市京橋區山城町十四番地特許代理業者 右代理人 太田資時
京都府與謝郡加悦町字加悦奥百五十八番戸 被請求人 細井三郎助
大阪市車區瓦町一丁目五番地特許代理業者 右代理人 廣井代藏

右田島幸吉ヨリ細井三郎助ニ對シ第三九〇六號實用新案登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處
請求人申立ノ要領ハ登録實用新案第三九〇六號格子縞ノ登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ登録實用新案格子縞ハ其ノ附屬圖面及請求範圍ニ明示セル如ク組織中ニ幅一分又ハ二分適宜組織ヨリモ經絲ヲ多クシテ經筋ノ綾地斜子地等ノ縞ヲ織出シタル格子縞ナリ然ルニ斯ノ如キ組織ヲ有スル織物ハ甲第一號證及同第二號證ニ示スカ如ク本案ノ登録出願前既ニ公用ニ屬セリ被請求人ハ甲第一號證ヲ否認セントスルモ本件實用新案ノ物品カ甲第一號證ノ物品ト其ノ構造相同シキコト及甲第一號證ノ織物カ少クトモ明治三十七年六月以前ニ世間ニ頒布セラレタルモノナルコトハ請求人ノ申請ニヨリ農商務省商品陳列所ヨリ取寄セタル染織鑑及證人山口貴雄ノ證言ニヨリテ明ナリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出シ及證人ノ訊問ヲ申請シタリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ甲第一號證貼付ノ物品カ第五回内國勸業博覽會ニ出品セラレタリト云フモ此ノ物品ハ第三九〇六號登録實用新案ノ物品トハ其ノ構造ヲ異ニセルノミナラス果シテ之ト同一ノ物品カ博覽會ニ出品セラレタルヤ否ヤノ點ニ關シテハ該證ニヨリ其ノ事實ヲ認ムルヲ得ス蓋シ該證ニハ第五回内國勸業博覽會云々ノ文字アリト雖モ如斯印刷物ハ何時ニテモ作製シ得ヘキモノナレハナリ又假令如斯印刷物カ正當ニ成立セリトスルモ之ニ貼付セル織物カ甲第一號證織物ト符合スルヤ明ナラス又甲第二號證ハ桐生織物同業組合長ノ證明書ナリト雖モ斯ル證明書ハ任意ニ何時ニテモ作製シ得ヘキ書類ニシテ信ヲ措クニ足ラス要スルニ請求人ノ立證ハ本件實用新案ノ登録出願前之ト同一又ハ類似ノ物品カ帝國內ニ公用セラレタルコトヲ知ル能ハサルモノニシテ其ノ主張ハ總テ虛偽ナリト認ムルノ外ナシ斯ル不確實ナル證據ニヨリテ實用新案ノ登録無効ナルニ至ラハ正當ナル營業者ハ非常ナル迷惑ヲ蒙ルルニ至ルヘント云フニ在リ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ證人ノ陳述ヲ聽キ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件登録實用新案第三九〇六號格子縞ハ願書ニ添付シタル圖面並ニ其ノ請求範圍ニヨレハ適宜ノ絲ヲ用ヒ組織ヨリモ經絲ヲ多クシテ經筋ノ綾地斜子地等ノ縞ヲ織出シタル織物ノ構造ニ係リ明治三十九年十月十三日實用新案登録ヲ出願シ同年十二月八日登録ヲ受ケタルモノニシテ請求人ノ請求ニヨリ農商務省商品陳列館ヨリ取寄セタル甲第四號證第五回内國勸業博覽會紀念染織鑑ニ登載シタル第一九二號縞透綾〔甲第一號證モ同一ナリ〕ト其ノ構造ニ於テ少シモ異ナル所ナシテ該染織鑑ハ明治三十六年內實其ノ發行ニ關與シタル證人山口貴雄ノ證言ニヨレハ明治三十六年三月頃發行ノ計畫ヲ立テ同三十七年六月見本ノ蒐集ヲ終リ同年九月發行シタルモノニシテ其ノ登載セル織物見本ハ少クトモ明治三十七年六月前世上ニ頒布セラレタルモノノミヲ蒐メタルモノナル事明ナルヲ以テ本件實用新案ト同一

ノ構造ヲ有スル織物ハ本件實用新案登録出願前既ニ公用ニ屬シタルモノト認メサルヘカラス從テ本件實用新案格子縞ノ登録ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ同法第三十一條ニヨリ無効タルヘキモノナリ

右ノ理由ニヨリ審決スルコト左ノ如シ

登録實用新案第三九〇六號格子縞ノ登録ハ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年五月十一日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 大竹 多氣
特許局事務官 松田 啓太郎
特許局事務官 人見 次郎

第一千三百二十四號

大津市松本高見町二百九十九番屋敷

請求人 井口 耕三

大津市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者

右代理人 淺村 三郎

大津市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者

右代理人 佐々木 高吉

大津市東區北久太郎町三丁目四十五番屋敷

被請求人 小山 宗之助

右井口耕三ヨリ小山宗之助ニ對シ第七一〇一號登録實用新案權利確認ノ爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ所有ニ係ル第七一〇七號登録實用新案敷嶋「モスリン」ト請求人ノ縮「モスリン」トハ撞着セサルモノト審決相成度其ノ理由ハ前記第七一〇七號實用新案ハ其ノ登録請求範圍ニ記シアル如ク經絲モ緯絲モ共ニ縮然リヲ施シタル毛絲即チ經緯絲共ニ普通絲ノ有スル然リノ外ニ更ニ縮然リナル格段ナル然リヲ施シタル毛絲ヲ以テ織リタル物品ニ限リ權利ヲ與ヘラレタルモノタルハ明ナリ然ルニ請求人ノ縮「モスリン」ハ普通毛絲即チ普通絲ノ有スル然リノ外別ニ縮然リナルモノヲ施サ、ルモノヲ經トシ之ニ所謂縮然リヲ施シタル毛絲ヲ緯トシテ織込ミテ成ルモノニシテ本件第七一〇七號實用新案トハ其ノ構造全然相異ナリ決シテ撞着スルモノニアラスト信ス被請求人ハ經絲トナサンニハ普通毛絲ヘ更ニ縮然リヲ施スノ必要アリト云フト雖モ普通ノ毛絲ニ適度ノ糊ヲ施シタルモノヲ直ニ織機ニ掛ケ之ニ縮然リヲ施シタル緯絲ヲ織込ミタルモノヲ水液中ニ練リ縮「モスリン」ヲ製出シタルモノハ甲號證ノ如クニシテ織成ニ際シ被請求人ノ主張ノ如ク決シテ經絲ノ切斷スルコトナク容易ニ織成シ得ルコト事實上明確ナリト云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル爲甲第一號乃至第四號證ヲ提出セリ
被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ノ製造ニ係ル縮「モスリン」ニハ普通毛絲即チ普通絲ノ有スル然リノミヲ有スル毛絲ヲ以テ經トナスト云フモ元來普通毛絲ナルモノハ綿絲若クハ麻絲ト相違シ最初ハ殆ント無然リノモノニシテ之ニ適度ノ然リヲ與フレハ毛質ノ纖維力互ニ相膠合サレ始メテ普通ノ絲ノ如キ觀ヲナスモノナレハ其ノ質極メテ脆弱ナリ而シテ普通ニ毛絲ト稱スル總體ノモノハ頗ル僅少ノ然リヲ與ヘタルモノニシテ之ニ然作業ヲ加ヘス其ノ儘ニテ使用スルトキハ機械作業ニ當リ屢切斷シ到底目的ヲ達シ得サルハ事實ニ於テ瞭カナリ被請求人ノ實用新案ノ登録範圍ハ在來ノ毛絲織物ト撞着セサル範圍ニ於テ經緯絲共ニ普通毛絲ニ更ニ縮然リヲ施シタルモノヲ以テ織製スルモ經絲ノ緯絲ヨリ撚方ノ緩弱ナルハ織機構造ニ由來スルモノニシテ數次箴ノ摩擦ニ遭フカ爲ナリ依テ經絲

ニ普通毛絲ノ儘ヲ用ヒ得サルハ勿論又其ノ撚方法強ケレハ原質ヲ弱カラシメ切斷ヲ免カレサレハナリ甲第三號證ノ布片經絲ヲ採リテ看ルニ甲第一號及第二號證ノ毛絲ニ多少ノ撚リヲ施シタルモノト認ムルヲ以テ請求人ハ言行矛盾セルモノナリト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件被請求人ノ有スル第七一〇七號實用新案敷嶋「モスリン」ハ其ノ登錄請求範圍ニ依レハ經絲緯絲共ニ縮撚リヲ施シタル毛絲ヲ以テ織リタルモノナリ然ルニ請求人ノ製造スル縮「モスリン」ハ普通ノ毛絲ニ適度ノ糊ヲ施シタルモノヲ經トシ之ニ縮撚リヲ施シタルモノヲ緯トシテ織成シタルモノナルヲ以テ本件實用新案トハ其ノ構造ノ異ナルモノト云ハサルヲ得ス被請求人ハ市場ニ販賣スル普通ノ毛絲ハ撚リノ僅少ナルカ爲其ノ儘經絲トシテ使用スルコト不可能ナリト主張スト雖モ請求人ノ使用セル經絲ハ市場ニ販賣スル普通ノ毛絲ニ糊ヲ施シタルモノニシテ被請求人ノ實用新案ニ於ケルカ如ク特ニ縮撚リヲ施シタルモノニ非サルコト請求人ノ提出セル甲號證ニ依リ明ナルヲ以テ被請求人ノ主張ハ其ノ理由アルモノト認ムルヲ得ス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人ノ製造スル甲第四號證ノ縮「モスリン」ハ被請求人ノ有スル第七一〇七號實用新案ニ撞着セサルモノトス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年五月十三日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 大竹多氣
特許局技師 安藤格

特許局事務官 奥山萬次郎

第一千三百一號

大阪市南區間屋町百六十二番屋敷

請求人 木村梅藏

大阪市南區安堂寺橋通一丁目五番屋敷特許代理業者

右代理人 小池宗三郎

大阪市西區立賣堀北通一丁目七十六番屋敷

被請求人 藤本鶴

大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者

右代理人 淺村三郎

大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者

右代理人 佐々木高吉

右木村梅藏ヨリ藤本鶴ニ對シ第六五七三號實用新案登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第六五七三號登錄實用新案文鎮兼呼子笛ノ登錄ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ十數年來呼子笛製造ヲ專業トシ製造スル呼子笛ノ形狀種々雜多ニシテ内地玩弄品商並ニ輸出貿易商ヨリ斷ヘス注文ヲ受クル所ナリ而シテ被請求人ハ貿易商ニシテ請求人ノ製品ヲ輸出シ來リタルニモ拘ハラス其ノ物品ニ實用新案ノ登錄ヲ受ケタルモノナレハ其ノ物品ハ已ニ内外市場ニ販賣シ公用ニ屬スルヲ以テ實用新案法第一條第一項ニ該當シ該實用新案權ハ無効ナリト云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル爲甲第一乃至第七號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ノ提出ニ係ル甲號各證ハ本件實用新案文鎮兼呼子笛ノ注文書ニアラス而シテ風車呼子笛ナルモノハ乙第一號證ノ物品ニシテ乙第二號

證ノ本件實用新案品トハ構造ノ異ナルコト一目明瞭ナリトス從テ本件實用新案登錄出願前之ト同一物ハ勿論類似品タリトモ存シタルコトナシト云フニ在テ其ノ答辯ヲ確ムル爲第一號證乃至第三號證ヲ提出セ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件登錄第六五七三號實用新案文鎖兼回轉呼子笛ハ笛、軸架回轉輪ヨリ成ルモノニシテ文鎖トナシ又之ヲ吹鳴スルトキハ輪ヲ回轉セシメテ玩具トナスコトヲ得ルモノナリ然ルニ之ニ類似スルモノニシテ呼子笛ニ風車ヲ組合セ之ヲ吹鳴スルトキハ風車ノ回轉スヘクナシタル所謂風車呼子笛ナルモノ、本件實用新案登錄出願前ニ公用ニ屬シタルコト被請求人亦爭ハサル所ニシテ其ノ提出ニ係ル乙第一號證ニ依リ明ナリ被請求人ハ前記風車呼子笛ト本件實用新案文鎖兼回轉呼子笛トハ其ノ構造ヲ異ニスト云フト雖モ兩者共ニ呼子笛ニ軸架ヲ附設シ鳴口ヨリ排出スル息氣ニ依テ回轉セシムヘク風車ヲ架シタルモノニシテ其ノ構造ニ於テハ互ニ相類似スルモノタルヲ免レス唯意匠ニ於テ異ナル所アリト雖モ之カ爲實用上ノ考案ニ差異アルモノト認ムルヲ得サレハ本件實用新案文鎖兼回轉呼子笛ノ登錄ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ同法第三十一條ニ依リ其ノ登錄ハ之ヲ無効トスヘキモノナリ其ノ他當事者ニ於テ論争スル所アルモ必要ナキニ依リ説明セス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

第六五七三號實用新案文鎖兼回轉呼子笛ノ登錄ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年五月二十八日於特許局

審判長 特許局事務官 宿 利 英 治

特許局技師 安 藤 格
特許局事務官 與 山 萬 次 郎

第千三百三號

大阪市南區間屋町百六十二番屋敷	請 求 人	木 村 梅 藏
大阪市南區安堂寺橋通二丁目五番屋敷特許代理業者	右 代 理 人	小 池 宗 三 郎
大阪市西區立賣堀北通二丁目七十六番屋敷	被 請 求 人	藤 本 鶴
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者	右 代 理 人	淺 村 三 郎
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者	右 代 理 人	佐 々 木 高 吉

右木村梅藏ヨリ藤本鶴ニ對シ第四五三九號實用新案登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第四五三九號實用新案文鎖兼呼子笛ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ十數年來呼子笛製造ヲ專業トシ製造スル呼子笛ノ形狀種々雜多ニシテ内地玩弄品商並ニ輸出貿易商ヨリ斷ヘス注文ヲ受クル所ナリ而シテ被請求人ハ貿易商ニシテ請求人ノ製品ヲ輸出シ來リタルニモ拘ハラス其ノ物品ニ實用新案ノ登錄ヲ受ケタルモノナレハ其ノ物品ハ已ニ内外市場ニ販賣シ公用ニ屬スルヲ以テ實用新案法第一條第一項ニ該當シ該實用新案權ハ無効ナリト云フニ在テ其ノ申立ヲ確ムル爲甲第一號證乃至第七號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人カ提出セル甲號各證中唯纒ニ

甲第二號證中金人物呼子笛ナルモノアリト雖モコハ乙第一號證ノ物品ニシテ其ノ構造下ケ物トナシタル呼子ニテ乙第二號證ノ本件實用新案品ノ如ク文鎖トシテ姿勢ヲ保タシムル所ノ呼子笛ニアラス兩々相對照スレハ互ニ其ノ構造ノ大ニ異ナルヲ見ル而シテ本件實用新案登録出願前ニ於テ本件實用新案ト同一若クハ類似品タリトモ世間ニ製造販賣セラレタルコトナシト云フニ在テ其ノ答辯ヲ確ムル爲乙第一號證乃至第三號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件第四五三九號實用新案文鎖兼呼子笛ハ喇叭ヲ吹奏スル人物ノ身體ヲ呼子笛トナシ足部ヨリ吹鳴スヘクナシテ文鎖トナリ又呼子笛トナルモノニシテ明治三十九年十二月二十七日出願同四十年二月十九日付ヲ以テ登録セラレタルモノナリ然ルニ請求人ノ提出セル甲第二號證ハ呼子笛ノ注文書ニシテ明治三十七年二月十三日付ノ發送ニ係リ其ノ品名中ニ金人物呼子トアルニ依リ本件實用新案文鎖兼呼子笛ノ登録出願前之ト同一又ハ類似ノ物品ノ公用ニ屬シタルヲ認知スルニ足ルヲ以テ該實用新案ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當スルモノニシテ同法第三十一條ニ依リ其ノ登録ハ無効ニ屬スヘキモノナリ其ノ他當事者ニ於テ論争スル處アルモ必要ナキニ依リ説明セス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

第四五三九號實用新案文鎖兼呼子笛ノ登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年五月二十八日於特許局

審判長 特許局事務官 宿利英治
特許局技師 安藤格

特許局事務官 奥山萬次郎

第一千三百五十二號

東京市淺草區小島町十七番地

請求人 兒玉久次郎

東京市淺草區北三筋町七十一番地特許代理業者

右代理人 山中兵吉

東京市淺草區三好町二番地

被請求人 内田傳藏

横濱市山下町百九十三番地特許代理業者

右代理人 出浦力雄

右兒玉久次郎ヨリ内田傳藏ニ對シ第七四七二號實用新案登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ實用新案登録第七四七二號登録ハ無効トスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人カ明治四十年十二月五日登録ヲ受ケタル實用新案第七四七二號指先活動人形ハ其ノ實新案ニアラスシテ之ト同一ノ考案ニ成リタル人形ハ三箇年以前東京市淺草區小島町五十五番地小野寺久太郎ノ製造販賣スル所ニ係リ請求人亦明治四十年晚春ノ頃ヨリ右人形ヲ「ボンチ」手踊人形ノ名稱ヲ以テ製造販賣シタルノミナラス東京市神田區元岩井町十九番地廣瀬辰五郎モ數年前ヨリ製造販賣シ殊ニ同人ハ明治三十八年八月十二日第一八五號ヲ以テ實用新案ノ登録ヲ受ケタルカ故ニ被請求人ノ登録實用新案ハ登録出願以前公用ノモノニ屬シ實用新案法第一條第一號ニ該當シ無効ナリ而シテ請求人ハ指先活動人形ハ數年以前自己ノ新案シタルモノナルモ當時實用新案法發布ナカリシ故其ノ儘製造販賣シ來リ其ノ後明治三十八年五月六日意匠登録ノ出願ヲ爲シタルモ其ノ登録ヲ許スヘカラスト査定セラレタルヲ以テ寧ロ其ノ必要ナキモノト

シ實用新案法發布後モ暫ク其ノ儘製造販賣シ來リシモ明治四十年十二月五日遂ニ實用新案ノ登録ヲ受ケタルモノニシテ既ニ公用ノモノヲ自己ノ新案トシテ登録ヲ受ケタルニアラス從テ若シ他人カ之ト同一又ハ類似ノモノヲ製造販賣シ居ラハ全ク被請求人ノ權利ヲ侵害セルモノナリト云フニアルモ實用新案法第一條第一號ニ所謂登録出願前同一又ハ類似ノ物品ニ關シ帝國内ニ於テ公用キラレタルモノトハ出願者自ラ之ヲ公用ニ付シタルト他人カ之ヲ公用ニ付シタルトハ其ノ問フ所ニアラス然ルニ被請求人ハ出願前既ニ數年間之ヲ製造販賣シテ公用ニ付シタルコトヲ自認スル以上ハ出願ノ當時既ニ實用新案トシテ登録ヲ受クルノ資格ナキモノナリ故ニ此ノ一點ニ徴スルモ被請求人ノ新案登録ハ無効ニ歸スヘキモノナリト云フニ在リ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ第七四七二號登録實用新案ハ登録出願前公用キラレタルモノナルカ故ニ無効ナリト云フト雖モ右實用新案ハ數年以前被請求人ノ考案シタルモ當時未タ實用新案法ノ制定ナキヲ以テ止ムヲ得ス其ノ儘ニ製造販賣シ來リ其ノ後意匠ノ登録ヲ出願シタルモ登録スヘカラサルモノト査定ヲ受ケタルカ故ニ明治四十年十二月ニ至リ實用新案ノ登録ヲ出願シタルモノニシテ既ニ公用ノモノヲ自己ノ新規考案トシテ登録ヲ受ケタルニアラス又小野寺久太郎ノ製造販賣セルモノカ被請求人ノ實用新案ニ同一若クハ類似セハ之レ被請求人ノ實用新案ヲ偽造又ハ模造セルモノナルヘク請求人ノ製造販賣ニ係ル「ポンチ」手踊人形ハ被請求人ノ實用新案ノ純然タル偽造又ハ模造ニシテ正當ノ權利ヲ有スル被請求人ノ登録實用新案ヲ無効ナリトシテ審判ヲ請求シタルハ不法ナリ實用新案法第一條第一號ノ公用トハ何人ノ新案ニ成リタルカ不明ナル物件又ハ他人ノ考案ニ成リタル物件ニシテ汎ク世ニ行ハル、モノヲ指稱シタルモノニシテ自己カ其ノ考案ニ依ルモノヲ製造販賣スルノ事實モ右法條ニ包含ストセハ本件ノ實用新案權ヲ獲得スルコト能ハサルモノナルニ之ヲ獲得シ

タルハ被請求人ノ公用ノ意義ノ正解タルコトヲ證スルニ足ル又廣瀬辰五郎カ實用新案ノ登録ヲ受ケ製造販賣スル活動人形ハ被請求人ノ實用新案トハ全然構造ヲ異ニシ同一ナラサルハ勿論類似スルモノニアラスト云フニ在リテ右ノ事實ヲ確ムル爲意匠登録願及拒絕査定寫ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件第七四七二號登録實用新案ハ其ノ登録出願以前被請求人ニ於テ製造販賣セシコトハ被請求人ノ認ムル所ナリ從テ本件登録實用新案ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ其ノ登録ハ同法第三十一條ニ依リ無効ト爲スヘキモノナリ然ルニ被請求人ハ實用新案法第一條第三項第一號ノ公用トハ何人ノ新案ニ成リタルヤ不明ナル物件又ハ他人ノ考案ニ成リタル物件ニシテ廣ク世ニ行ハル、ヲ指稱シタルモノナリト云フト雖モ右條項ノ「公用キラレタルモノ」トハ自己ノ考案ヨリ成ルモノト他人ノ考案ヨリ成ルモノトヲ問ハス其ノ實用新案ノ登録出願以前公用キラレタル場合ヲ指スノ法意ナルカ故ニ右被請求人ノ主張ハ不當ナリトス

第七四七二號實用新案ノ登録ハ無効トス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年六月三日於特許局

審判長 特許局事務官 宿 利 英 治
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎
特許局事務官 人 見 次 郎

第一千四百四號

* 五十六

大阪東區本町四丁目十番屋敷
 請求人 大阪莫大小同業組合
 同組合組長
 右代表者 辻川半三郎
 右代理人 淺村三郎
 右代理人 佐々木高吉
 被請求人 諏訪直記
 高松市大字四番町六十八番戸

右大阪莫大小同業組合ヨリ諏訪直記ニ對シ第九五三號實用新案登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ登録ヲ得タル第九五三號實用新案便利靴下足袋ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當スルモノナルヲ以テ該登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ被請求人カ明治三十八年十二月六日登録ノ出願ヲナシ同年同月二十五日登録ヲ受ケタル實用新案第九五三號ト同一構造ノ靴下足袋ハ被請求人カ登録出願前ヨリ大阪ヲ始メ京都神戸東京等ニ於テ廣ク製造販賣セラレ公用セラレタルモノナルヲ以テ該登録ハ無効ナリ被請求人ハ本件ハ審判番號第一〇〇〇號事件ト同一ナレハ該審判ニ於テ請求人申立相立タスト審決アリテ已ニ確定シタルモノナレハ一事不再理ノ原則ニ違背セルモノナリト主張スレトモ實用新案法ニ於テ民事訴訟法ヲ適用スヘキ場合ハ特ニ該法第三十九條第四十二條第四十五條ニ規定シアリテ其ノ他ノ場合ハ準用スヘキモノニアラス殊ニ本件ハ該實用新案カ公知ニ屬セル新證據ヲ發見シテ審判ヲ請求セルモノナルヲ以テ一事不再理ノ原則ヲ適用スヘキモノニアラスト云フニ在リテ其

ノ申立ヲ確ムル爲甲第一號證乃至第七號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ請求ハ之ヲ棄却ス審判ニ關スル費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ被請求人ニ對シ明治三十九年三月十五日審判番號第一〇〇〇號事件ニテ無効審判ノ請求ヲ爲シタリ其ノ請求ノ事實及理由一定ノ申立ハ本件請求ト同一ナリ而シテ第一〇〇〇號事件ハ明治三十九年八月三日請求人申立相立タストノ審決アリ上告期間ノ經過ニヨリ該事件ハ確定シタルモノナルヲ以テ本件ハ一事不再理ノ原則ニ違背シタルモノト云ハサルヘカラス或ハ曰ハン無効審判事件ハ民事訴訟ト同一視スヘカラスト然レトモ本件ノ如キ裁判ヲ内容トスルモノニシテ終局審決カ確定スルニ至ラハ一事不再理ノ原則ヲ適用スルニ於テ毫モ不法ニアラス被請求人ハ年來莫大小業ヲ營ム者ニシテ常ニ靴下ヲ製造セシカ一種ノ便利靴下足袋ノ新案ヲ發明シ爾來改良ヲ加ヘ右左互ニ換用スルコトヲ得ルニ至リ實用新案ノ登録ヲ受ケタルモノニシテ登録出願前ニ於テ公知公用ニ屬スルモノニ非スト云フニ在リテ答辯ノ要旨ヲ確ムル爲審判番號第一〇〇〇號事件ノ乙第一號證乃至第四號證ヲ援用セリ
 仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件實用新案第九五三號便利靴下足袋登録ノ無効ナラサルコトハ審判番號第一〇〇〇號ヲ以テ既ニ當事者間ニ確定シタルヲ以テ右審判ト同一當事者間ニ於テ同一理由ニ基キ同一登録實用新案ノ無効審判ヲ請求スルモノニシテ其ノ主張ハ不當ナリトス
 右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス
 審判費用ハ請求人ノ負擔トス
 明治四十一年六月十七日於特許局

* 五十七

審判長 特許局長

中松盛雄

特許局技師 安藤格
特許局事務官 人見次郎

第一千八百八十九號

滋賀縣東淺井郡虎姫村

滋賀縣東淺井郡虎姫村

東京市京橋區桶町三十一番地特許代理業者

滋賀縣坂田郡長濱町大字相生一番屋敷

請求人

滋賀縣蠶種同業組合

右組合代表者

横田隆治

右代理人

高尾傳七

被請求人

池田マウ

右滋賀縣蠶種同業組合ヨリ池田マウニ對シ第五六〇〇號實用新案登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第五六〇〇號改良池田式母蛾保存袋ノ實用新案登録ハ無効トストノ審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ明治四十年三月七日改良池田式母蛾保存袋ノ實用新案登録ヲ出願シ明治四十年六月一日其ノ登録ヲ受ケタリ然ルニ明治三十五年頃ヨリ甲第二號證ノ如キ構造ノ蛾袋ハ滋賀縣下ニ於テ弘ク行ハレタルモノニシテ之ヲ前記新案ト對照スルニ兩者ハ殆ント全ク差異ナキ迄ニ酷似スルヲ以テ被請求人ノ實用新案ハ實用新案法第一條ニ違背シ登録セラルヘキモノニアラス被請求人ハ第五六〇〇號實用新案ハ滋賀縣令ニ基キ二十八蛾區連接シナカラ各區ノ區劃ノ爲一分寸法間ナル二本ノ野線ヲ入レ糊道ヲ一層堅固ニシタルニヨリ新規ナリト主張スト雖モ從來滋賀縣下ニ行ハレタル蛾袋ハ二十八蛾區連接シタルハ

勿論被請求人カ野線ヲ施シタル部分ハ豫メ糊付シタルモノニシテ被請求人ハ右從來公用ノ方法ヲ野ニ顯ハシタルニ過キスシテ新規ト云フノ價値ナシ又被請求人ハ本件實用新案ノ物品ハ二十八蛾區連接シナカラ各別ニ封スルコトヲ得ルカ故ニ從來公行ノ蛾袋ノ如ク袋ノ一方十四ノ蛾ヲ一時ニ封セントシテ蛾ノ這ヒ出シ混入スルノ弊害ヲ免ルヘント云フモ從來公行ノ蛾袋ニ蛾ヲ入ル、方法ハ二十八蛾區ノ一ヨリ漸次「ピンセット」ヲ以テ蛾ヲ挟ミ蛾ノ頭ヨリ先キニ入ル、モノナルニヨリ蛾ハ袋ノ表裏ニ壓セラレ而モ頭部カ先キニアルカ故ニ這ヒ出ルノ憂更ニシテ此ノ蛾ヲ入ル、工作ハ簡易迅速ニ行ヒ得ルヲ以テ袋ノ一區劃一箇宛ニ封スルヨリハ十四ヲ一時ニ封スル方手數ヲ除キ却テ便利ナリトス假ニ數歩ヲ譲リ二十八箇ノ區劃ヲ各別ニ封スルノ必要アリトスルモ斯クノ如ク各別ニ分ツカ如キハ容易ニ推考シ得ヘキモノニシテ新規ノ考案ト云フコトヲ得ス又被請求人ハ蛾袋ノ中間「ミシン」ヲ施ス部分ニハ厚紙ヲ入レアルニヨリ破損ノ憂ナシ此ノ點新案ナリト主張スレトモ薄キ紙ノ破損ヲ防ク爲厚紙ヲ挟ムカ如キハ如斯製作品ニハ一般ニ行ハレ來リタル所ニシテ小兒ト雖モ案出シ得ヘク新案ノ價値アルモノニアラスト云フニ在リテ

甲第一號證乃至甲第四號證及證人訊問ヲ申請セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ第五六〇〇號登録實用新案改良池田式蛾袋ハ明治三十八年蠶病豫防ニ關スル滋賀縣令ニ基キ考案シタルモノニシテ二十八蛾區連接シタル袋ニ各區區劃ノ爲一分寸法間ナル二本ノ野線ヲ入レ糊道ヲ一層堅固ニシタルモノナリ甲第二號證ハ一ヨリ十四ニ至ル區劃ハ存スルモ十四共同封スルヲ以テ區別立タス請求人ハ被請求人カ野線ヲ入レタル部分ハ豫メ糊付スルヲ以テ敢テ野ヲ施ス要ナシト云フモ各區ヲ別々ニ保存セントスル場合ニ共通ノ區劃ニテハ中間ノ蛾區ハ之ヲ保存スル能ハス故ニ野線ヲ入レテ區劃ヲ明ニシ糊道ヲ強固ニシタリ又甲第二號證蛾袋ハ十四共一時ニ糊封スルヲ以テ母蛾ヲ袋ニ入ル、際第七八番ノ區劃ニ至レハ前ノ一二番ノ母蛾ハ這出

スニ至リ母蛾混亂ノ恐レアルモ本件實用新案ハ各袋別々ニ封スルヲ以テ此ノ憂ナシ然ルニ請求人ハ母蛾ヲ袋ニ入ル、ハ迅速ニ行フヲ以テ被請求人ノ云カ如キ憂ナシト云フト雖モ迅速ト然ラサルハ使用者ノ適宜ニシテ蛾袋ノ要ハ安全ヲ主トスルモノナリ生キタル母蛾十四ヲ入レ置キ同封スルカ安全ナルカ各區毎ニ封スルカ安全ナルカ元ヨリ論ヲ俟タヌ又本件實用新案ノ蛾袋ハ中間ニ「ミシン」ヲ入レ洋紙ニテ製造スルモノナレハ袋中ニテ母蛾ノ狂亂スル際破損スルノ虞アレハ殊ニ丈夫ニスル爲ニ二分ノ寸法ナル丈夫ナル紙ヲ挾ミタリ請求人ハ別ニ紙ヲ挾マサルモ實際破損ノ虞ナク又薄キ紙ノ間ニ厚キ紙ヲ挾ミテ之ヲ強固トスルカ如キハ三歳ノ童兒能ク考案シ得ヘシト云フモ實際破損ノ虞アルカ故ニ被請求人ノ丈夫ナル蛾袋ハ使用者ノ意思ニ適ヘリ三歳ノ童兒モ尙ホ考案シ得ヘシト云フカ如キハ不當ナリ又本件實用新案蛾袋ハ各區別々ニ封スルカ故ニ産卵ノ時期ニ遅レタル母蛾アル場合ニ甚タ便利ナリ十四蛾同封ヲ蛾袋ヲ用フル時ハ一蛾ノ爲ニ他ヲ封スルヲ待タサルヘカラサルモ本件實用新案蛾袋ニ於テハ只タ遅レタル一蛾ヲ入ルヘキ區劃ヲ糊封スルヲ待ツノミニテ他ノ區劃マテ糊封スルヲ待ツノ必要ナシ要スルニ請求人ノ申立ハ一モ理由ナシト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類並ニ證據ヲ査閲シ且證人ノ陳述ヲ聽キ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

登録實用新案第五六〇〇號改良池田式母蛾保存袋ハ明治四十年三月七日出願同年六月一日登録ヲ經タルモノニシテ願書ニ添附シタル圖面並ニ解説書ニヨレハ該袋ハ二十八蛾連接シ袋ニシテ其ノ豎中央ニハ幅二分ノ丈夫ナル紙ヲ挾ミ其ノ上ニ「ミシン」ヲカケ各區ノ間ハ一分ノ寸法ニテ糊付シ各區ヲ封糊スル部分ハ半圓形ニ切り其ノ端ニ「アラビヤ」糊ヲ施シ各區順次別々ニ糊封スルヲ得セシムルモノナリ而シテ請求人ヨリ本件實用新案類似品トシテ提出シタル甲第二號證蛾袋ト本件實用新案蛾袋ト其ノ構造

ノ異ナル所ハ前者ニアリテハ二十八連接蛾袋ノ兩端十四蛾區ヲ一時ニ糊封スルノ構造ニシテ後者ニアリテハ各蛾區別々ニ糊付スルノ構造ニナシタルコト及前者ニアリテハ「ミシン」ヲ施ス部分ニ別ニ他ノ紙ヲ挾マサルモ後者ニアリテハ幅二分ノ丈夫ナル紙ヲ挾ミタルトノ差異アリ當事者ハ罫線ノ有無ニツキテ論議スルモ本件實用新案願書ニ添付シタル解説書ニハ罫線ニ付キテハ何等記載スル所ナシ要スルニ甲第二號證蛾袋ハ袋ノ一端十四蛾區ヲ一時ニ封スル構造ナルニ反シ第五六〇〇號實用新案蛾袋ハ十四蛾區ヲ各別々ニ封スル構造トナシタルハ本件實用新案ノ特徴ニシテ其ノ使用上ノ效果ニ於テモ被請求人ノ主張スルカ如ク甲第二號證蛾袋ハ十四蛾區ヲ一時ニ封スルモノナルカ故ニ其ノ一列ノ母蛾ヲ蛾區中ニ入レ終リテ封セントスル際ニハ前ニ入レタル蛾ノ這ヒ出ツルカ如キ虞ナシトセス又一列ノ母蛾中産卵遅レタルモノアル時ハ爲ニ他ノ母蛾ヲ封スルヲ待タサルヘカラサル不便アルモ本件實用新案蛾袋ニアリテハ各蛾區別々ニ封スル構造ナルカ故ニ此ノ不便ナシ以上述フルカ如ク兩種蛾袋ハ其ノ構造並ニ效果ニ於テ相異ルモノニシテ類似ノ物品ト認ムルコトヲ得ス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

明治四十一年六月十七日於特許局

審判長 特許局長 中 松 盛 雄
 特許局事務官 宿 利 英 治
 特許局事務官 人 見 次 郎

第一千三百五十一號

東京市淺草區小島町十六番地

東京市日本橋區本町一丁目十三番地特許代理業者

東京市淺草區小島町五番地

橫濱市山下町百九十三番地特許代理業者

請求人 風間 九郎

右代理人 清水 連郎

被請求人 林 治 祐

右代理人 出 浦 力 雄

右風間九郎ヨリ林治祐ニ對シ第七八八七號實用新案登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第七八八七號登録實用新案花火筒引出扇ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ(一)前記實用新案ハ第五〇二一號實用新案模擬花火ト同シク同形狀ノ南京花火形中ニ同構造ノ引出扇ヲ仕組タルモノニシテ扇ノ地紙ノ數ヲ異ニスルモ前者ハ後者ノ一ノ場合ニ過キササルヲ以テ第七八八七號實用新案ハ實用新案法第十八條ノ規定ニ違フモノナリ(二)第七八八七號實用新案ハ第五〇二一號實用新案ノ一ノ場合ニアラサルモノトスルモ之ヲ容易ニ應用シテ考案シ得ヘキモノナリ又第七八八七號實用新案ト同一構造ヲ以テ仕込メル引出扇ハ第二五二八號第六八二二號第七五七四號實用新案及たばこでんぐりト稱スル引出扇ニ於テ見ル處ニシテ本件實用新案ハ實用新案法第一條第二項第一號並ニ第二號ニ該當スルモノナリ(三)第七八八七號實用新案ト同一ナル形狀構造ニ付テハ實用新案公報第三百一十一號及第一一八六號審判事件中ニ明記セラレタルヲ以テ該實用新案ハ實用新案法第一條第二項第二號ニ該當スルモノナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至第三號證ヲ提出セリ被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ(一)第七八八七號實用新案花火筒引

出扇ハ人ノ使用シ得ヘキ特種ノ扇ナリ然ルニ第五〇二一號實用新案ハ玩具ニ過キスシテ效用アル物品ニアラス且花火筒ノ中ニ藏シタル物前者ハ純然タル扇ナルモ後者ハ扇ノ地紙ニ模擬シタル數片ノ紙ヲ以テ製作シタル模擬花火ナリ從テ實用新案法ノ所謂同一又ハ類似ト云フヘカラス(二)實用新案ノ所謂新案ナルモノハ新案ニ係ル物ノ各部悉ク新案タルヲ要セサルハ實例ニ照シテ明ナリ從テ花火筒引出扇ハ實用新案法第一條第二項第一號及第二號ニ該當スルモノニアラス(三)第七八八七號實用新案ト全ク同一ナル形狀構造ノモノニ付テハ第一一八六號審判事件ニ明記セラレタルニ相違ナキモ特許ヲ受ケタル又ハ實用新案ノ登録ヲ受ケタルモノトシテ明記セラレタルニアラサレハ實用新案法ノ所謂公刊物ニ記載セラレタルモノ又ハ之ニ類似スルモノ、範圍ニ入ルヘキモノニアラスト云フニ在リ仍テ本件ニ間スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件第七八八七號實用新案花火筒引出扇ハ其ノ登録請求範圍並ニ圖面ニ依レハ外形ヲ南京花火ニ模シタル圓筒内ニ導火ニ擬シタル絲ヲ以テ引出ストキハ平面ニ開展シ得ヘキ扇ヲ仕込ミタル構造ニ成ルモノナリ然ルニ請求人ノ所謂たばこでんぐりト稱スル引出扇ト本件登録實用新案花火筒引出扇トハ其ノ構造全ク同一ニシテ只外形ニ於テハ葉卷煙草ニ他ハ花火筒ニ擬シタルノ差アルノミナルヲ以テ兩者ハ互ニ相類似スルモノタルヲ免ルヘカラス而シテたばこでんぐりノ本件登録實用新案登録出願前既ニ公用ニ屬シタルコト請求人ノ主張スルカ如クニシテ又被請求人ノ認ムル所ナルヲ以テ本件實用新案花火筒引出扇ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ其ノ登録ハ無効ニ屬スヘキモノナリ右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

登録第七八八七號實用新案花火筒引出扇ノ登録ハ之ヲ無効トス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年六月十七日於特許局

審判長

特許局事務官 宿利英治
特許局技師 安藤格
特許局事務官 人見次郎

*六十四

第一千八百二十三號

神戸市元町通七丁目四十番屋敷ノ一

大阪市東區備後町二丁目十八番屋敷特許代理業者

大阪市西區松島町一丁目百四十番邸

大阪市北區福島中四丁目二百十二番地

右中山有信ヨリ泉常一郎ニ對シ第三九三二號實用新案登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人 中山有信
右代理人 堤他彦

被請求人 泉常一郎
右代理人 丸山庸二

請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ登録實用新案第三九三二號「スプリング」式精米機ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ無効ナリトノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人カ明治四十年一月十五日樋本清一郎ヨリ讓受ケタル登録實用新案第三九三二號精米機ハ甲第二號證ノ如ク屈曲セル竿(イ)ノ一端ニ軸ヲ貫通シ他ノ一端ニ臼内ニ出沒スル杵(ニ)ヲ固着シ又屈曲部ニハ「スプリング」(ロ)ノ上端ヲ付シ其ノ「スプリング」(ロ)ノ下端ハ「クランク」(ハ)ニ連着シ以テ杵ノ衝力ヲ緩和スヘキ構造ナリ然ルニ訴外人原嘉助ナル者ヨリ明治三十六年四月二十九日付ヲ以テ特許ヲ出願セル願書番號第二四六八二號ノ精米機ハ甲第一號證ノ如ク軸(イ)ニ杵杆(ロ)ト傳動杆(ニ)ノ各一端ヲ緩ク取付ケ其ノ傳動杆(ニ)ハ屈曲シ居リソノ屈曲部ト先端トノ間ニ腕杆(三)ヲ設ケ該腕杆(三)ノ各先端ニ杵杆(ロ)ニ附シタル螺條彈機(ホ)ヲ附着シ又傳動杆(ニ)ノ先端ニハ強力ナル螺條彈機(ホ)ノ上端ヲ附シ其ノ彈機ノ下端ハ曲軸(ト)ニ緩着セル構造ニシテ何レモ彈機ノ作用ニ依リ杵ノ衝力ヲ和クヘキ機構相類似シ其ノ精神ニ就テハ兩者同一ナリ而シテ斯ク彈機ヲ利用シテ杵ノ衝力ヲ緩和スル精米機ハ已ニ公知公用ナルコト甲第四號證特許拒絕査定ニヨリ明ナリ加之甲第一號證ノ請求範圍第二項ニヨレハ甲第二號證ノ精米機ハ全然同一ナリ而シテ甲第一號證ノ物品ハ其ノ特許出願中ニ於テ汎ク販賣セラレ甲第五號證ノ如キ精緻機ヲ明治三十七年原嘉助ノ精米機製造營業ノ雇人ヨリ仲次人ヲ介シ大阪府下三島郡桑原村大川合資會社ヘ販賣シ今尙ホ同會社ニ使用保存セリ之ヲ甲第二號證ト比較スルニ曲軸ヲ杵杆ノ上方ニ設ケ彈機ヲシテ上方ヨリ杵杆ニ動力ヲ傳ヘシムルト下方ヨリセシムルト彈機ノ數ニ多少アルトノ差ニ過キヌ之ニ依リテ視ルモ登録實用新案第三九三二號ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ其ノ登録ハ無効ナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第五號證ヲ提出シ且證人訊問ノ申請ヲナセリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人提出ニ係ル訴外人原嘉助ナル者ヨリ明治三十六年四月二十九日付ヲ以テ特許ヲ出願シタル願書番號第二四六八二號ノ精米機ニ關シ甲第一號證ノ明細書及圖面ヲ視ルニ不合理不得要領ノ點多ク一見該機ハ此ノ如キ構造ニテ實用シ得且ソノ目的ヲ達シ得ルヤ疑ハシ被請求人所有ノ實用新案登録第三九三二號精米機ハ全體ニ於テ請求人提出ノ甲第一號證ノ如キモノト構造及效果ヲ異ニス又被請求人ハ明治四十年七月十九日技師ヲ大阪府下三島郡桑原村大川合資會社ニ派シ原嘉助ノ製品ナル精米機ヲ調査セシメタルモ要領ヲ得ス晒布ヲ春クタメニ使用シタリト稱スルニ箇年以上納屋ニ散亂セル現品ヲ組立テ乙第一號證ノ如キヲ得テ之カ運轉作用ヲ試ミ

*六十五

名リ該機ハ最初ヨリ精米ノ目的ニ使用セシ物ニアラサレハ或ハ請求人申立ノ物ナルヤ否ヤ判明セサルモ
 假ニ甲第五號證ト同物トシテ論センニ該機ニアリテハ曲軸上ルトキハ彈機(㊄)ノ伸張力ニヨリテハ曲軸
 ニ非常ナル荷ヲ與ヘ曲軸ノ下ルトキハ杵頭ノ撞擊ヲ強クスルモノニシテ決シテ撞擊ヲ緩和スル作用ヲナ
 サスト雖モ請求人所有ノ登錄實用新案第三九三二號精米機ニ在リテハ乙第二號證ノ如ク彈機(㊄)ノ下端ハ
 單ニ(㊄)ノ凹所ニ嵌リ居ルノミニテ取附アラサレハ杵頭ノ撞擊ヲ調和スヘキコト明ナリト云フニ在リテ
 乙第一號證及第二號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 本件登錄實用新案第三九三二號「スプリング」式精米機ノ構造ハ甲第一號證特許願添付ノ明細書請求範
 圍第一項ニ記載セル精米機ノ構造ニ比較シテ傳動杆(㊄)ヲ有セス彈機(㊄)ノ用途ヲ異ニシ其ノ全體ニ於
 テ相異ナルモノナルコト被請求人主張ノ如シ又甲第一號證請求範圍第二項ニ付テハ請求人ハ本件實用
 新案登錄出願前汎ク販賣セラレ現ニ甲第五號證ノ如キ精穀機ヲ明治三十七年原嘉助ノ精米機製造營業
 ノ雇人ヨリ大阪府下三島郡桑原村大川合資會社ヘ販賣シタル事實アリト主張スルモ甲第五號證ノ精米
 機ハ請求人モ自認スル如ク彈機ノ數ニ多少アリ其ノ取附ニ於テモ異ナルモノナレハ繁簡便否ノ相異ナ
 ルモノナリ故ニ之ヲ以テ登錄實用新案第三九三二號ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當スルモノ
 ト斷スルヲ得ス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

明治四十一年六月三十日於特許局

審判長 特許局技師 湯淺藤市郎

特許局事務官 宿利英治
 特許局事務官 人見次郎

第一千二百四十號

京都市下京區四條通柳町馬場東へ入立賣東町一番地内三番戶

京都市京橋區采女町二十七番地特許代理業者

京都市上京區新町通下立賣上ル兩御靈町九十九番地

請 求 人 兒 島 定 七
 右 代 理 人 木 戶 傳

被 請 求 人 眞 垣 矩 雄

右兒島定七ヨリ眞垣矩雄ニ對シ第五一一一號實用新案登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理
 ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第五一一一號實用新案東郷羅紗ノ登錄ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ被請求人
 ノ第五一一一號實用新案東郷羅紗ハ太キ柞蠶紡績絲ヲ緯絲トシテ織リタル布面ヲ搔キテ表裏面ニ細毛ヲ
 現出セシメ一見羅紗地ノ如ク構成シタルモノニシテ明治三十九年十一月八日ノ出願ニ係ル然ルニ請求人
 ハ東京市日本橋區久松町伊澤芳造ニ紡績綿絲ヲ經トシテ柞蠶紡績絲ヲ緯トシテ織製シ其ノ表裏面ニ起毛
 セル絹「ネル」ノ製造方ヲ囑托シ伊澤ハ製織合資會社ニ於テ之ヲ製造シ明治三十九年十一月八日以前ニ於
 テ自ラ公然之ヲ頸卷其ノ他ノ用途ニ使用スルト同時ニ見本トシテ取引先ニ之ヲ送り又横濱地方へ販賣
 セリ請求人ハ又前記ノ織物ヲ京都市谷川安太郎ニ製造セシメ其ノ製品ハ明治三十九年十一月八日前ニ之
 ヲ公ニ使用セリ其ノ他請求人ハ京都市濱部儀八郎ニ前同一ノ織物ヲ製造セシメ明治三十九年十一月八日
 前ニ之ヲ公ニ用ヒタリ又本件實用新案ハ其ノ出願前即チ明治三十九年九月三十日付ヲ以テ請求人ノ出願

シタル登録第四八二八號實用新案絹「ネル」ニ類似ヲ免レサレハ實用新案法第十八條ニ違反シタルモノナ
 リト云フニ在テ其ノ申立ヲ確ムル爲メ第一號證及第二號證ヲ提出シ且證人訊問ヲ申請セリ
 被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ濱部儀八郎ハ明治三十九年十一月下
 旬大戸虎次郎ナル者ニ依リ試製セルモ僅カニ二日間ニ十尺以内ノ製織ヲ試シニ止リ請求人申立ノ如ク製
 出又ハ公ニ用ヒラレタル痕跡ナシ又被請求人ハ請求人ノ依頼ニ依リ牧小八郎ナル者ヨリ東郷羅紗新案分
 權ノ交渉ヲ受ケタルモ應セザリシ事實アリ本件新案カ出願前公ニ用ヒラレ又ハ請求人ノ絹「ネル」ニ類
 似セルモノナレハ何ヲ苦ンテ分權交渉ヲ迫ルノ要アラシヤ本件實用新案ハ羅紗ヲ以テ目的トシ絹「ネル」
 ヲ目的トセルモノトハ經緯絲ニ差異アリ從テ其ノ組織ニ異ナル所アルハ各登録證ニ明示スル所ナリト云
 フニ在リテ其ノ答辯ヲ確ムル爲メ第一號證及第二號證ヲ提出セリ
 仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件第五一一號實用新案東郷羅紗ハ其ノ登録請求範圍ニ依レハ太キ柞蠶紡績絲ヲ緯絲トシテ織リタ
 ル布面ヲ搔キテ表裏ニ細毛ヲ現出セシメ一見羅紗地ノ如ク織成シタル織物ニシテ明治三十九年十一月
 八日ノ出願ニ係ルモノナリ然ルニ請求人ハ明治三十九年夏頃本件實用新案ト同一組織ノ織物ヲ製造セ
 シメ其ノ製品ヲ該實用新案登録出願前公用ニ屬セシメタルノ事實アルコトハ證人伊澤芳造ノ陳述ニ依
 リ認知スルニ足ルヲ以テ本件實用新案ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シ其ノ登録ハ無効ニ屬
 スヘキモノナリ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
 登録第五一一號實用新案東郷羅紗ノ登録ハ之ヲ無効トス
 審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年六月三十日於特許局

審判長 特許局事務官 松田啓太郎
 特許局技師 安藤格
 特許局事務官 人見次郎

第一千三百四十六號

大阪市西區靱下通二丁目二十二番地 請求人 吉岡又兵衛
 大阪市東區瓦町一丁目五番地特許代理業者 右代理人 廣井代藏
 大阪府中河内郡楠根村大字稻田千八百八十七番地 被請求人 日本レザー合資會社
 大阪市東區釣鐘町二丁目四十七番地特許代理業者 右代理人 戸田松次郎
 右吉岡又兵衛ヨリ日本レザー合資會社ニ對シ第六七九二號登録實用新案權利確認ノ爲審判ヲ請求シタル
 ニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第八〇七二號登録實用新案ハ第六七九二號登録實用新案ニ撞着セサルモノト審決相
 成度其ノ理由ハ被請求人ノ第六七九二號登録實用新案ハ南部表ニ摸擬シタル「レザー」表ノ次ニ綿「ネル」
 又ハ同效品、縦ニ四條ヲ設ケタル板紙、彈力護謨又ハ同效品、板紙ヲ順次ニ設ケ「レザー」ノ周邊ヲ裏面ヘ
 折返シ裏張ヲ設ケテ成ルモノニシテ請求人ノ第八〇七二號登録實用新案ハ南部表ニ摸擬シタル「レザー」
 表ノ次ニ厚紙、布、厚紙ヲ設ケ裏貼ヲ貼付シ釘ヲ施シ釘ノ先端ニ鈎ヲ設ケ又緒孔ニはとめヲ設ケテ成ル
 モノナリ故ニ請求人ノ實用新案ハ被請求人ノ實用新案ノ如ク踵部ニ彈力護謨又ハ同效品ヲ設ケスシテ厚

紙ト厚紙トノ間ニ布ヲ設ケ又凹條ヲ施シタル板紙ヲ用キスシテ通常ノ厚紙ヲ用キ更ニ緒孔ニはごめヲ設ケ其ノ他釘、鉤ヲ設ケタルモノニシテ構造上多大ノ差異アリ然リ而シテ實用新案權ハ其ノ請求範圍全部ニ付テ一權利ヲ構成スルモノナルカ故ニ假令實用新案中一部ノ撞着アルモ之ヲ以テ兩實用新案ノ撞着セ

ルモノト云フヲ得ス假ニ一步ヲ讓リテ主要部分ノ模造カ撞着ヲ生シ得ヘシトスルモ南部表ノ如キ型模樣ヲ有スル「レザ」ハ被請求人ノ實用新案出願前ヨリ普通ニ行ハレタルモノニシテ主要部分ニアラスト云フニアリテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ
被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ主張ハ不當ニ付申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決相成度其ノ理由ハ被請求人ノ實用新案ハ狭小ナル内脛一部ノ構造ニアラスシテ全部ニ亘リ殊ニ其ノ主腦ハ一見外觀ノ南部表即チ履物表ニ異ナラサル製品ヲ得ルノミナラス摩擦ニ會フモ強靱ニシテ耐久力アリ又脂垢ノ附着ヲ防キ汚染スルモ能ク清潔トナルノ效アルノミナラス價格ノ頗ル低廉ナル等最モ實用ニ適スルノ點ニアリ請求人ハ又實用新案權ナルモノハ全體ノ構造ヲ混丸シタル一權利ナリト論斷セリ然ラハ本件係争ノ兩實用新案ヲ其ノ論斷ノ下ニ比較案セハ夫々幾何ノ差異アルヤ其ノ南部表ニ模擬セル履物表部ニ於テハ全然一致セリ唯僅ニ甲ニ無クシテ乙ニ有セルモノハ即チ鉤ヲ有セル鉤アルノミ之レ即チ實用新案法第十四條第一項ノ適用ヲ來ス所以ナリト云フニ在リテ乙第一號證乃至乙第七號證ヲ提出セリ仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人ノ第八〇七二號登錄實用新案ヲ被請求人ノ第六七九二號登錄實用新案ニ比スレハ請求人ノ實用新案ニ於テハ履物表ノ裏面ニ鉤ヲ有スル鉤ヲ附着シ又はごめヲ設ケタルモ被請求人ノ實用新案ニ於テハ之ヲ有セス又被請求人ノ實用新案ニ於テハ其ノ構造中ニ彈力「ゴム」ヲ用フルモ請求人實用新案ニ於テハ之ヲ有セサルノ差アリト雖モ南部表ニ模擬シタル「レザ」表ヲ使用シタルハ兩者相同シク其ノ他

厚紙ト板紙、布ト綿、ネル「又ハ同效品等何レモ相等シキ物品ヲ使用スルヲ以テ請求人ノ實用新案ハ此ノ點ニ於テ被請求人ノ實用新案ニ撞着スルモノトス其ノ他當事者間ニ辯論スル所アルモ必要ナキカ故ニ説明セス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年六月三十日於特許局

審判長

特許局事務官

松田啓太郎

特許局技師

安藤格

特許局事務官

奥山萬次郎

第一千二百八十五號

群馬縣多野郡藤岡町五百五十三番地

請求人

福島元助

東京市京橋區木挽町九丁目十八番地特許代理業者

右代理人

拔山庄次郎

埼玉縣大里郡深谷町本住町二百五十番地

被請求人

新島森造

東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許代理業者

右代理人

稻木繁太郎

右福島元助ヨリ新島森造ニ對シ第六七〇五號實用新案登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ登録第六七〇五號實用新案新島式桑葉刻器械ノ登録ハ實用新案法第一條第二號及同法第十八條ニ該當シ同法第三十一條ニ依リ無効ナリトノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ本件登録第六七〇五號實用新案新島式桑葉刻器械ハ明治四十年六月ノ出願ニ係ルモノニシテ之ヲ其ノ登録出願前即チ明治四十年一月二十三日ヲ以テ出願シ同年三月六日附ヲ以テ登録ヲ得タル請求人所有ノ登録第四七四〇號實用新案桑葉刻器ト比較スルニ兩者均等ニシテ其ノ形狀構造ノ全體ニ於テ彼是相類似セリ而シテ兩者相違ノ點ハ第一前者ノ垂錘ニ代フルニ後者ハ撥條ヲ以テシタルコト第二前者ハ組ノ動搖ヲ防クカタメ挿板ヲ具ヘタルモ後者之ヲ有セサルコトニ在リト雖モ垂錘ト撥條トハ機構上均等ニシテ本件ノ如キ器械ニ應用スル場合ニ於テハ其ノ目的ヲ達スル上ニ就キテ何等ノ懸隔ナク共ニ類似タルヲ免レス組ノ挿板ニ就キテハ元來桑葉刻器ニ便用スル組ハ特ニ狂反ヲ防クヘキ構造ノモノナルカ故ニ伸縮甚タ僅少ニシテ挿板ノ如キヲ要セスシテ終始圓滑ナル運動ヲナスナリ又假ニ一枚板ヲ以テ組ヲ製シタリトスルモ挿板ヲ要スル程其ノ幅ニ伸縮ヲ來スモノニ非スシテ挿板ハ必竟無用ノモノナリ又被請求人ハ箱枠ヲ前方ニ向テ稍幅廣ニ構成シタリトノ點ヲ主張スルモ登録實用新案第六七〇五號ノ圖面及其ノ說明ニ記載ナキヲ見レハ之ヲ以テ其ノ要部ト認ムル能ハス又被請求人ノ主張スル庖刀ヲ押壓スル裝置ハ兩器械共「リンク」作用ヲ應用シタルモノニシテ機構上均等ノモノナリ被請求人ハ特ニ押切杆ヲ庖刀ノ中心タルヘキ場所ニ設備シタルタメ押下カヲ庖刀ノ中心ニ與ヘ以テ桑葉ヲ平均ニ切斷シ從テ組ノ偏減ナシト稱スルモ是亦請求人ノ器械ニ於テモ實際上同一效果アリ兩者ノ此ノ點ハ類似スト云フヨリモ寧ロ同一機構ナリト云フヲ至當トス其ノ他被請求人所有ノ第六七〇五號實用新案器械ニ備フル所ハ一トシテ請求人所有ノ第四七四〇號實用新案器械ニ備ハラサルナシ故ニ兩者ハ全ク相似スルモノニシテ登録實用新案第六七〇五號ハ實用新案法第一條第二號及同法第十八條ノ規定ニ違ヒ登録ヲ得タルモノニシテ同法第三十一條ニ依リ無効タルヘキモノナリト云フニ在リ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タス且審判費用ハ請求人ノ負擔タルヘシトノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ登録第六七〇五號實用新案ト登録第四七四〇號實用新案ハ相類似セス實用新案法第一號第二號及同法第十八條ニ該當スヘキモノニ非ス何トナレハ被請求人所有ノ登録第六七〇五號桑葉刻器械ハ前方ニ向ツテ稍幅廣ニ構成セル箱枠ニ依テ桑葉ノ漸次ニ送出セラル、ニ隨テ壓迫澁滯スルコトナキ様調節スルノミナラス枠ノ兩側ニ一端扁平ナル挿板ヲ施設シ以テ組カ水分ノ爲膨脹シ又ハ乾燥シタル場合ニ常ニ適切ナル進行ヲ保タシムルコト引出金ノ一端ニ垂錘ヲ付設シタルコト釣杆ニテ關着セル庖刀ノ中心ニ押切杆ヲ設備シ其ノ押下カヲ庖刀ノ中心ヨリ付與セシメタルコト等ハ本案ノ主要ノ點ニシテ如上ノ主要點ハ一トシテ請求人所有ノ第四七四〇號實用新案ニ見サル所ニシテ兩者毫モ類似セス故ニ實用新案第四七四〇號登録ノタメニ實用新案第六七〇五號ヲ無効タラシムヘキモノニアラス又實用新案法第十八條ノ法意ハ共ニ出願中ニ係續スル場合ヲ規定シタルモノニシテ實用新案第四七四〇號ハ實用新案第六七〇五號ノ出願ニ先チ既ニ出願手續ヲ終了シタルモノナルニヨリ之ヲ以テ本件第六七〇五號實用新案ノ登録ニ對シ無効ノ請求ヲナスハ不當ナリト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 登録第四七四〇號實用新案ト登録第六七〇五號實用新案トハ其ノ登録請求範圍及圖面ニ付之ヲ案スルニ大體ノ構造ニ於テ兩者相等シクシテ其ノ相違セル點ハ(第一)後者ノ垂錘(第二)前者ノ撥條(第三)前者ノ組ニ設ケタル挿板ハ前者ニ其ノ設ナク(第三)後者ノ庖刀ヲ押壓スル裝置ハ並行運動ヲナスヘキ「リンク」裝置ナレトモ前者ノ該裝置ハ並行運動ヲナサル「リンク」裝置ナルニ在リ而シテ其ノ(第一)ノ如キハ本件ノ場合ニ於テハ兩者相類似セサル理由トナスニ足ラサルコト請求人主張ノ如シト雖

モ(第二)(第三)ニ至テハ其ノ構造ニ應シタル特殊ノ效果ヲ生スルコト被請求人主張ノ如クニシテ是等ノ相違ヲ顧ミス兩者相似スト云フハ至當ニ非ス即チ登録實用新案第六七〇五號ハ其ノ先願タル登録第四七四〇號實用新案ヲ利用シ其ノ組ニ挿板ヲ設ケ其ノ庖刀押壓裝置ノ「リンク」裝置ヲ更ニ並行運動ヲナスヘク改メタルモノト認ムヘシト雖モ之カ爲ニ直ニ登録第六七〇五號實用新案カ登録第四七四〇號實用新案ニ相似シ實用新案法第一條第二號及同法第十八條ノ規定ニ違背セルモノナリト云フヲ得ス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
 請求人申立相立タス
 審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年七月十日於特許局

審判長 特許局技師 湯淺藤市郎
 特許局技師 安藤格
 特許局事務官 奥山萬次郎

第一千三百七十二號

香川縣綾歌郡法勤寺村大字東小川八百七十九番地 請求人 横山喜四郎
 香川縣綾歌郡宇多津町二千九十四番地 請求人 篠原好太郎
 香川縣綾歌郡飯野村大字東分吉岡四百五十四番地 請求人 小林松藏

香川縣綾歌郡飯野村大字東二、五百十四番地ノ第五

被請求人 三井兵太郎

右横山喜四郎外二名ヨリ三井兵太郎ニ對シ第六八四四號實用新案登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂タル處

請求人申立ノ要領ハ第六八四四號實用新案豊年除草器ノ登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ右實用新案ハ明治四十年七月十七日出願シ同年十月十四日登録ヲ受ケタルモノナルモ之ト同一ノ除草器ハ本件實用新案登録出願前既ニ被請求人以外幾多ノ當事者ニ依リ製作販賣セラレ請求人等ハ明治三十八年五月四日以來之ヲ製造販賣セリ而シテ被請求人亦明治三十九年五月以來之ヲ製造シ明治四十年五月香川縣綾歌郡飯野村役場ニ販賣ヲ依托シタル事實アリ又請求人等カ製造販賣シタル除草器ハ第一號證及第二號證ニ示ス如ク香川縣綾歌郡法勤寺村ニ於テ明治三十八年五月以來使用セラレ尙ホ又同郡宇多津町ニ於テハ明治三十九年五月以來使用セラレ從テ本件實用新案ハ實用新案法第一條ニ違犯シタルヲ以テ同法第三十一條ニ依リ無効タルヘキモノト信スト云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル爲甲第一號證及第二號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ除草器ヲ明治三十八年五月四日以來製造販賣シタルトシ其ノ證據トシテ村長ノ證明書ヲ提出セシモ其ノ證明ハ信ヲ置クニ足ラス被請求人ハ明治三十五年四月始メテ該物品ヲ製造販賣セシカ三十七年香川縣共進會ニ出品セシモ其ノ際ハ未タ完全ナラス明治四十年ニ至リ稍完全ニ改良セシヲ以テ實用新案トシテ出願シタルモノナリ請求人等カ提出セシ第一號證及第二號證ハ被請求人ノ新案權ヲ公表セシ圖面ヲ其ノ儘取寫シタルモノニシテ其ノ圖面ハ被請求人カ實用新案ノ圖面ト同一ナルモ現物ノ除草器ハ大ニ相違シ其ノ重ナル點ハ(一)製造人ノ製造セシモノハ真木ハ二箇トモ六角ナルモ被請求人ノ分ハ丸キモノナリ(二)請求人ノ製品ハ稻除ニ直接

車ヲ附着シアルモ被請求人ノモノハ稻除ニ眞金ヲ附着シ中央ニ要釘ヲ以テ之ヲ止メ眞木ニ眞金ヲ曲テ嵌メ少シク振動スルモノニシテ大人小兒モ自由ニ使用シ得ルノ便アリ(三)請求人ノ製品ハ眞木ニ附着セル羽根ノ打附ハ向ヒ合ニナリ居ルモ被請求人ノ分ハ入レ合セニナリ居レリト云フニ在リテ其ノ答辯ヲ確ムル爲乙第一號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件第六八四號實用新案豐年除草器ハ其ノ登録請求範圍ニ依レハ把手橫棧稻除及弧狀ノ除草輪ヨリ成リ除草輪ノ支持杆ヲ其ノ中央部ニ於テ鉸ヲ以テ稻除ニ定着シ鉸ヲ中心トシテ上下ニ多少振動スヘク成シタルモノナリ然ルニ請求人ハ之ト同一ノ除草器ヲ明治三十八年五月四日以來製造販賣シ香川縣綾歌郡法勤寺村並ニ宇多津町ニ於テ使用セリト主張シ其ノ主張ヲ確ムル爲町長及村長ノ證明書ヲ提出セシモ被請求人ハ其ノ主張ノ事實ヲ非認スルノミナラス同一村長ニシテ本件實用新案ノ除草器ト請求人ノ製作ニ係ル除草器トハ其ノ構造ヲ相違アルコトヲ證明セルモノアルヲ以テ右請求人ノ主張ハ信スルニ足ラス要之本件實用新案ハ請求人主張ノ如ク實用新案法第一條ニ違反シタルモノト認ムルニ足ルヘキ證據ナシ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年七月十七日於特許局

審判長 特許局事務官 宿 利 英 治
特許局技師 安 藤 格

特許局事務官 人 見 次 郎

第一千三百十六號

請求人 飯塚啓太郎
右代理人 高尾傳七
被請求人 菊地長吉
栃木縣足利郡毛野村大字山川

右飯塚啓太郎ヨリ菊地長吉ニ對シ第四六六九號實用新案ト被請求人ノ使用スル艶出器トニ付撞着ノ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ現ニ使用スル艶出器ハ請求人ノ有スル實用新案第四六六九號登録飯塚式織物艶出器ト撞着ストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人ハ甲第一號證圖面ノ如キ構造ヲ有スル艶出器ヲ現ニ使用セリ然ルニ右ハ請求人カ登録ヲ受ケタル前記實用新案第四六六九號艶出器ト其ノ要部ニ於テ酷似スルモノニシテ撞着スルヲ免レサルモノト信スト云フニ在リ而シテ其ノ申立ニ付甲第一號證ヲ提出シ且檢證ノ申立ヲ爲セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タストノ審決ヲ求ム何トナレハ被請求人ノ現ニ使用シ居ルしはのし器ハ乙第一號證圖面ノ如ク其ノ要部ナル點即チ熱管ノ位置其ノ數蒸汽口等ニ於テ構造ヲ異ニスルノミナラス其ノ他凡テノ構造ニ於テ撞着セサルモノト信スト云フニ在リ而シテ乙第一號證ヲ提出セリ仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ且臨檢ヲ了シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人カ證據保全ノ爲檢證ノ申立ヲ爲シタルニ基キ被請求人ノ住所ニ就キ其ノ使用セル艶出器ヲ臨檢

シタルニ被請求人使用ノ艶出器ハ檢證調書ニ記載セル如ク釜ニ之ニ適合スヘキ圓錐狀ノ冠ヲ附シ其ノ先端ニ丁字狀ニ下部三角形上部半圓形ノ樋ヲ支持セシメ此ノ樋上ニ凹形ノ銅管ヲ附着シ其ノ上面ノ一側ニ偏シテ細溝ヲ設ケタルモノ及卓子狀ノ臺上ニ蒲鉾形ノ二箇ノ架ヲ固定シ之ヲ貫通セシメテ鈍三角形ノ位置ニ三箇ノ橢圓形銅管ヲ設ケ其ノ下部ノ二管ニハ各内側ニ之ト併行シテ細管ヲ附シ其ノ上面ニ蒸氣ヲ噴出スヘキ細溝ヲ設ケタルモノニシテ請求人ノ第四六六九號登錄實用新案及甲第一號證ニ比シ其ノ構造形狀ヲ異ニスルヲ以テ兩者互ニ撞着セサルモノナリト云ハサルヲ得ス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

明治四十一年八月十九日於特許局

審判長

特許局事務官

松田啓太郎

特許局技師

安藤格

特許局事務官

奥山萬次郎

第千三百五十五號

名古屋市新道町四丁目十六番地

名古屋市矢場町二百六十五番戶

名古屋市上茶屋町一丁目四番戶

請求人

眞野政太郎

請求人

富山英太郎

請求人

小池桂次郎

名古屋市愛門前町一丁目四十七番地

名古屋市下園町三丁目一番地

名古屋市南伊勢町二番地特許代理業者

東海市麻布區築町百七十五番地

東海市京橋區木挽町九丁目二十番地特許代理業者

請求人

小松柳助

請求人

奥田梅太郎

右代理人

武田良吾

被請求人

庄田常次郎

右代理人

高橋淺五郎

右眞野政太郎外四名ヨリ庄田常次郎ニ對シ第三五六號洋燈口金實用新案權利確認ノ爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ甲第一號證ニ示ス如ク心筒ヲ延長シテ火帽ノ上部ニ少シク突起セシメタル洋燈口金ハ實用新案登錄第三五六號洋燈倭油口金ノ登錄範圍ト撞着セサルモノト審決相成度其ノ理由ハ請求人カ數年來使用セル甲第一號證圖面ニ示ス街燈用口金ハ普通用品ナルニ拘ハラス被請求人ノ有スル實用新案登錄第三五六號ノ權利ヲ侵害セルモノトシテ請求人ニ對シ名古屋地方裁判所ニ告訴セリ然ルニ該新案ハ心筒ヲ延長シテ其ノ心筒ノ上端ト火帽截缺孔ノ下端ト同一ノ高サトナス點ニ存ス然ルニ苟モ心筒ヲ延長スルモノハ悉ク此ノ新案ノ權利ヲ侵害スルモノト主張シ心筒ノ火帽上部ニ突出セルモノ即チ請求人使用ノ口金モ亦權利ニ屬スルモノナリト云フモ請求人使用ノ口金ハ實用新案登錄第三五六號ノ登錄前即チ明治三十七年十一月二十四日付審判第七六五號ヲ以テ特許出願前公知ナルノ理由ニ依リ無効トナレル特許第六五八五號ノ口金ト同一品ニシテ從來公知ノ普通品ニ屬スルノミナラス其ノ效果ニ於テモ全ク異ナルモノニシテ實用新案登錄第三五六號ト撞着スルモノニ非スト云フニアリテ其ノ主張ヲ確ムル爲メ甲第一號證乃至第三號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要旨ハ請求人申立相立タストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ請求人ハ特許第六五八五號ノ口金

ト請求人使用ノ口金トハ同一物品ニシテ本件新案ト撞着セサルモノナリト云フモ本件實用新案ト該特許
トハ撞着スヘキモノニアラス其ノ審決ノ結果ハ請求人ニ何等ノ利害ヲ及ス可キモノニアラサルカ故ニ請
求人ハ實用新案法ニ所謂利害關係人ニアラサルヲ以テ本件請求ハ違法ナリト云フニアリ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

被請求人カ所有スル實用新案登錄第三五六號ノ口金ハ倭油ヲ使用スル目的ニ於テ心筒ヲ火帽ノ截缺孔
ノ下端ト同一ノ高サマテ延長スル考案ヨリ成ルモノナルカ故ニ其ノ權利ノ範圍モ亦此ノ點ニ存ス然ル
ニ請求人ノ使用スト稱スル甲第一號證ノ口金ハ火帽上部ニ突出スヘク心筒ヲ延長セルモノナルヲ以テ
實用新案第三五六號口金ト撞着スルモノニ非ス又被請求人ハ請求人主張ハ特許第六五八五號ト同一ノ
洋燈口金ヲ使用シツ、アルモノナルニ依リ消極的確認ヲ求ムト云フニアルモ特許第六五八五號ト本件
實用新案トハ相撞着セサルコトハ明瞭ニシテ本件審決ノ結果ハ請求人ニ何等ノ利害ヲ及ホスモノニ非
ス即チ請求人ハ利害關係人ニ非サルヲ以テ本件請求ハ違法ナリト云フモ請求人ノ申立ハ同人ノ使用シ
ツ、アル甲第一號證ノ洋燈口金ト實用新案第三五六號ノ洋燈口金ト撞着セストノ審決ヲ求ムルモノニ
シテ請求人ノ右洋燈口金ノ使用ニ對シ被請求人カ權利侵害ノ告訴ヲ爲シタルノ事實ニ付テハ被請求人
亦之ヲ爭ハサル所ナルヲ以テ請求人ハ本件審決ニ付キ利害關係ヲ有スルモノニシテ被請求人ノ主張ハ
不當ナリ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人ノ使用スル甲第一號證洋燈口金ト實用新案第三五六號洋燈口金トハ撞着セス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年九月二十九日於特許局

審判長 特許局事務官 宿利英治
特許局技師 一 川 一
特許局事務官 奥山萬次郎

第一千三百九十二號

廣島縣御調郡栗原村三十四番地
廣島縣御調郡栗原村二十一番地ノ一

請 求 人 村 上 宮 太 郎
被 請 求 人 石 田 角 次
右村上宮太郎ヨリ石田角次ニ對シ第八三七七號實用新案登錄無効ノ爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂
クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ登錄實用新案第八三七七號ハ實用新案法第十八條ニ違反セルモノナ
ルニ依リ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ登錄實用新案第八三七七號ノ小手返器ハ同第三三三五號ノ類
似品ニシテ單ニ其ノ一部ノ形狀ヲ變更シタルニ止マリ實用上新規ノ考案ヲナシタルモノニ非ス即チ登錄
第八三七七號ノ彈金ハ同第三三三五號ノ羽子ト同一ニシテ唯其ノ取付方並ニ屈曲ノ狀ヲ變セルニ止マリ
登錄第八三七七號ノ山形透孔ハ同第三三三五號ノ三角穴ヲ徒ラニ山形トセルノミニシテ蜻蛉ニ附植セル
栓ノ昇降ハ常ニ穴ノ外縁ニ密接シテ運動シ決シテ其ノ軌道ヲ誤ルコトナキカ故ニ透孔ナルト溝ナルトニ
ヨリ差異アルコトナシ又登錄第八三七七號ハ同第三三三五號ノ蜻蛉上部ノ三角穴ヲ固定セル平板ニ移設
シタルニ止マリ運轉上ニ差異アルモノニ非ラス要スルニ請求人ハ被請求人ニ對シ自分所有ノ實用新案第
三三三五號登錄ニ係ル部分ノ材料並ニ標記ヲ交付シ縫織機ノ製造販賣ヲ許諾シ客年中前後三回ニ標記ヲ

交付シタルコトアレハ被請求人ハ之カ構造ヲ模シ一部分ヲ變形シ全ク類似品ニ付登録ヲ出願シタルモノナラント云フニ在リ

被請求人答辯ノ要旨ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ登録實用新案第八三七七號ハ決シテ同第三三二五號ノ類似品ニ非スシテ新規ノ考案ニ基クモノナレハ毫モ實用新案法第十八條ニ違反セス即チ登録實用新案第八三七七號ニ於ケル彈金、山形透孔及突杆ハ同第三三二五號ノ羽子、三角穴及蜻蛉ト形狀構成ヲ異ニスルハ一目瞭然ニシテ且ツ後者ノ羽子ハ蜻蛉ノ衝突ニ堪エス延ヒ弱ル傾アレトモ前者ノ彈金ハ屈曲シテ彈力ニ餘地ヲ與ヘタレハ此ノ憂ナク後者ノ栓ハ三角穴ノタメ軌道ヲ謬ル傾アレトモ前者ハ山形透孔ナレハ此ノ事ナシ又後者ノ蜻蛉ノ如ク頭部ニ溝アルハ運轉圓滑ナラスト雖モ前者ハ固定平板ニ溝ヲ設ケタレハ運轉完全ナリト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

登録實用新案第八三七七號筵織機ニ於ケル小手返器ノ構造ハ請求人主張ノ如ク登録實用新案第三三二五號筵織機ニ於ケル小手返器ノ構造ト相類似シ其ノ多少相異ナレリト見ルヘキ變形部分ハ特ニ實用アル新規ノ考案ヲ加ヘタルモノト認ムルヲ得ス何トナレハ(一)登録實用新案第八三七七號ニ於ケル彈金ト同第三三二五號ノ羽子トハ單ニ取付方ト全曲ヲ變更セルノミニシテ被請求人主張ノ如ク狂ヒヲ來サ、ル防備タル理由ナク(二)前者ノ山形透孔ハ後者ノ三角形穴ヲ徒ラニ變形シタルニ過キス突杆又ハ蜻蛉ノ上昇スルニ當リテハ栓ハ常ニ山形透孔又ハ三角形穴ノ外周ニ沿フテ運動シ下降スルニ當リテハ之ヲ自由ニ放任シテ可ナリ特ニ山形透孔ノ如キニヨリ之ヲ導ク必要ナク從テ之カ爲ニ軌道ヲ謬ラシメサル效力アルヘカラス(三)前者ノ山形透孔ヲ固定平板ニ設ケタルト後者ノ之ヲ蜻蛉上部ニ設ケタルト如キハ機構上相對的ニ轉換シ得ル所ニ係リ本機ノ場合ニ於テ被請求人主張ノ如キ一方ハ運轉圓滑ナ

ラス一方ハ運轉圓滑ナルノ相違アルヲ認メ難シ而シテ以上三點ノ構造中假リニ登録實用新案第八三七七號ノ或部分ハ同第三三二五號ノ或部分ニ比シ更ニ實用アル新規ノ考案ヲ加ヘタルモノアリトスルモ之レ前者ハ後者ノ實用新案ノ改良ト見ルヘキモノニシテ之カ實施ニ當リテハ後者ヲ使用スルヲ要スルコト當然ナリ然リト雖モ登録實用新案第八三七七號ハ請求人ト被請求人ニ於テ論争シツ、アル構造以外ニ刺竹口金ヲモ備ヘタル筵織機ニ付登録ヲ受ケタルモノナルカ故ニ請求人カ主張セル理由即チ小手返器ノ構造ノミノ如何ニ依リ直ニ之ヲ實用新案法第十八條ニ該當スルモノト云フコトヲ得ス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年十一月四日於特許局

審判長 特許局技師 湯淺藤市郎
特許局事務官 宿利英治
特許局事務官 奥山萬次郎

第一千二百六十四號

東京市日本橋區新材木町十番地
東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許代理業者

請求人 辻村末次郎
右代理人 稻木繁太郎

右當事者間ノ實用新案登録第一二三五號權利確認ノ爲審判請求ヲ爲シタルニ依リ審理ヲ遂クル處
 請求人申立ノ要領ハ請求人ノ登録ヲ受ケタル第一二三五號實用新案登録權利ハ被請求人ノ受ケタル第六
 一七九號實用新案登録ニ及フヘキモノナリ且審判請求費用ハ被請求人ノ負擔スヘキモノト御審決相成度
 其ノ理由ハ請求人ハ明治三十九年二月十二日付第一二三五號ヲ以テ實用新案ノ登録ヲ受ケタルモノニシ
 テ其ノ構成ハ(イ)ナル反物置部ニ(エ)テ(ウ)ノ柔軟料ヲ(ロ)ニ(ハ)ニ連着セシメ更ニ(ニ)ノ端ニ孔(ス)ヲ貫穿
 シタルモノナリ然ルニ被請求人カ明治四十一年七月二十四日付第六一七九號ヲ以テ實用新案登録ヲ受ケ
 タルモノハ其ノ構成前記登録實用新案ト全然同一ニシテ只第一二三五號登録實用新案ニ於ケル糸ヲ紐ニ
 改造シタル一事ニ過キサレモノナルヲ以テ第六一七九號實用新案登録ハ第一二三五號實用新案登録ノ權
 利内ニ入ルヘキモノトス被請求人ハ或ハ謂ハン第六一七九號登録ハ第一二三五號登録ノ糸ヲ紐ニ改良シ
 タルカ故ニ登録ヲ受クヘキ價值アリト然レトモ被請求人ノ受ケタル第六一七九號登録ニハ請求人ノ第一
 二三五號登録全部ヲ包含シ居ルヲ以テ例令請求人ノ登録ニ改良ヲ施設シタリト雖モ實用新案法第十四條
 ニ依リ請求人ノ許諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ登録ヲ實施スルコトヲ得サルモノニシテ其ノ登録ハ請求人ノ
 受ケタル第一二三五號實用新案登録權利ニ撞着ス被請求人ハ請求人ノ提出セル權利確認審判ノ請求ニ對
 シ答辯書ヲ以テ第一二三五號實用新案登録ノ無効ヲ請求スルモ答辯書ニ依リテ本件第一二三五號ノ登録
 ヲ無効トナスヘキモノニ非ス又被請求人ノ提出セル證據ハ總テ證據力ナキモノニシテ而モ本件ニ關係ナ
 キ無用ノ證據方法ナリト云フニアリテ其ノ主張ヲ確ムル爲ニ甲第一號證ヲ提出セリ
 被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ登録ヲ受ケタル第一二三五號實用新案ノ登録權利ハ其ノ全部已ニ明治三
 十六年四月以來公知公用ノモノニ付其ノ登録ヲ取消シ審判費用ハ請求人ノ負擔スヘキモノナリトノ御審

決相成度其ノ理由ハ請求人ノ受ケタル登録實用新案ノ(イ)(ロ)(ハ)ノ部分ハ文庫其ノ物在來ノ常體ニシテ
 (ホ)(ニ)(ス)(テ)ノ箇所ハ明治三十六年四月頃勢能勢吉ヨリ特許ヲ出願シ出願中弘ク製造販賣ノ事實アリテ
 請求人ノ登録ヲ受ケタル構成(ホ)(ニ)ノ上下袖中(ス)(テ)ノ邊ニ只金屬ノ環穴ヲ穿タスシテ横ニ絲或ハ紐ヲ緊張
 シテ反物ヲ押し止シ裝飾ニ兼用セシメタルモノハ袖付文庫ト稱シ明治三十六年以來足利地方ニ於テ「セル」
 織物ニ專ラ用ヒタルカ爲ニ遂ニ「セル」文庫ト俗稱セラレ帝國内ニ公ニ用キラレタルモノニ對シテ請求人
 ハ此ノ在來ノ絲紐ヲ留ムル箇所ニ環穴ヲ穿チ絲紐ヲ縱ニ直シタルニ過キス其ノ登録前ヨリ公知公用ニ係
 カル物品ノ類似物ヲ以テ登録ヲ受ケタルモノナリ而シテ請求人ノ利益トスル絲紐ハ袖ヲ引釣り底部ニ密
 着シ反物ノ耳ヲ亂シ其ノ他ノ不便アリテ實用ニ適セス登録ノ價值ナキノミナラス實用新案法第一條第一
 項ニ該當シ登録ヲ受クヘカラサルモノナリ請求人ハ第六一七九號實用新案登録權利ノ發生以來其ノ全部
 ヲ侵害シツ、アル事實ハ被請求人ヨリ請求人ニ對シテ提起シタル權利侵害ノ告訴狀添附ノ證據品ニ依リ
 テ明ナリ又請求人ノ登録請求範圍トシテ明確ニ認ムヘキモノナシト雖モ若シ強テ該登録ノ要部ヲ認メシ
 ムレバ金屬ノ環穴ヲ附シタル事ト絲紐ヲ×形ニ通シタルニアレトモ絲紐ヲ貫通スルニ環穴ヲ穿ツハ普通
 ニ行ナハル、所ニシテ實用新案ヲ以テ目スヘキモノニ非サルヲ以テ×形紐ヲ通シタルヲ以テ新案登録ノ
 範圍トスルカ如キモ此ノ通方ハ被請求人ノ受ケタル新案登録タル總下附絲紐鉤掛ノ構造トハ全然別構造
 ニ屬シ請求人ノ登録請求範圍ト被請求人ノ登録請求範圍トハ二者別異ノモノニシテ權利確認ノ請求ヲ
 提出シタルハ失當不法ノ請求ナリト云フニアリテ其ノ主張ヲ確ムル爲ニ乙第一號證乃至第三號證ヲ提出
 セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 本件ハ第一二三五號登録新案ノ權利確認ヲ請求セルモノナルカ故ニ被請求人カ之ニ對シ其ノ答辯書ニ

於該登錄新案ノ取消ヲ請求スルハ不當ナリ而シテ本件第一二三五號登錄實用新案權ノ範圍ハ反物置部、折返部、柔軟部、貫通孔ヨリ成ル文庫ノ構造ニ存スルコトハ實用新案公報第三十六號第二十一頁記載ノ事項ニ依リ明ナリ又第六一七九號登錄實用新案ノ權利範圍ハ反物置部、折返部、貫通孔ヨリ成ル部分即チ被請求人ノ云フ文庫紙ナルモノト紐ト總下トヨリ成ル構造ニ存スルハ又同公報第十五號第六十八頁ノ記事ニテ明ニシテ該文庫紙ト第一二三五號登錄實用新案ノ文庫トハ其ノ構造相同シキヲ以テ其ノ權利モ亦此ノ點ニ於テ互ニ撞着スルモノト云ハサルヲ得ス其ノ他双方ノ主張アルモ本審決ニ必要ナキヲ以テ之ニ説明ヲ加ヘス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
第六一七九號登錄實用新案文庫紙ハ第一二三五號登錄實用新案ノ權利範圍ニ屬ス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年十一月十一日於特許局

審判長 特許局長 中松 盛雄
特許局事務官 宿利 英治
特許局技師 一川 一

第千三百八十六號

大阪市東區空町九十番屋敷 請求人 勝田 永太郎
東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許代理業者 右代理人 稻木 繁太郎

静岡縣濱名郡濱松町傳馬三百六十二番地

被請求人 帝國製帽株式會社

東京市日本橋區濱町二丁目十一番地特許代理業者

右代表者 氣賀 賀子治

東京市京橋區山崎町十四番地特許代理業者

右代理人 岩岡 伊代治

右勝田永太郎ヨリ帝國製帽株式會社ニ對シ第九五四號實用新案登錄無效審判請求ヲ爲シタルニ依リ審理ヲ遂クル處ニ

請求人申立ノ要領ハ被請求人カ登録ヲ受ケタル第九四五號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トシ且ツ審判費用ハ被請求人ノ負擔タルヘシトノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人ハ明治三十八年九月二十五日付出願同年十月十二日付第九四五號ヲ以テ帽子ノ實用新案登錄ヲ受ケタルモノニシテ其ノ全體ノ構造ハ(一)ハ羅紗類ヲ以テ作レル帽子(二)ハ繼合セ目ナク帽子(三)ヨリ突出セシメタル庇(四)ハ杜金具(五)ハ杜金具ニ嵌合シテ帽子ノ前部ノ庇トヲ合セ留ムヘキ杜金具トアリ而シテ其ノ登録請求範圍ニハ(一)圖面ニ示ス如キ形狀ニシテ繼目ナキモノ(二)特記セリ依之觀是第九四五號實用新案登錄ノ要素ハ羅紗類ヲ以テ(三)繼目ナク鳥打帽子形ニ製作シタルノ一點ニ局限スルモノニシテ例令圖面及其ノ說明書中ニ記シアルモノ(四)ノ如キハ毫末モ本件登錄ノ主眼ニアラサルコトハ明白ナリトス然ルニ前記被請求人ノ第九四五號實用新案登錄ト同様ノ帽子ハ右登錄出願前ヨリ公知公用セラレタルモノニシテ現ニ被請求人カ明治三十八年八月二十二日付第二三〇號ヲ以テ實用新案登錄ヲ受ケタル甲第一號證ノ帽子モ其ノ登録ニ於ケル新規トスル要素ハ(一)至(五)ノ二點ニアリト雖モ一枚ノ羅紗類ヲ以テ鳥打帽子ヲ構成スルコトハ右登錄ニ依テ見ルモ公知公用ニ屬スルノミナラス元來毳毛類ヲ以テ構成シタル帽子ハ全部ヲ一枚ヲ以テ構成スルヲ普通ノ原則トス吾人

カ日常冠用セル處ノ山高帽子或ハ其ノ他種々ノ形狀ナル氈毛帽子ハ總テ一枚ヲ以テ全體ヲ構成シアルモノニシテ之等ハ極メテ普通ノ事ナレハ之ヲ以テ被請求人カ實用新案ノ要素トシテ登錄ヲ受ケタルコトハ甚タ不當ナリ又請求人ハ曾テ繼目ナキ一枚ノ氈毛ヲ以テ金具ヲ要セスシテ頂上前端ト庇トヲ接着スヘク構造シタル帽子ニツキ實用新案登錄ヲ出願シタルモ審査ノ結果ハ甲第二號證ノ如ク拒絕査定ヲ受ケタリ該査定書ノ文意ニ依ルモ一枚ノ氈毛類ヲ以テ鳥打形帽子ヲ構成スルコトハ普通一般ニ公用セラレタルコトハ明ナリ而シテ被請求人カ第四九五號實用新案ノ登錄ヲ受ケタル後ニ於テ被請求人以外ノ者ニ對シ第一三二六號第三八八二號第五八二八號第二四七六號第二〇四八號第二三二七號第一九一五號第二〇一三號第七〇三號第三四六七號第八二六四號第八二六五號第八四一一號等ノ實用新案カ單獨ナル新規ノ考案トシテ登錄セラレタリ是等ノモノハ各就レモ繼目ナキ一枚ノ氈毛ヲ以テ鳥打帽子ヲ構成シアリ而シテ前記各登錄及甲第二號證トモ何レモ同一審査官ニ依テ審査決定セラレタルモノナレハ繼目ナキ一枚ノ氈毛ヲ以テ鳥打帽子ヲ作ルコトハ普通一般ニ公用セラレ何人ノ獨占權ニモ屬セサルコトヲ明證シ得ヘシ要スルニ審査官カ本件第四九五號實用新案登錄ニ對シ登錄査定ヲ爲シタルハ當時實用新案施行後日尙ホ淺ク加フルニ一時ニ多數ノ出願者アリタル爲其ノ請求範圍ノ如キ仔細ニ調査セス單ニ圖面及說明書記載ノ全體ノ構造ニ於テ新規ノ點アルモノハ迅速ニ許可セラレシニ基クモ結局審査官カ右第四九五號ノ登錄ヲ許可シタル所以ハ繼目ナキ(イ)ロノ關係ハ普通ナルモ(ニ)ナル止金具ノ關係カ新規ナルヘシトノ理由ナルコトヲ推知シ得ヘシ然レトモ例令(三)ハ新規ナリトスルモ登錄請求ノ範圍ニアラスシテ其ノ請求範圍ハ羅紗類ヲ以テ作レル繼目ナキ點ニ存在シ而シテ右ノ點ハ前陳ノ如ク公知公用ニ屬スルコト明ナリ尙ホ大阪市北區中ノ島二丁目輸入商廣海商會カ外國ヨリ輸入セル甲第三號第四號證圖面ニ依ルモ本件第四九五號實用新案權ト同様ナル繼目ナキ一枚ノ資料ヲ以テ鳥打形帽子ヲ構成シタルモノアリテ其ノ方法カ一

般ニ公知公用ナルコト明ナレハ本件實用新案ハ無効ナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至第四號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス且審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人カ帽子ノ考案ニ對シ明治三十八年十月十二日付第四九五號ヲ以テ實用新案登錄ヲ受ケタルコトハ事實ナリ而シテ其ノ登錄請求範圍ニハ『圖面ニ示ス如キ形狀ニシテ繼目ナキモノ』ト記載シ圖面ノ說明ニハ『(イ)ハ羅紗類ヲ以テ作レル帽子、(ロ)ハ繼合せ目ナク帽子(イ)ヨリ突出セシメタル庇、(ハ)ハ此金具、(ニ)ハ被請求人カ法律ノ保護ヲ要求シタル點ハ『圖面ニ示スカ如キ形狀ニシテ繼目ナキモノ』是ナリ以上登錄ノ事項ヲ見レハ圖面ニ示ス所ノ全部ノ形狀ト其ノ繼目ナキ點トヲ以テ保護ノ區域ト爲シアルコト疑ヲ容ル、ノ餘地ナシ若シ帽子ノ構造中繼目ナキ點ノミヲ保護スルノ趣意ナリトスレハ殊更ニ圖面ノ說明ヲ爲シ其ノ圖面ヲ引用シテ『圖面ニ示ス如キ形狀ニシテ』ノ數語ヲ記載スルノ必要ナク又單ニ圖面ニ示ス如キ形狀ノ帽子ニ對シテノミ保護ヲ與フル意義ナリトスレハ其後段ニ於テ特ニ『繼目ナキモノ』トアル構造ノ記載ヲ用フルコトヲ爲サ、ルナリ然ルニ請求人ハ漫然第四九五號實用新案權登錄ノ要素ハ羅紗類ヲ以テ(イ)ヲ繼目ナク鳥打帽子形ニ製作シタルノ一點ニ局限スルモノニシテ其ノ不當ナルヲ論ハ俟タス請求人ハ又第二三〇號登錄實用新案帽子ヲ引用シ第四九五號實用新案ハ公知公用ナルカ如ク主張スルモ右第二三〇號實用新案ノ登錄請求範圍ニハ圖面ニ示セル帽子ノ形狀トアリ而シテ其ノ圖面ノ說明トシテ第一圖ハ線ヲ折リ重ネタル場合ノ形ヲ示セル全體ノ側面圖第二圖ハ防寒用ノ帽子トシテ着用シタル有様ヲ示セル全體ノ側面圖、(イ)ハ折線、(ロ)ハ日庇、(ハ)ハ懸掛トアリテ之ヲ本件第四九五號實用新案ト對照スルニ第二三〇號實用新案ニハ本件第四九五號實用新案ニ於ケル一枚ノ羅紗類ヲ以テ鳥打形ノ帽子ヲ作製スル點

ニ於テ何等ノ記載ナク要スルニ二者全ク其ノ考案ヲ異ニスルヲ以テ本件實用新案ヲ公知公用ナリト云フヲ得ス殊ニ一枚ノ羅紗類ヲ製作スル帽子ノ構造カ被請求人ノ第四九五號新案權ニ屬スルコトハ第一二六六號審決書〔乙第二號證〕ニ「繼合日ナキ帽子ノ構造ハ被請求人ノ第四九五號實用新案ノ權利ニ屬ス云々」トアルニ徴シ爭フヘカラサル確定ノ事實ナリ又請求人ハ甲第二號證拒絕査定書ヲ以テ其ノ公知公用ナルコトヲ主張スルモ甲第二號證ノ査定書ハ明治三十九年十一月十九日付ニシテ本件第四九五號實用新案權ノ登錄ハ明治三十八年十月十二日ナレハ既往ニ逆ツテ公用ノ事實ヲ證スルニ足ラサルノミナラス右査定書ハ初査定ナレバ之ヲ以テ上級審ノ審判ヲ羈束スルコトヲ許サズ又請求人カ本件第四九五號新案登錄後登錄ニ係ル第一三二六號外十二件ノ實用新案ハ何レモ繼目ナキ一枚ノ氈毛ヲ以テ構成スル鳥打帽子ニ對シ登錄セラレアルヲ以テ繼目ナキ一枚ノ氈毛ヲ以テ鳥打帽子ヲ作ルコトハ公知公用セラル、コトヲ證スルニ足ルト主張スルモ本件第四九五號新案帽子ハ單ニ一枚ノ氈毛ヲ以テ作製スル帽子ノ構造ノミニ正マラス此ノ繼目ナキ構造ノ外尙ホ形狀構造ニ對シ登錄ヲ受ケ居ルモノナレハ假リニ請求人ノ主張スル單一ナル構造カ公知公用セラル、トスルモ本件登錄カ無効トナルヘキ理由ナク請求人ト援用セル右等各新案登錄ハ乙第三號證乃至第十五號證ノ說明ト圖面トヲ一見スレハ其ノ別異ナル形狀構造ニ屬スルコトヲ容易ニ判知シ得ヘシ其ノ他請求人ハ山高帽子、中折帽子ヲ援引シ第四九五號新案帽子ノ請求範圍カ繼目ナキ一枚ノ羅紗類ヲ以テ(ロ)製作シタル點ニアルヲ以テ形狀ノ點ニ於テコソ多少ノ差異ナキニアラスト雖モ繼目ナキ一枚ノ羅紗類ヲ以テ帽子ヲ構造シタルノ點ニ於テハ彼是類似スルモノト主張スルモ是レ全ク請求人カ第四九五號新案帽子ノ請求範圍ヲ強テ曲解シタルモノニシテ其ノ形狀構造ニ於テ同一ニ論スルコトヲ得サルヤ炳然タリ又請求人ハ甲第三號證及甲第四號證ニ記載ノ四箇ノ帽子ハ孰レモ繼目ナキ一枚ノ資料ヲ以テ鳥打帽子ヲ構成スルモノナリトシ本件實用新案帽子カ公知公用ナリト主張スルモノ

甲第三號證ニ記載スル帽子ハ一枚ノ資料ヲ以テ作リタルモノニアラスシテ數片ノ資料ヲ接合縫着シテ製作シタルコトハ該證原圖形ノ鮮明ニ表示スル所ナリ又甲第四號證ニ記載スル帽子ノ圖形ハ該證第十頁ニ依リ見ルニ「ユース、トウキード」ト記載アリテ織物製縫帽子ナルコトヲ認ムルニ充分ナルノミナラス同證第十一頁ニ「ハロシヤ、カンバス」トアリテ是レ亦織物製縫帽子タルコトヲ認ムルニ難カラス然ルニ之ヲ願ミス一枚ノ羅紗類ノ帽子ナリト云フハ不當ナリ要スルニ請求人ノ主張ハ不當ニシテ本件登錄實用新案ヲ無効トスヘキ理由ナシト云フニ在リテ乙第一號乃至第十六號證ヲ提出セリ
仍テ口頭審判ヲ公開シ當事者ノ陳述ヲ聽キ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件第四九五號登錄實用新案帽子ハ明治三十八年九月二十五日登錄ヲ出願シ同年十月十二日登錄セラレタルモノニシテ其ノ實用新案ノ登錄ヲ請求シタル點ハ其ノ願書附屬圖面ニ示セル形狀ノ帽子ヲ繼目ナキ羅紗類ヲ以テ作リタルノ點ニアルコトハ右實用新案登錄願書及其ノ附屬圖面ニ依リ明ナリ而シテ請求人ハ右ト同様ノ帽子ハ其ノ登錄出願前ヨリ普ク公知公用ノモノニシテ現ニ被請求人ノ第二三〇號登錄實用新案ノ如キ是ナリト云フト雖モ第二三〇號登錄實用新案ハ其ノ形狀ニ於テ本件登錄實用新案ト異ナルノミナラス繼目ナキ羅紗類ヲ以テ之ヲ作ルコトヲ其ノ要素トセサルカ故ニ本件登錄實用新案ト同一若クハ類似ナリト云フコトヲ得ス請求人ハ又甲第二號證ニ依リテ繼目ナキ一枚ノ氈毛ニテ打氈セル帽子カ普通ニ公用セラレタルコトヲ主張スト雖モ甲第二號證ハ明治三十九年十一月十六日付ノ拒絕査定書ニシテ之ニ依リ果シテ本件登錄實用新案ト同一若クハ類似ナルモノカ其ノ登錄出願前即チ明治三十八年九月二十五日以前ニ於テ公知公用ニ屬シタルコトヲ認ムルヲ得ス請求人ハ又本件實用新案ノ登錄第一三二六號外十二箇ノ實用新案カ單獨ナル新規ノ考案トシテ登錄セラレ而シテ是等ノモノハ

孰レモ繼目ナキ一枚ノ毘毛ヲ以テ作レル鳥打形帽子ニシテ且同一審査官ニヨリ審査セラレタルヨリ見レハ繼目ナキ一枚ノ毘毛ヲ以テ鳥打帽子ヲ作ルコトハ公知公用ナルコトヲ明確ニ立證シ得ヘシト云フト雖モ本件實用新案ノ登録出願後ニ於ケル右等ノ事實ハ以テ其ノ登録出願前ニ於ケル公知公用ヲ立證スルニ足ラス請求人ハ又甲第三號證及甲第四號證ヲ提出シテ本件登録實用新案ト全然同一ナルモノカ其ノ登録出願前公知公用セラレタルコトヲ主張スト雖モ亦以テ本件登録實用新案ト同一又ハ類似ノモノカ其ノ登録出願以前公知公用ニ屬シタリト認ムルニ足ラス之ヲ要スルニ本件登録實用新案ノ帽子ト同一又ハ類似ノモノカ其ノ登録出願以前ニ於テ公知公用ニ屬シタリト認ムヘキ證據充分ナラサルモトス其ノ他當事者間ニ於テ論争スル所アルモ審決ニ必要ナラサルカ故ニ説明セズ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人申立相立タス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年十一月十七日於特許局

審判長 特許局技師 湯淺藤市郎
特許局事務官 宿利英治
特許局事務官 奥山萬次郎

第千三百四十七號

岡山縣都窪郡茶屋町大字帯江新田百四十四番地

請求人 姫井幸八

岡山縣都窪郡茶屋町大字妹尾六百二十五番地 被請求人 佐藤栗松
右姫井幸八ヨリ佐藤栗松ニ對シ實用新案第五六三七號登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニヨリ審判ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ實用新案第五六三七號登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ右實用新案ハ被請求人カ明治四十年二月四日付ヲ以テ出願シ同六月五日其ノ登録ヲ受ケタルモノナリ然ルニ右同様ナル花筵耳組機ハ請求人カ明治四十年一月十二日付ヲ以テ名稱ヲ運糸器ト稱シ其ノ登録ヲ出願シタルニ右ハ請求人カ之ヨリ先キ權利ノ一部讓渡ヲ受ケタル特許第一一〇八號ト抵觸ストノ理由ニ依リ拒絕査定ヲ受ケタルモノニシテ本件實用新案モ亦前記第一一〇八號特許ト抵觸シ其ノ登録ヲ受クヘカラサルモノナリト云フニ在リ而シテ其ノ申立ニ付甲第一號證乃至第四號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ本件請求ハ之ヲ却下ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ本件實用新案第五六三七號ト特許第一一〇八號トハ同一ナルモノナリト云フト雖モ兩者各其ノ構造及作用ヲ異ニシ同一ナルモノニ非ラスト云フニ在リ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人カ本件實用新案ト特許第一一〇八號發明トカ爲ニ同一ナリト主張スルコト字形即チ屈曲杆ヲ機能中ニ有スルノ點ハ兩者其ノ規ヲ一ニスルモ元來此ノ種ノ屈曲杆ヲ以テ一ノ運動ヲ他ノ方向ニ變換スルハ普通ノ事ニ屬シ其ノ例ニ乏シカラス故ニ單ニ此ノ點ニ基テ兩者カ同一ナリトナスヲ得ス而シテ請求人ノ特許器械ハ平機ニシテ屈曲杆カ箴棒(ニ)ト横杆(五)トヲ連接セル搖杆(下)ニ設ケアル稍長方形ノ組釣(全)内誘導面ヲ滑動シ其ノ上進下進ノ行程ニ於テ杆孔ヲ通シタル運轉絲ヲ左右ニ移動セシメテ直チニ綴ヲナシ耳ヲ整ヘルモノナリ然ルニ被請求人ノ機械ハ豎機ニシテ此ノ機械ニ於テハ屈曲杆ハ箴的

金物ノ内誘導面ヲ通シテ先ツ兩端曲リ横杆(一)ヲ左右水平ニ運動セシメ而シテ其ノ一端ニ貫ケル綾取棒(二)ハ從テ同種ノ運動ヲ爲スト同時ニ其ノ前後ノ運動ニヨリ開口シテ縦ヲナシ耳ヲ整ヘル装置ナレハ兩者ノ差異ハ特許ノ機械ニ在テハ運動竿(屈曲杆)(三)ニ上下ノ運動ヲ與フレハ箴棒ヨリ鐵條(四)ヲ經テ搖杆(五)ニ通シ從テ此ノ一端ニ附着スル運轉杆ハ上下ノ運動ヲナシ以テ耳ヲ整ヘルニ在リテ被請求人ノ機械ニ在テハ屈曲杆(六)ニ左右ノ運動ヲ與フルハ横木前後ノ運動ヲナシ之ニ固着セル屈曲杆ハ錠的金物ノ内誘導面ヲ滑動シ兩端曲リ横杆ヲ左右シ其ノ一端ニ貫ケル綾取棒(七)ニ同様ノ運動ヲナサシメ且ツ箴棒ノ運動ニ依リ(八)ヲ回轉シ而シテ之ニ固着シ居ル杆(九)ノ一端ニ釘接セル綾取棒ニ前後ノ運動ヲ爲サシメ以テ耳ヲ整フルニ在リ之ヲ要スルニ特許第一一〇八號機械ト本件實用新案第五六三七號機械トハ其ノ裝置ニ於テ異ナルモノニシテ請求人ノ主張ハ其ノ理由ナキモノトス

請求人申立相立タス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年十一月二十五日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 阪田 貞一
特許局事務官 松田 啓太郎
特許局事務官 奥山 萬次郎

第一千三百四十四號

東京市淺草區山宿五十一番地

東京市京橋區采女町二十四番地特許代理業者

大阪府西區松島町一丁目百四十番屋敷

大阪府西區勝間村東濱田九百七十七番一特許代理業者

請求人 玉川 敬太郎
右代理人 松田 源治
被請求人 泉 常一郎
右代理人 丸山 庸二

理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ有スル實用新案登録第六七七三號「スプリング」式精米機ノ登録ハ無効トストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ前記精米機ハ明治四十年十月十日付ニテ登録ヲ受ケタルモノナリ然ルニ前記實用新案ノ螺條彈機(一)、杆頭(二)、第四螺條彈機(三)、臼(四)、導杆(五)、平頭螺釘(六)等ヲ具ヘタル「スプリング」式精米機ハ其ノ登録出願前ヨリ一般ニ使用セラレ居ルモノニシテ實用新案法第一條第一號ニ該當シ其ノ登録ハ無効タルヘキモノト云フニアリ

被請求人答辯ノ要旨ハ被請求人ノ有スル第六七七三號登録實用新案「スプリング」式精穀機ハ實用新案法第一條ニ適合セルモノニシテ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其理由ハ被請求人所有ノ第六七七三號登録實用新案ハ實用新案法第一條第一號ニ該當シ登録ハ無効ナリト云フモ何等ノ立證ヲナサス要スルニ本件實用新案ハ被請求人ノ考案ニ係リ登録出願前ニ於テ公用セラレタルモノニ非スト云フニアリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
請求人ハ第六七七三號登録實用新案ハ其ノ出願前公用ニ屬スルモノナルヲ以テ無効ナリト主張スルモ
請求人ハ右事實ニ關シ何等證明ノ方法ヲ採ラス從テ右事實ヲ認ムルニ由ナキモノトス

右ノ理由ニヨリ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年十二月二日於特許局

審判長

特許局事務官

松田啓太郎

特許局技師

一川萬次郎

特許局事務官

奧山萬次郎

第千四百十號

大阪市東區南本町四丁目百八十四番屋敷

請求人 中川伊作

大阪市東區安土町四丁目八十六番屋敷

請求人 瀧本勇治郎

大阪市東區瓦町四丁目七十四番邸

請求人 森榮次郎

大阪市東區北久太郎町四丁目十五番地

請求人 山中政吉

大阪市東區南本町三丁目四十二番地

請求人 飯田三五郎

大阪市東區釣鐘町二丁目四十七番地特許代理業者

右代理人 戶田松次郎

高松市大字四番丁六十八番戸

被請求人 諏訪直記

右中川伊作外四名ヨリ諏訪直記ニ對シ實用新案第九五三號登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ
審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第九五三號登録實用新案便利靴下足袋ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト
審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ明治三十八年十二月六日ヲ以テ便利靴下足袋ナル名稱ノ實用新案登録
ヲ出願シ同年十二月二十五日之カ登録ヲ受ケタリ然ルニ右ノ如キ物品ハ其ノ登録出願前公ニ用セラレタ
ルモノニシテ新規ナル考案タルヘキモノニアラスト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第十五號證ヲ提出
セリ

被請求人ハ本件審判請求書複本ノ送付ヲ受ケ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セシ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件繫屬中明治四十一年七月五日被請求人ハ第九五三號登録實用新案權拋棄ノ旨特許局ニ對シ届出同
年七月十六日其ノ旨特許局ノ原簿ニ登録シタルヲ以テ本件請求ノ目的物ハ既ニ消滅シタルモノトス
右ノ理由ニヨリ審決スルコト左ノ如シ

本件請求ハ之ヲ却下ス

明治四十一年十二月二日於特許局

審判長

特許局技師

湯淺藤市郎

特許局事務官

松田啓太郎

特許局事務官

奧山萬次郎

第千三百八號

大阪市南區瓦屋町四番町五番地

請求人

西本安太郎

大阪市東區北久寶寺町一丁目八十番屋敷特許代理業者 右代理人 廣井 代藏
大阪市東區東平野町四丁目百二十番地 被請求人 垂水 榮藏

右西本安太郎ヨリ垂水榮藏ニ對シ實用新案第七一一二號登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第七一一二號登錄實用新案ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ右實用新案ハ明治四十年九月二十一日出願シ同年十月三十日登錄ヲ受ケタルモノナリ然ルニ右實用新案ノ如キ型ハ從來一般ニ公用セラル、處ニシテ本件實用新案ハ之ヨリ容易ニ推考シ得ヘキモノナルノミナラス本件實用新案ト全然同一ナルモノハ請求人カ明治四十年四月、五月ノ頃請求人ノ宅ニ通勤セシ永井松次郎ノ考案ヲ採用シテ同人ニ製作セシメ爾來數十箇ヲ作り自ラ之ヲ使用シテ石入「ピン」ヲ製造シ同年五月、六月以降多數ノ人ニ賣却セリ故ニ本件實用新案ハ實用新案法第一條第一項ニ違ヒ同條第二項第一號ニ該當シ無効タルヘキモノナリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出シ且證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

被請求人申立ノ要領ハ本件請求ハ之ヲ棄却ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人カ登錄ヲ受ケタル石入鑄造用石型ハ明治三十九年中被請求人カ始メテ發明セシモノニシテ他ニ之ヲ作り又ハ使用スル者ナカリキ又請求人カ本件登錄前ニ作りタル石型ハ本件登錄實用新案ト異ナルノミナラス公ニ用キラレタルコトナシ又請求人カ本件實用新案ノ物品ハ右普通鑄造用ノ型ヨリ容易ニ推考シ得ルノミナラス該實用新案ト全然同一ナル石入鑄造用石型ハ永井松次郎ノ考案ヲ採用セシト云フニヨリ見レハ請求人ノ公用セラレタリト稱スル石型ハ本件石型ト同一又ハ類似ノモノニ非ラサルコト明ナリ況ンヤ又其ノ公用ノ事實ナキニ於テヲ且請求人カ作製シ今使用スル本件ト同一石型ハ請求人カ永井松次郎

ノ考案ヲ採用セシモノナリト云フモ決シテ然ラス却テ永井松次郎又ハ其ノ他ノ者カ被請求人ノ考案ヲ探知シ請求人ニ移シタルモノナリト云フニアリテ其ノ主張ヲ確ムル爲證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ證人訊問ヲ爲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件第七一一二號登錄實用新案ハ明治四十年九月二十一日登錄ヲ出願シ同年十月三十日登錄セルモノナリ然ルニ其ノ登錄出願前ニ於テ之ト同様ナル物ノ公ニ用キラレタルコトハ證人井田仙太郎加地長次郎ノ證言ニ依リテ認ムルコトヲ得ルカ故ニ本件登錄實用新案ハ實用新案法第一條第一項第一號ニ該當シ其ノ登錄ハ無効ト爲スヘキモノナリ
右ノ理由ニヨリ審決スルコト左ノ如シ

第七一一二號登錄實用新案ノ登錄ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年十二月七日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 阪田 貞一
特許局事務官 宿利 英治
特許局事務官 奥山 萬次郎

第一千二百七十號

東京府南葛飾郡大島町百二十六番地

請求人 富士瓦斯紡績株式會社
右法定代理人 和田 豊治

東京市京橋區木挽町九丁目十八番地特許代理業者	右代理人	丸岡東治
東京市京橋區山城町十四番地特許代理業者	右代理人	太田資時
京都市上京區東竹屋町通川端東入東竹屋町一番地	被請求人	絹絲紡績株式會社
東京市京橋區采女町二十一番地特許代理業者	右法定代理人	竹内傳八郎
東京市京橋區宗十郎町一番地特許代理業者	右代理人	石原卯八
東京市京橋區采女町二十一番地特許代理業者	右代理人	岸清一
東京市京橋區采女町二十一番地特許代理業者	右代理人	飯田治彦

右富士瓦斯紡績株式會社ヨリ絹絲紡績株式會社ニ對シ第一二四一號登錄實用新案ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ實用新案登錄第一二四一號絹紡波絲ハ之ヲ無効トストノ審決相成度其ノ理由ハ右實用新案ハ被請求人カ明治三十八年十一月十三日登錄ヲ出願シ同三十九年二月十三日登錄ヲ受ケタルモノニシテ其ノ請求範圍トシテ『太キ絹紡波絲若クハ各種動物質纖維ト之ト反對ニ燃リヲ掛ケタル細キ各種動物質纖維若クハ絹紡波絲ト併合シテ太キ絹紡波絲ノ燃ト反對ニ燃合シテ成ル絹紡波絲ノ構造』ト記載シアリ然ルニ右請求範圍ニ定メタル燃絲ノ構造ハ既ニ明治ノ初年ヨリ壁絲ト稱シ一般織物業者カ『壁ちよろ』ト稱スル縮緬ヲ製造スルニ使用シタル燃絲ノ構造ト同一若クハ類似ノモノナルノミナラス群馬縣森村熊藏カ特許第九〇三號ヲ以テ明治二十三年七月四日其ノ登錄ヲ受ケタルモノハ其ノ請求區域ニ『左燃ノ絲及右燃ノ絲ヲ抱合シテ之ヲ右又ハ左燃トナシタル織物用ノ絲』トアリテ本件絹紡波絲ヲ右特許第九〇三號ノ燃絲ニ比較スルニ一ハ紡績絲ナルト他ハ然ラサルト又一ハ左燃ノ絲右燃ノ絲何レモ大小ヲ區別セザルト〔其ノ實ハ區別アリ〕他ハ之ヲ區別スルトニ於テ差異アルモ其ノ燃絲ノ構造ニ至テハ全然同一ナリ故

ニ此ノ特許カ世ニ公ニセラレ且其ノ燃絲カ織物ニ用キラレタル上ハ本件實用新案ハ其ノ出願以前公知公用ニ屬シタルモノト云フヘシ尙ホ本件實用新案ト同様ナル物品ヲ明治三十五、六年頃即チ本件登錄出願以前ニ既ニ請求人ニ於テ之ヲ製造シ世ニ販賣シタルコトハ證人竹内登一郎及森村熊藏ノ證言ニ依テ之ヲ知ルヘシ要スルニ本件登錄實用新案ハ其ノ出願以前既ニ公知公用ニ屬シ實用新案法第一條ノ規定ニ該當シ無効タルヘキモノナリト云フニ在リ而シテ其ノ申立ニ付甲第一號證乃至甲第五號證ヲ提出シ且證人ノ申立ヲ爲セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ申立ハ之ヲ棄却ストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ請求人ハ本件登錄實用新案ハ其ノ出願以前既ニ公知公用ニ屬シタルモノナリト云フト雖モ第一請求人ノ主張スル從來ノ壁絲ナルモノト本件ノ絹紡波絲トハ其ノ構造ニ於テ異ナリ第二請求人カ同一ナリト主張スル特許第九〇三號絲ト本件絹紡波絲トハ左ノ諸點ニ於テ相違アリ一、絹紡波絲ニ於テハ燃合ハサル、兩絲ノ毛羽ノ纏綿抱合ニ依ル兩絲ノ密着及該構造ヨリ生スル效果二、材料ノ相違三、左燃右燃兩絲ノ大小ノ比例ノ相違〔即チ第九〇三號特許ノ絲ノ太サノ割合ハ九ト一ナルニ本件ノ絹紡波絲ハ其ノ割合ヲ異ニスルコト明細書記載ノ如シ〕第三請求人カ本件絹紡波絲ト同様ナル構造ノ絲ヲ會テ明治三十五、六年中ニ製シタルコトアリト主張ハ張ハ請求人ノ申立タル證人兩名ノ供述ニ依リテハ之ヲ證明スルコトヲ得ス之ヲ要スルニ請求人ノ主張ハ其ノ理由ナキモノナリト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ口頭審理ヲ行ヒ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 本件第一二四一號登錄實用新案ハ其ノ登錄請求範圍ニ依レハ『太キ絹紡波絲若クハ各種動物質纖維ト之ト反對ノ燃リヲ掛ケタル細キ各種動物質纖維若クハ絹紡波絲ト併合シテ太キ絹紡波絲ノ燃ト反對ニ燃合シテ成ル絹紡波絲ノ構造』トアリ然ルニ特許第九〇三號〔明治二十三年七月四日〕ノ請求範圍ヲ閱スルニ

「一左燃ノ絲及右燃ノ絲ヲ抱合シテ之ヲ右又ハ左燃トナシタル織物用ノ絲」トアリテ前記實用新案ノ絲ノ構造ハ此ノ特許第九〇三號ノ絲ノ構造中ニ包含セラル、者ナリ蓋シ特許第九〇三號ノ請求範圍ニハ單絲ノ細太ニツキ述ヘサルカ故ニ單絲ノ一方ハ細クシテ他カ太キモ亦此ノ範圍内ニ在ル者ト見做スヲ得ヘシ況ンヤ明細書ニハ明ニ單絲ノ細太ヲ示シ之ヲ併合スルニ方リテモ太キ單絲ト反對ノ燃リヲ與フル者ナルコトヲ説キタルニ於テオヤ而シテ凡實用新案法ニ於テ保護スル處ノモノハ物品ノ形狀、構造又ハ組合ハセニ係ル實用ナル新規ノ考案ニ係ルカ故ニ前記本件實用新案カ其ノ登錄ヲ受ケタル構造ニ係ルモノニシテ既ニ其ノ登錄出願以前ニ於テ特許第九〇三號ノ絲ニ依リテ公ニ用キラレタリト認ムルヲ得ル上ハ本件實用新案ハ實用新案法第一條第二項第一號ノ規定ニ該當スルモノト云フヘシ被請求人ハ特許第九〇三號ノ絲ト本件絹紡波絲トハ其ノ材料ニ於テ異ニシテ又絹紡波絲ニ於ケル燃合ハサル、兩絲ノ毛羽ノ纏綿抱合ニ依ル兩絲ノ密着及該構造ヨリ生スル效果ニ於テ異ナリト云フト雖モ單ナル材料ノ變換ト之ニ伴フ結果トハ特種ノ實用新案タルヘキモノニアラス被請求人ハ又左燃右燃兩絲ノ大小ノ比例ニ於テ相違アリト云フト雖モ之亦其ノ比例ノ相違アルカ爲ニ其ノ構造ヲ異ニスルモノト認ムル能ハサルナリ其ノ他當事者双方ニ於テ申立ツル處アリト雖モ審決ニ必要ナキヲ以テ説明ヲ與ヘス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

第一二四一號登錄實用新案ハ之ヲ無効トス

明治四十一年十二月四日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 大 竹 多 氣
 特許局 事務官 松 田 啓 太 郎

特許局 事務官 奥 山 萬 次 郎

第千四百十八號

東京市淺草區老松町九番地

請 求 人 藤 村 清 太 郎

東京市京橋區木挽町四丁目九番地特許代理業者

右 代 理 人 細 川 陽 之 介

東京府西多摩郡古里村小丹波五十七番地

被 請 求 人 小 池 荒 吉

東京市京橋區木挽町十丁目八番地特許代理業者

右 代 理 人 乙 部 俊 次

右藤村清太郎ヨリ小池荒吉ニ對シ實用新案第二九二四號登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要旨ハ登錄實用新案第二九二四號履物ノ登錄ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人所有ノ登錄實用新案第二九二四號履物ハ明治三十九年六月十二日實用新案登錄ヲ出願シ同年八月十三日登錄セラレタルモノニシテ數箇ニ分離セル履物臺ヲ適宜ノ間ヲ隔テ、之ヲ竹若クハ籐ニテ連結シ屈伸ヲ自在ナラシムヘクシ各臺ノ間ニハ革條ヲ挾マシメタルモノナリ〔甲第二號證〕然ルニ數箇ノ齒ニ間隔ヲ保タシメテ之ヲ籐ニテ連結スルコトハ該實用新案登錄出願以前ヨリ公知公用ニ屬シ新規ニ非ス即チ請求人カ明治三十三年十二月五日特許ヲ出願シ翌三十四年五月七日特許ヲ與ヘラレ爾後引續キ製造販賣シ來レル特許第四六八五號履物臺ノ圖面並ニ明細書ニ記載セラル、所ナリ〔甲第一號證〕該登錄實用新案履物ハ各臺間隙ニ革ヲ挾マシメタル點ハ特許第四六八五號ニ見サル所ナレトモ斯カル些細ノ變更ハ實用新案登錄ヲ受ケ得ル價值アルモノニ非ス被請求人ハ斯ク革ヲ屈ケ込ミタル

ニヨリ屈伸ヲ自在ニシ且ツ歩行ノ際之ルコトナキ效アリト主張スレトモ實用新案公報ニ掲載サレタル圖面ノ如ク緊密ニ革ヲ齒ノ間隙ニ嵌入スルトキハ却テ屈伸ヲ自由ナラシムル缺點ヲ來スノミ被請求人カ實地製造販賣スル履物ハ薄キ革ヲ齒間ニ屈ケ込ミ以テ革ヲ屈込ムモ尙ホ各齒間ニ透隙ヲ生セシムルコト甲第三號證ニ示ス如クナルヲ見ルモ說明ト實地ト大ニ齟齬セサル可カラサル所以ヲ知ルヘシ又歩行ノ際之ルコトナカラシムト主張スルニ至テハ不當モ亦甚タシ齒ハ木材製ナレハ一兩日ノ使用ノ後ハ下面ニ細砂ヲ喰込ミ著シク摩擦ニ富メル面トナルヲ以テ其ノ必要ナシ即チ該登錄實用新案ハ其ノ登錄出願前同一物品ニ關シ帝國内ニ公用セラレタルモノニ類似シ及ヒ容易ニ應用シ得ヘキ程度ニ公刊物ニ記載セラレタルモノナレハ實用新案法第一條第二項ニ該當スルヤ論ヲ待タス又被請求人ハ豫テテ請求人トノ間ニ木材賣買ノ取引ヲナシタルヲ以テ被請求人ヨリ請求人ノ特許ヲ擴張センコトノ相談ヲ持掛ケラレタルコトアリ由是觀之該實用新案ハ被請求人ノ考案ニ非ス云々ト云フニ在リテ甲第一號乃至第三號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要旨ハ請求人申立相立タストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ本件登錄實用新案ハ其ノ圖面ニ示セル(ロ)相俟ツテ(イ)ノ屈伸ヲ自在ナラシムルト歩行ノ際之ルコトナカラシメタル新規ノ考案ニ登錄ヲ受ケタルモノニシテ各齒間ニ間隙ヲ有セシムル如キハ特許第四六八五號ノ特許出願前ヨリ既ニ公知ニ屬スルル一小局部ノ既ニ公知ニ屬スル構造ヲ使用シタルハトテ新規ノ構造ニシテ特殊ノ效果アル部分ヲモ併セテ廢棄セントスルハ誤レリ又被請求人ハ材木商ニシテ請求人ト取引シタルコトアリ云々ノ陳述ハ本件係争ニ何等ノ干係ナシ又被請求人ハ齒ハ木材製ナレハ一兩日使用ノ後ハ下面粗糙トナリ之ルコトナシト云フハ誤レリ普通板裏草履ノ横ニ之ルコトアルハ事實ナリ又被請求人ハ目下本業ニ餘暇ナク登錄實用新案ハ他人ニ實施セシメツ、アレハ考案者ノ意ヲ誤リ粗惡ノモノヲ製造シタルヤモ計ルヘカラスト雖モ之

カタメ實用新案權ヲ無視スヘキニ非ス即チ請求人ノ主張ハ理由ナキモノナリ云々ト云フニ在リ仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

登錄實用新案第二九二四號履物ハ其ノ請求範圍及ヒ圖面ニ明示セル如ク(イ)(ロ)ノ三部相俟ツテ成ル履物ノ構造ナルコトハ論ヲ待タス而シテ各齒間ニ適宜ノ間隔ヲ保タシメ且其ノ下部ニ露出シタル部分ニテ歩行ノ際之ルコトナカラシメ又屈伸ヲ自在ナラシムルタメ齒間ニ屈込ミタル連結用革ハ其ノ所期ノ特殊ノ效果ヲ達スルコト被請求人主張ノ如シ即チ請求人ノ主張スル如ク數箇ノ齒間ニ間隔ヲ保タシメ籐ニテ連結スルノミノ構成カ特許第四六八五號ニヨリ本件實用新案登錄出願前公用ニ屬シ又公刊物ニ記載セラレタリトナスモ以テ本件實用新案其ノ物亦然リトナスヲ得ヌ要之請求人カ本件實用新案ヲ以テ實用新案法第一條第一號及第二號ニ該當ストナス證據十分ナラス

右ノ理由ニヨリ審決スルコト左ノ如シ
請求人申立相立タス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年十二月七日於特許局

審判長 特許局技師 湯淺藤市郎
特許局事務官 宿利英治
特許局事務官 奥山萬次郎

第一千三百六十七號

静岡市追手町二百二十九番地ノ十一静岡縣茶業組合聯合會議所内
 静岡市紺屋町七十七番地ノ一特許代理業者
 東京市神田區寢神保町四番地特許代理業者
 静岡縣榛原郡相良町相良百五十二番地
 右杉本金作ヨリ竹内清助ニ對シ實用新案第七六二八號登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理
 ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第七六二八號登録實用新案ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ被請求人
 ハ茶蒸器ノ構造ニ付實用新案登録ヲ出願シタルハ明治四十年十月二十日ニシテ其ノ考案ノ要領ハ實用新
 案公報第百三十五號ニ掲載セラレタル如クニシテ明治三十七年五月十二日農商務省農務局發行ノ第八次
 製茶試験所報告ニ新式輕便竈並蒸シ裝置試験ト題シ掲ケタル茶葉蒸釜ノ考案ノ要領ト殆ント同一ニシテ
 既ニ被請求人モ改良製茶道具一式販賣廣告ト題スル印刷物ヲ普ク世上ニ頒布シ其ノ内ニ本器構造ノ大體
 ハ會テ農商務省農事試験所技師農學士大林雄也氏カ製茶試験所報告ニ掲ケタル鶴鴿釜ト命名シタルモノ
 ト大同小異ニシテ之ニ改良ヲ加ヘタル最新實用ノ器具ニ外ナラストアリテ被請求人自身モ本件茶蒸釜
 ノ出願前既ニ帝國内ニ於テ公ニ用キラレタルモノナルコトヲ自認セリ故ニ被請求人ノ實用新案ハ實用新
 案法第一條第一號及第二號ニ該當シ無効タルヘキモノナリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第五號證ヲ
 提出セリ
 被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ既ニ明治三十七年以前ニ

於テ之カ考案ヲ爲シ東京市神田區神田五軒町特許代理業者日山豐次郎ニ依頼シ特許局ニ對シ特許ノ出願
 ヲ爲シ其ノ後引續キ苦心改良ノ結果本件實用新案ノ登録ヲ經タルモノナレハ被請求人ノ考案ハ最先ノ考
 案ニシテ固ヨリ帝國内ニ周知セラレタル如キモノニ非スト云フニアリ
 仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

被請求人ノ第七六二八號登録實用新案茶蒸器ハ明治四十年十月二十日登録ヲ出願シ同年十二月十九日
 登録セラレタルモノナリ然ルニ右ト類似ノ茶蒸器ハ明治三十七年五月十二日發行ノ農商務省農務局製
 茶試験所報告第六十六頁ニ新式輕便竈並ニ蒸シ裝置試験ト題シ記載セラレタルコトハ請求人提出ノ甲
 第三號證ニ依リ認ムルコトヲ得ルカ故ニ本件登録實用新案ハ實用新案法第一條第二項第二號ニ該當シ
 無効ト爲スヘキモノナリ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
 實用新案第七六二八號登録ハ之ヲ無効トス
 審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
 明治四十一年十二月八日於特許局

審判長 特許局技師 湯淺藤市郎
 特許局事務官 宿利英治
 特許局事務官 奥山萬次郎

第一千三百九十五號

百八

請求人 北川 忠平
 右代理人 齋藤 秀岳
 被請求人 堀 辰雄
 右代理人 小池 宗三郎
 大阪市北區天滿橋筋一丁目六番地
 大阪市北區岩井町二丁目三十四番地特許代理業者
 大阪市西區幸町通五丁目二百六番屋敷
 大阪市南區安堂寺橋通二丁目五番屋敷特許代理業者
 右北川忠平ヨリ堀辰雄ニ對シ第八八二號實用新案登録無効ノ爲審判請求ヲ爲シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要旨ハ登録實用新案第八八二號提洋燈ノ登録ハ實用新案法第十八條ニ該當スルモノニ付無効トストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人カ明治四十一年二月二十七日付ヲ以テ登録ヲ出願シ同年五月一日ヲ以テ登録ヲ受ケタル登録實用新案第八八二號提洋燈ハ實用新案公報第五百十四號ニ記載セル所及乙第二號證ニ依リ明ナリ之ヲ其ノ出願以前即チ明治三十九年二月七日付ヲ以テ本請求人カ登録ヲ受ケタル登録實用新案第一一八七號提「ランプ」即チ實用新案公報第三十五號ニ記載セラレ及甲第二號證ニ依テ明示セラレタルモノニ對比スルニ火屋ノ上下兩端ニ於テ各反對ノ位置ニ切缺キヲ施シタル受段ヲ具ヘ上部ニ在テハ把手及油煙止笠ヲ有スル筒狀ノ金物ノ内周ニ於テ對向ノ位置ニ設ケタル二箇ノ突起ヲ該切缺部ヨリ嵌合シテ捻止メ下部ニ在テハ底部ナルヘキ圓筒ノ内周對向ノ位置ニ施シタル二箇ノ突起ヲ該切缺キ部ヨリ嵌合シテ捻止ムヘクシタル要部ノ構造ニ於テ彼此殆ント同一ト云ハサルヘカラス唯其ノ僅ニ異ナル點ハ第一一方ニ於テハ下部金物ノ底面ヲ三方打抜キテ内方ニ折曲ケ三箇ノ突片トナシテ油壺ヲ嵌挿シ其ノ移動ヲ止ムヘクナシタル第二火屋ノ上下ニ設ケタル突縁ノ一端ヲ屈曲シタル形トナシ

以テ突子止ヲ設ケタル點トハニツカサト雖モ其ノ(第一)ノ構造ハ請求人カ出願申ノ提「ランプ」ニ自身改良ヲ施シテ明治三十九年三月頃ヨリ販賣シタルモノニシテ被請求人ノ登録出願前既ニ公用ニ屬セルコトハ甲第三號證及甲第四號證ニ依リ明白ニシテ同業者ノ一般認識セル所ナリ又(第二)ノ構造ニ就テハ被請求人ハ彼は大ニ異ナル如ク論スト雖モ斯ノ如キハ登録實用新案第一一八七號ノ提洋燈ヨリ容易ニ推考シ得ヘキコト明ナリ其ノ他火屋ノ形狀ノ如キハ從來極メテ普通公知ニ屬スルモノナレハ何等ノ新規ノ觀アルナシ今假リニ前陳(第一)(第二)ノ構造ノ差異ヲ以テ被請求人カナセル新規ノ考案ナリトスルモ被請求人ノ本件實用新案ハ實用新案法第十四條ニ該當シ請求人ノ許諾ヲ得ルニ非サレハ實施シ得サルモノナリト云フニ在リテ甲第二、第三、第四號證及乙第二號證ヲ提出セリ
 被請求人答辯ノ要旨ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔タルヘシトノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ登録實用新案第八八二號ニ在リテハ硝子火屋ノ下方ヲ膨大トナシアルヲ以テ大氣ノ流通ヲ多クシ煤煙ヲ發生セサレトモ登録實用新案第一一八七號ニ在リテハ硝子火屋筒狀ナレハ全ク反對ノ現象アリ又登録實用新案第八八二號ニ於テ火屋上下ノ突縁ハ切缺ノ一側邊ニ縱堤ヲ具フルモ登録實用新案第一一八七號ニハ之ナシ又底面ノ突起ハ請求人カ明治三十九年三月頃ヨリ自身出願中ノ燈ヲ改良シテ販賣セリト稱スルモ被請求人ハ之ヲ認ムルヲ得ス要スルニ登録實用新案第八八二號ハ登録實用新案第一一八七號ト相違シ從テ請求人ノ主張ハ不當ナリト云フニ在リ
 仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
 登録實用新案第八八二號ハ登録實用新案第一一八七號ノ請求範圍トセル中部ヲ膨大セシメタル火屋ノ上下兩端ニ於テ各對向ノ位置ニ切缺キヲ施シタル受段ヲ具ヘ上部ニ在リテハ把手及油煙止笠ヲ有スル筒狀ノ金物ノ内周ニ對向ノ位置ニ設ケタル二箇ノ突起ヲ該切缺キ部ヨリ嵌合シテ捻止メ下部ニ在リ

百九

テハ底トナルヘキ圓筒ノ内周對向ノ位置ニ施シタル二箇ノ突起ヲ該切缺キ部ヨリ嵌合シテ捻止ムヘクシタル構造ヲ有シ實用新案法第十四條ニ該當スルコト請求人ノ主張ノ如シト雖モ其ノ相違ノ點即チ底面ノ三方ヲ打抜キ内方ニ折曲ケ三箇ノ突片トナシテ油壺ヲ嵌挿支持スルノ構造ハ其ノ登錄出願以前公用ニ屬スル證據十分ナラス假リニ之ヲ其ノ出願前公用ナリシトスルモ火屋上下ノ突縁ニ於テ切缺ノ一側邊ニ縱堤ヲ設ケタル構造ハ登錄實用新案第一一八七號ノ何レノ構造ヨリモ推考シ得ヘキ理由ナシ即チ登錄實用新案第八八二號ハ登錄實用新案第一一八七號ト一致スル構造以外更ニ新規ノ考案ヲ有スルモノニシテ彼此單ニ同一若クハ類似ト認ムヘキモノニ非サルカ故ニ實用新案法第十八條ニ該當セ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年十二月十一日於特許局

審判長 特許局技師 湯淺藤市郎

特許局事務官 宿利英治

特許局事務官 奥山萬次郎

第千四百三號

兵庫縣揖保郡神部村ノ内原村八番地

請求人 古賀淺吉

大阪市東區五町一丁目五番地特許代理業者

右代理人 廣井代藏

岡山縣淺口郡六條院村大字六條院東二千九百六十六番地

被請求人 池宗喜八

大阪市東區島町一丁目十六番地特許代理業者

右代理人 佐々木高吉

右古賀淺吉ヨリ池宗喜八ニ對シ實用新案第八五四七號登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要旨ハ登錄第八五四七號實用新案ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人ノ登錄第八五四七號實用新案便利鋏ハ實用新案公報ニ明示セル如クニシテ明治四十一年三月十七日登錄ヲ出願シ同年四月八日登錄セラレ請求人ノ特許第一二八八六號兼鋏ハ特許公報ニ明示セル如クニシテ明治四十年四月二十九日特許ヲ出願シ同年九月二十八日追加特許ヲ得タルモノナリ今此ノ兩者ヲ比較スルニ一鐵版ノ上面中線ニ隆起條ヲ有スル點二柄ノ一端ニ柄頭ヲ有スル點三柄ヲ裝附スヘキ方向又ハ場所ヲ變更シテ鋏及鋏トシテ使用シ得ル點ハ兩者全ク均等ナリ而シテ登錄第八五四七號實用新案ニ於テハ骨ヲ鐵版狀ニナシ特許第一二八八六號ニ於テハ隆起部トナシタル差アルモ等シク柄頭ノ凹陷タル縱溝又ハ弧狀部ヲ一致セシメ緊定ニ便シタルモノナレハ構造トシテ殆ント同一ナリ又右實用新案ニ於テ鋏體版ノ先端及兩側ニ鋼ヲ附シタルハ製作技工上ノ問題ニシテ構造上ノ新規考案ニ非ス故ニ登錄第八五四七號實用新案ハ特許第一二八八六號ト構造殆ント同一ニシテ該特許第一二八八六號ハ明治四十年十月二十一日發行ノ特許公報ニ記載セラレタルモノナレハ所謂容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ニ於テ公刊物ニ記載セラレタルモノ又ハ之ニ類似スルモノタルハ勿論ナリ故ニ其ノ登錄ハ實用新案法第一條第二項第二號ニ該當シ無効タルヘキモノナリ被請求人ハ本件實用新案ニ於ケル骨ハ本件特許ニ於ケル隆起部トハ構造ヲ異ニスルノミナラス該特許ノ隆起部ハ該實用新案ノ骨ノ如ク柄頭ヲ鋏體版下同ニ

方向ニ眞直ナル様取付クル能ハヌ又特許鍍兼鋤ニハ隆起部ノ裏面ニ凹陥ヲ生セスシテ土ノ附着スル憂ナシト稱スレトモ該實用新案ノ骨モ該特許ノ隆起部モ共ニ柄頭ノ縱溝又弧狀部ニ嵌合一致セシメ簡易ニ緊定スルモノニシテ隆起ト云ヒ骨ト云フ唯名稱ノ異ナルノミ又特許第一二八八六號ニ於テ柄頭ハ鍍版ト同一方向ニ眞直ニ取付ルモノニ非ルヤ勿論ナリト雖モ登錄第八五四七號ニ於ケル柄ノ裝付ノ方向及ヒ簡所ヲ變シテ鍍トナシ又鋤トナスノ點ハ全然同一ナリ且ツ柄ノ斜ナルト眞直ナルトハ構造上同種ナルカ故ニ此ノ兩者構造ハ均等ナリ又鍍體版ノ下面凹陥セルト平面ナルトハ技工上ノ問題ノミ以テ構造上ノ差異トナスヲ得スト云フニ在リ

被請求人答辯ノ要旨ハ請求人申立相立タヌ審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ請求人ノ特許第一二八八六號鍍兼鋤ハ表面ニ隆起部ヲ作ル爲裏面ニ大ナル凹陥ヲ生シ又柄ノ裝付ノ方向及ヒ附ノ箇所ヲ變更シ得ルモノ柄ノ傾斜ハ鍍版ト同一方向ニ眞直ニナスコト絶對ニ不可能ナルコト其ノ特許明細書及乙第二號證現品ニ依リテ明ナリ然ルニ登錄第八五四七號實用新案ハ乙第一號證ニ示ス如クニシテ其ノ骨ハ本件特許ニ於ケル隆起部ト全ク其ノ構成ヲ異ニスルヲ以テ鍍體版ト同一方向ニ眞直ニ柄頭ヲ取付クルヲ得ヘク又隆起部ノ下面ニ凹陥ヲ生セスシテハ隆起部ヲ造ル能ハサレトモ本件實用新案ノ骨ニ於テハ下面ヲ全ク平面ナラシムルモノナリ要スルニ登錄實用新案第八五四七號ハ特許第一二八八六號ト其ノ基ク考案及構造ヲ異ニスルモノニシテ同一又ハ類似ノモノニ非ス從テ實用新案法第一條第二項第二號ニ該當セスト云フニ在リテ乙第一號及第二號證ヲ提出セリ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト次ノ如シ
第八五四七號登錄實用新案ハ之ヲ第一二八八六號特許ト比較スルニ前者ニ於ケル骨ハ後者ニ於ケル隆起部ト全ク其ノ構造上ノ性質ヲ異ニシ從テ前者ニ在リテハ柄ヲ鍍版ノ方向ニ眞直ニ裝附スルコトヲ得

レトモ後者ニ在リテハ絶對ニ不可能ナルノ相異アルコトハ被請求人ノ主張スル所ヲ至當トス蓋シ柄ヲ鍍版ニ裝附スル方向及箇所ヲ變更シテ鋤トナラシム可キ構造ハ一ニシテ足ラス第一二八八六號特許ハ唯其ノ一ニ付特許ヲ得タルモノニシテ前記ノ如キ相異アル構造ハ其ノ特許明細書ニ依リ推知スルヲ得ヘカラス故ニ第八五四七號登錄實用新案ハ其ノ登錄出願前公刊セラレタル特許公報ニ單ニ第一二八八六號特許明細書ヲ記載セルノ故ヲ以テ實用新案法第一條第二項第二號ニ該當スルモノト認ムルヲ得ス

右ノ理由ニヨリ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タヌ

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年十二月十日於特許局

審判長

特許局技師

湯淺藤市郎

特許局事務官

宿利英治

特許局事務官

奥山萬次郎

第千四百七號

神戸市兵庫西出町五番邸

名古屋市中區彌生町百五十九番戸

兵庫縣加西郡富合村ノ内別府村八十四番屋敷

請求人

島本 太右衛門

被請求人

原 初太郎

被請求人

西村 俊二

兵庫縣加西郡富合村ノ内常吉村七十六番屋敷 被請求人 坂田 常藏
名古屋市中區南伊勢町二番邸特許代理業者 右代理人 武田 良吾

右島本太右衛門ヨリ原初太郎外二名ニ對シ第五四一六號實用新案登録無効ノ爲審判ヲ請求シタルニヨリ
審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要旨ハ被請求人ノ製作販賣スル登録實用新案第五四一六號箄織機箄返裝置ノ登録ハ無効ナ
リトノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人所有登録實用新案第五四一六號ハ請求人所有特許第一三三五四號
箄織機綾取裝置ノ構造ト類似シ性質上兩立スヘカラサルモノナリ而シテ第五四一六號登録實用新案ハ明
治四十年三月二十六日ノ出願ニシテ其ノ登録ヲ得タルハ同年五月十三日ナレトモ第一三三五四號特許ハ
明治四十年一月十八日ノ出願ニシテ同年十一月十六日特許ヲ得タルモノナルヲ以テ第五四一六號實用新
案ハ實用新案法第一條ニ規定セル新規ノモノニ非スシテ該登録ハ無効タルヘキモノナリ被請求人ハ第五
四一六號登録實用新案ノ特殊點ハ箄返機ノ運轉ヲ正確ニ調整スルニ在リ箄返機ノ脚部ノ字形ハ必スシモ
之ニ限ラス工字形其ノ他ノ形狀ニナスモ支障ナシト稱スレトモ箄返機ノ脚部ノ字形ニ爲サ、レハ到底
箄ヲシテ十分傾斜セシムルコト能ハス且現ニ被請求人ノ登録實用新案ノ圖面ニハ甲第一號證ノ如ク明ニ
之ヲ圖示セリ而シテ其ノ登録請求範圍ニハ「圖面ニ示セル箄返シ裝置ノ構造」ト明記シアリ所謂「字形ヲ
棄テテ其ノ他ノ形狀ヲナスモ自由ナルモノニ非ス被請求人ノ論旨ハ之ヲ分析スレハ甲第一號證ノA部
トB部ヲ分離シテ各別ニ權利ヲ主張シ得ルモノト解スルカ如シト雖モ其ノ登録請求範圍ニ徵スレハ全然
「不可分の」ナリ從テ甲第一號證ノA部モ其ノ範圍内ニ屬スルコト論ヲ待タス而シテ該A部ハ全然請求人
ノ特許ト同一ナリ而シテB部即チ調節杆及弧狀長溝ハ毫モ新規ナル點ヲ存セスシテ登録ヲ受クヘキ價ヲ
有セス若シ之ヲ有スルトスルモ被請求人ニ於テ甲第一號證ノ如クA部ヲ用ヒント欲セハ必ス請求人ノ許

諾ヲ得テ後利用セサル可ラサルハ喋々ノ辯ヲ要セス云々ト云フニ在リテ甲第一號證ヲ提出セリ
被請求人答辯ノ要領ハ登録實用新案第五四一六號ハ箄返機及調節杆ニ各々弧狀ノ長溝ヲ設ケ有頭鉸ヲ以
テ是ヲ取付且ツ箄返機ト調節杆トノ間ニ二箇ノ釘ヲ併植シ以テ箄返機ノ運動ヲ毫モ過誤ナカラシムルト
共ニ傾斜ノ度ヲ適當ナラシムル等構造著シク相違シ特殊ノ新效果ヲ奏ス偶々箄返機ノ脚部ノミカ請求人
所有ノ特許第一三三五四號ノ口字形ヲナスモノニ似タリト雖モ本件實用新案ニ於テハ特許第一三三五四
號ノ如ク箄返機ノ脚部カ口字形タルコトニ重キヲ置クモノニ非ス乙第一號證ノ如ク工字形トナスモ又ハ
其ノ他ノ形狀トナスモ差支ナキモノニシテ特許第一三三五四號ト登録實用新案第五四一六號トハ相兩立
スルモ法律ノ精神ニ背戾セス云々ト云フニ在リテ乙第一號證ヲ提出セリ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト次ノ如シ

登録實用新案第五四一六號ノ箄織機箄返裝置ハ甲第一號證ニ示ス如ク其ノ登録請求範圍ハ全然不可分
的ナレトモ假リニA部B部ニ分ツトキハ其ノA部ハ特許第一三三五四號ト同一ナルコト請求人主張ノ
如シ但シ其ノB部ハ特別ノ構成ニシテ特殊ノ新效果ヲ奏スルコト被請求人ノ主張スル所當ヲ得タリト
ス然リ而シテ特許第一三三五四號ノ出願ハ登録實用新案第五四一六號出願ヨリ先ナリト雖モ其ノ登録
ハ前者ヨリモ後者ヲ以テ先トスルカ故ニ其ノ實用新案ヲ以テ實用新案法第一條ニ規定セル新規ニ非ス
ト認ムヘキ理由ナク又登録實用新案カ其ノ出願前ノ出願ニ係ル特許發明ヲ使用スルニ非サレバ實施ス
ルコト能ハサルトキハ其ノ發明特許權者ノ許諾ヲ得タル場合ニ限リ之ヲ實施スルコトヲ得ルハ實用新
案法第十四條ノ規定スル所ナリト雖モ之カタメニ其ノ實用新案登録ヲ無効トスヘキ法規ノ存スルモノ
ナシ要スルニ本件ノ場合ニ於テハ實用新案登録第五四一六號ヲ無効トスヘキ理由ヲ認メ難シトス
右ノ理由ニヨリ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年十二月十二日於特許局

審判長

特許局技師

湯淺藤市郎

特許局事務官

松田啓太郎

特許局事務官

奥山萬次郎

第千四百二十二號

東京市京橋區南八丁堀一丁目七番地

請求人

久保島 弘

東京市京橋區采女町二十一番地特許代理業者

右代理人

石原 卯八

東京市京橋區采女町二十一番地特許代理業者

右代理人

飯田 治彦

東京府北豊島郡南千住町九百五十三番地

被請求人

松本 八太郎

東京市京橋區采女町二十七番地特許代理業者

右代理人

木 戸 傳

右久保島弘ヨリ松本八太郎ニ對シ第九一八五號登録實用新案精麥機ハ被請求人所有ノ第六五三四號登録實用新案精麥機ト撞着セストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ請求人所有ノ第九一八五號登録實用新案精麥機ハ

請求人申立ノ要旨ハ請求人所有ノ第九一八五號登録實用新案精麥機ハ被請求人所有ノ第六五三四號登録實用新案精麥機ト撞着セストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ請求人所有ノ第九一八五號登録實用新案精麥機ハ

加減版(全)ヲ配置シ後部間隙ニハ蓋版(全)ノ端部ヲ突出セシムヘクナシタル點ヲ新規ナル考案トシテ登録ヲ受ケタルモノナレトモ被請求人所有ノ第六五三四號登録實用新案精麥機ハ被請求人モ認ムル如ク箇體ノ上部後部下ノ間隙ハ大約相等シカラシメ何レモ前部即チ加減版側ノ間隙ヨリモ小ナラシメタル點ヲ新規ノ考案トシ其ノ構造ニ付登録ヲ受ケタルニ外ナラサレハ兩者ハ全然考案ノ根底ヲ異ニシ從テ構造上夫々相違ノ點ヲ有スルモノナルヲ以テ此ノ兩登録實用新案ハ撞着セサルコト明白ナリ換言セハ登録第六五三四號實用新案ノ權利ハ前部即チ加減版側ニ於ケル箇體内面ノ轉軸間ノ間隙ヲ後部ノ間隙ヨリモ廣カラシメタルモノ、ミニ限リ前後兩部ノ間隙ヲ上下兩部ヨリモ廣クシタル構造ニマテ及ホサ、ルヤ明白ナリ且登録第九一八五號實用新案ハ更ニ後部ニハ加減版ト同一作用ヲナスヘク蓋版端部ヲ突出セシメタルモノナレハ兩者間大差アリテ何等撞着スル理ナシ又元來形狀ニ關スル登録實用新案ハ其ノ指定セル形狀ニ限り權利ヲ有スルモノニシテ苟モ其ノ形狀ニ微少ナリトモ變更ヲ加ヘ作用ニ多大ノ相違ヲ來タシタル以上ハ全然別種ノ考案ト看做スヲ至當トス云々ト云フニ在リ

被請求人答辯ノ要旨ハ請求人ノ申立相立タストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人所有ノ登録實用新案第六五三四號精麥機ハ要スルニ加減版側即チ前部ニ於ケル箇體内面ト轉軸トノ間隙ヲ後半部ノ間隙ヨリモ廣カラシメタルモノニシテ請求人所有ノ登録實用新案第九一八五號精麥機ハ他ノ構造ニ於テ相違スルモ加減版側ニ於ケル箇體内面ト轉軸トノ間隙ヲ特ニ廣大ナラシメタルノ構造ハ登録第六五三四號實用新案ト同一構造ヲ具備スルモノナルカ故ニ此ノ點ニ關シテハ兩者當然撞着スルモノト認メサルヲ得ス即チ本件請求人ノ登録實用新案ハ特許局カ被請求人ニ通知シタル如ク被請求人ノ許諾ヲ得ルニ非レハ實施スル能ハサルヤ勿論ナリ云々ト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト次ノ如シ

登録實用新案第六五三四號精米機ハ要スルニ轉軸式精穀機ニ於テ加減版側ニ於ケル箇内面ト轉軸トノ
間隔ヲ上下兩部ニ於ケル其ノ間隔ヨリモ特ニ廣大ナラシメタル構造ヲ權利トスルモノニシテ此ノ構造
ハ登録實用新案第九一八五號精麥機ニモ採用サレタル所ニシテ其ノ作用モ亦同一ナルカ故ニ假令登録
實用新案第九一八五號精麥機ニ於テハ諸他ノ特殊ナル構造ヲ有スルモ前記ノ點ニ於テ相撞着スルハ明
白ナル所ナリトス其ノ他當事者双方ニ於テ論争スル所アルモ本件審決ニ必要ナキヲ以テ説明セズ
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年十二月十四日於特許局

審判長 特許局技師工學博士 阪田 貞一

特許局技師 湯淺 藤市郎

特許局事務官 宿利 英治

第一千四百五十九號

大阪市西區松島町二丁目百四十番屋敷

大阪府西成郡勝岡村東濱田九百七十七番地ノ一特許代理業者

大阪市東區粉川町五十七番屋敷

大阪市東區備後町二丁目十八番邸特許代理業者

請求人 泉 常一郎

右代理人 丸山 庸二

被請求人 牧田 榮太郎

右代理人 堤 他彦

右泉常一郎ヨリ牧田榮太郎ニ對シ實用新案第五九二七號登錄ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ
審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要旨ハ被請求人所有ノ實用新案登錄第五九二七號精穀機ノ登録ハ無効トストノ審決ヲ求ム
其ノ理由ハ被請求人カ明治四十年五月二十四日田中傳次郎ト共同シテ實用新案ノ登録ヲ出願シ同年七月
二日其ノ登録ヲ受ケ同年十二月四日更ニ田中傳次郎ノ持分權利ヲモ讓受ケタル實用新案登錄第五九二七
號精穀機ハ甲第二號證ノ如シ然ルニ明治四十年六月五日中山有信カ特許代理業者堤他彦ヲ代理人トシ泉
常一郎所有ノ實用新案登錄第三九三三號「スプリング」式精米機ニ對シ登録無効ノ審判ヲ請求セル審判番
號第一一八三號ノ甲第一號證トシテ提出セル特許出願番號第二四六八號精米機ヲ精査スルニ該出願ハ明
治三十六年四月二十九日ニシテ其ノ構造ハ甲第一號證ノ如シ之ヲ甲第二號證ニ比較シ主タル差異ノ點ヲ
舉クレハ(第一)甲第一號證即チ特許出願番號第二四六八號精米機ニ在リテハ二箇ノ杵杆(エ)ハ軸(イ)ヲ基
點トシ略々水平ニ横置サレ其ノ先端屈曲シテ杵(チ)ヲ附シ該水平部ニ二箇ノ彈機(ホ)ノ下端ヲ取着ケ甲第二
號證即チ實用新案登錄第五九二七號精穀機ニ在リテハ一箇ノ杵杆(チ)ハ軸(エ)ヲ基點トシ上昇ノ後屈曲シテ
略々水平ニ横置サレ其ノ先端ニ杵(リ)ヲ附シ該水平部ニ護膜板(カ)ト取着具(ク)トノ媒介ニ依リ二箇ノ彈機(ホ)
ノ上端ヲ取着ク(第二)甲第一號證ニ在リテハ一箇ノ傳動杆(ハ)ハ軸(イ)ヲ基點トシ上昇ノ後屈曲シテ略々
水平ニ横置サレ其ノ先端ニハ曲軸(下)ノ連絡セル一箇ノ彈機(ホ)ノ上端ヲ附シ該水平部ニ腕杆(ニ)ノ媒介ニヨ
リ二箇ノ彈機(ホ)ノ上端ヲ取着クルモ甲第二號證ニ在リテハ二箇ノ搖杆(上)ハ軸(エ)ヲ基點トシテ少シク下降
シテ後屈曲シテ略々水平ニ横置サレ其ノ先端更ニ屈曲シ連續軸(シ)搖動杆(ホ)ニヨリ曲軸(三)ト連絡シ該水平
部ニ於ケル突起ニ二箇ノ彈機(カ)ノ下端ヲ取着ケタルニ在リ約言セハ甲第一號證ニ於ケル一箇ノ彈機(ホ)ノ
代リニ甲第二號證ニテハ一箇ノ搖動杆(ホ)ヲ用ヒタルト甲第一號證ニ於ケル傳動杆(ハ)ト杵杆(エ)トノ位置甲

第二號證ニ於ケル搖杆(下)杵杆(下)ノ位置ト上下相反セルノミノ差アルニ歸シ些細ノ相違ハ之ヨリ胚胎セル末葉ノ取着ニ過キスシテ結局同考案ヲ踏襲セル設計上ノ變化ニ止マリ毫モ考案ノ新規ナルモノヲ認メ得ス而シテ甲第一號證ノ精米機ハ當該審査官ニ於テ特許法第一條第一項ニ規定セル最先ノ發明ト認メ難シト査定セラレタルモノナレハ本件實用新案登錄第五九二七號精穀機モ亦同運命ニ遭遇スヘキモノナリ又被請求人ハ甲第一號證タル原喜助カ特許ヲ出願セル出願番號第二四六八五號ノ一件書類ハ祕密書類ノ性質ニシテ公刊物ニアラス殊ニ該出願ト特許拒絕確定シタルモノナレハ特許公報ニモ記載サレタルコトナク從テ本件登錄實用新案ハ實用新案法第一條第二項第二號ニ該當セスト云フト雖モ本件審判請求ノ要旨ハ本件登錄實用新案ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當シテ登錄無効ナリト云フニ在リ特許代理業者堤他彦ハ審判番號第一一八三號ノ請求人中山有信ノ代理人トシテ同審判請求書中「甲第一號證ノ物品ハ其ノ特許出願中汎ク販賣シ今尙ホ使用セル向モ有之候」ト記セシヲ記憶スルナラン而シテ其ノ甲第一號證ナル物ハ全ク本審判請求書中ニ在ル甲第一號證ト同物ナリ又堤他彦ハ審判番號第一一八三號ノ辯駁書ニ於テ「其ノ出願當時ヨリ特許拒絕査定後ニ於テ數多販賣セル事實アリ甲第五號證ノ如キ精穀機ヲ明治三十七年九月原喜助カ精米機ノ製造營業ノ雇人ヨリ仲次人ヲ介シ大阪府下三島郡桑原村大川合資會社(販賣シ云々)ト自記セリ其ノ第五號證トアルハ本審判ニ於テ呈出セル甲第五號證ト同物ニシテ又審判番號第一一八三號ニ於ケル乙第一號證ニ當リ今回提出ノ甲第三號證ト同物ナリ是等ノ事實ニ依ルモ特許願第二四六八五號精米機ハ本件實用新案登錄出願前公用ニ屬セシコト明ナリ且本件實用新案登錄精穀機ノ如ク彈機ヲ取附ケ杵ノ衝擊ヲ緩和ナラシムル機構ノ其ノ出願前公用ニ屬スルコトハ獨リ甲第一號證ノミナラス特許局審査官カナシタル特許拒絕査定書(甲第四號證)ニ徵スルモ明ナリ甲第二號證精穀機ト甲第一號證精穀機トノ差異ニ付テ被請求人ハ螺旋彈機(下)ヲ軸ヲ基點トシ九十度ノ畫線内ニ在ラ

シムルコト、該彈機(下)ヲ取着具(下)ニ取着ケ其ノ取着具(下)ハ護謨板(下)ニ又護謨板(下)ハ杵杆(下)ニ取着ケ螺旋彈機(下)ノ耐久ヲ計リタル考案ヲ主眼トスルト云フト雖モ是唯設計上ニ於ケル些少ノ變異ニ過キサルノミナラス其ノ意義頗ル曖昧ナルモノアリ之ヲ要スルニ甲第一號證ハ本件實用新案登錄出願以前ヨリ公知公用ニ屬シ從テ之ニ類似セル本件登錄實用新案ハ其ノ登錄無効タルヘキモノナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至第五號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要旨ハ請求人申立相立タストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ甲第一號證タル一件書類ハ祕密書類ノ性質ニシテ公刊物ニ在ラス殊ニ該出願ハ拒絕確定シタルモノナレハ特許公報ニモ掲載セラル、コトナクシテ本件登錄實用新案ハ實用新案法第一條第二項第二號ニ該當スルモノニ非ラス且甲第二號證精穀機ハ甲第一號證ノ類似ニ非ラス何トナレハ甲第二號證ノ精穀機ハ其ノ登錄請求範圍ニ明記スル如ク螺旋彈機(下)ヲ軸ヲ基點トシ九十度ノ畫線内ニ在ラシムルコト、該彈機(下)ヲ取着具ニ取着ケ其ノ取着具(下)ハ護謨板(下)ニ又護謨板(下)ハ杵杆(下)ニ取着ケ以テ螺旋彈機(下)ノ耐久ヲ計リタル考案ヲ主眼トスルモノニシテ是等機構カ甲第一號證精米機ニモ存在スルコトハ請求人ト雖モ認メサル所ナラン而シテ如此特殊ノ機構ヲ備ヘ實用上顯著ノ效果ヲ奏スルヲ漫然設計ノ變更ナリト論スルハ玉石混同ノ嫌ナシトセス請求人ハ更ニ甲第三號乃至第五號證ヲ提出シテ登錄第五九二七號實用新案ハ其ノ登錄出願以前公用セラル、精米機ト類似スト主張スト雖モ右各號證ノ成立ハ認ムルモ立證ノ主旨ハ否認ス即チ甲第三號證乃至第五號證ノ精米機ト本件登錄實用新案精米機トハ互ニ構造ヲ異ニシ實用上ノ效果ニ差異アリ彈機(下)ヲ傾斜セシメテ裝置シタルハ請求人ノ見ル如ク無益ノ構造ニアラス護謨板(下)ト相俟テ彈機(下)ノ耐久ヲ保持スル本新案ノ特殊ノ點ナリ請求人ハ各部構造ノ差ヲ設計ノ變更ナリト論スト雖モ實用新案ナルモノハ發明特許ト異ナリ創始的巧案ナラスシテ豫知シ得ヘキ程度ノ功案ナルモ新案ヲ加フル其ノ物ニ於テ公知公用ナラス而モ實

用的ノモノナレハ可ナリ故ニ本件實用新案ハ登録セラレタルハ當然ニシテ請求人ノ主張ハ不當ナリト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

本件登録實用新案第五九二七號精穀機ノ登録出願以前ヨリ公知公用ニ屬セリトシテ請求人ヨリ提出セル甲第一號證乃至第五號證精穀機ノ構造ニ於テハ登録實用新案第五九二七號ノ請求範圍ニ記載セル『杵杆(子)ニ護膜板(カ)ノ上部ヲ取着ケ護膜板(カ)ノ下部ハ取着具(子)ヲ介シテ螺旋彈機(カ)ノ上端ニ連絡セル』構造及同請求範圍ニ記載セル『彈機(カ)ヲシテ杵杆及搖杆ノ軸ヲ基點トシテ九十度ノ畫線内ニ在ラシメタル』構造ヲ有セサルハ被請求人主張ノ如ク明白ニシテ是等特殊ノ構造ハ一モ甲第一號證精穀機ヨリ來レル設計ノ變更ニ止マルト認ムヘキ理由ヲ有セス且ツ實用新案ハ設計ノ變更ニ於テモ成立シ得ルモノナルカ故ニ之ヲ以テ常ニ相類似ノ考案ナリトナスヲ得ス故ニ本件登録實用新案第五九二七號ハ其ノ出願前公用セル精穀機ニ類似シ實用新案法第一條第二項第一號ニ該當ストナスヘキ理由ヲ認メ難シ其ノ他當事者間ニ於テ論争スル所アルモ本件審理ニ必要ナキヲ以テ説明セス

請求人申立相立タス
 審判費用ハ請求人ノ負擔トス
 明治四十一年十二月十四日於特許局

審判長 特許局技師 湯淺藤市郎
 特許局事務官 宿利英治
 特許局事務官 奥山萬次郎

第一千二百五十三號

大阪市東區東雲町二丁目三百二十番邸

大阪市東區釣鐘町二丁目四十七番地特許代理業者

大阪市南區東新瓦屋町百八十九番屋敷ノ一

大阪市東區内平野町二丁目二十一番地特許代理業者

請求人 河原千治郎

右代理人 戸田松次郎

被請求人 藤田政治郎

右代理人 竹田廣助

右河原千治郎ヨリ藤田政治郎ニ對シ實用新案第七八二三號登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ登録第七八二三號實用新案藤田式足袋底ハ無効トスト審判相成度其ノ理由ハ請求人所有ノ特許第一二六九五號發明ハ該特許證附屬明細書ニ記スル如ク其ノ發明ノ要部カ外底Bト内底Aトニ基クヤ勿論ニシテ其ノ附屬圖面ニ殊更ニ此ノ(A)Bニ要部ヲ特別ニ明記セル所以ナリ而シテ最後ニ其ノ底片ト甲片トノ縫合セル餘片ヲ内底ニ隣付クルコトニ依リテ完成シ以テ本發明ノ目的ヲ遂行スルモノナルモ之等ハ即チ從タル手段タリ今被請求人カ考案ナリトスル登録第七八二三號實用新案藤田式足袋底ヲ見ルニ外底(ト)内底(ト)ノ裁斷及ヒ其ノ形狀重合共ニ全ク請求人ノ特許第一二六九五號ノ(A)Bト寸毫ノ差ナク其ノ間ニ皮革又ハ適宜ノ(カ)ヲ加フルトアレトモ抑モ地下履ニ於テ底間ニ適宜ノモノ例セハ足袋ヲ作ル資料其ノモノ、裁屑ヲ加フルコトハ同業者カ一般ニ爲シツ、アリ請求人モ其ノ特許品並ニ他ノ物品ニ對シ古クヨリ之ヲ實施セル所ニシテ毫モ新規ノモノニ非ス而シテ此ノ藤田式足袋底ニ普通ノ甲片ヲ附センカ全然請求人所有ノ特許品ト同一タルコトヲ免カレサルモノナリ而シテ特許第一二六九五號ハ明治

四十年三月三日ニ出願シ同年八月十六日付ニテ特許セラレタルモノニシテ第七八二三號ノ登録實用新案ノ出願ハ明治四十年八月二十三日ニシテ其ノ登録ハ同四十一年一月十五日ナルヲ以テ該特許ノ後ナルコト明カナルノミナラス請求人カ其ノ特許出願中ヨリ之ヲ實施セルコトヲ知レル被請求人カ得タル此ノ登録ハ儘カニ實用新案法第一條ノ第一項第二項ノ孰レニモ該當セルモノニシテ同第三十一條ニ據リ本請求ヲ提出セル所以ナリ被請求人ハ内底A、外底Bハ特許ノ要部ニ非ラスト云フモ甲片ヲ附スルニ完全迅速ニ密針縫ニ據ラシムルハ寔ニ此ノ(A)Bノ二構造ノ發見ニヨリテ之ヲ得ルモノナリ之ヲ要部ト云フニ妨ケナシ又實用新案登録第七八二三號ノ(C)ノ形狀カ特殊ナリ資料ハ適宜ナリト曲論スルモ中入層ニモ或ハ親指ニ相當シ或ハ四指ニ適合シ或ハ其ノ他ノ底面ニ合スヘク箇々ノ裁片ヲ加フルコトアル以上ハ明白ニ普通ニ屬シ革ヲ以テスル如キハ唯僅カニ資料ノ變更ニ止リ實用ニ適スルモノニ非ラス又被請求人ハ特許第一二六九五號ノ出願前ニ内底A、外底Bノ公刊物ニ記載セラレアリト云フモ其ノ立證ナシト云フニアリテ其ノ主張ヲ確ムル爲ニ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要旨ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ特許第一二六九五號ノ要部ハ内底A、外底Bニ非スシテ其ノ明細書ニテ明瞭ナル如ク膝縫ニ依リ底面ヲ甲片ノ各周邊ヨリ凸出セシメテ恰カモ靴ノ如クナラシメ甲片下端ノ損傷ヲ防キ得ルニアレハ此ノ點ニノミ權利ノ存在セルコトハ明ニシテ内底A、外底Bノ如キハ公ニ用ヒラレツ、アルモノナリ又請求人ハ内外底間ニ裁層ヲ入ルハ普通ナリト云フモ第七八二三號登録實用新案ノ(C)ハ特別ノ形狀ヲ具備スルヲ要ス本件登録實用新案ハ(C)ヲ屈伸部ニ間隔部ヲ位置セシメ構狀トナル様内外底間ニ挟ミ入レ縫合セテ足返リヲ善クシタル點ヲ以テ新規トセルモノニシテ請求人ノ立論ハ誤レリ又内底A、外底Bノ如キハ普通ニ用ヒラル、ノミナラス登録實用新案トシテ特許第一二六九五號發明特許ノ出願前公刊物ニ記載セラル、處ニシテ乙第一號證ニ依リテ明白ナ

リ故ニ之等内外底ヲ第七八二三號登録新案ニ使用スルモ第一二六九五號特許權ト撞着スルモノトシテ取消サルヘキモノニアラス又請求人ハ内外底間ニ裁層ヲ加フルコトハ當業者間普通ナリト云フモ之ヲ立證セサル以上ハ不實ナリ假ニ百歩ヲ譲リ眞ニ層入法ナルモノアリトスルモ夫ハ他ノ目的ニ施行スルモノナルヘシ請求人主張ノ如キ夫々好適ノ裁層アルコトハ偶々ノ事柄ニ屬シ多數ノ需用即チ營業上之ヲ裁層ヨリ取ルコトノ困難ナルハ足袋裁斷法ニ就テ見ルモ明ナリ故ニ一定ノ材料ヲ其ノ形狀ニ裁斷シテ使用スルヲ得策ニシテ之ヲ裁層中ニ求メントスルハ手數時間ヲ空費スルノミナラス必ス其ノ形狀ニ作ラサルヘカラス誰レカ其ノ愚ヲ學ンヤ若シ之アリトセハ其ノ立證ヲ要ス其ノ立證ナキ以上ハ新規ト認ムルノ價値アリ故ニ若シ層ヲ使用スルコトノ立證アリトスルモ未ダ以テ足レリトセス況ンヤ層入法ノ立證スラナキ請求人ノ主張ハ不實ナリト云フニアリテ其ノ主張ヲ確ムル爲ニ乙第一號證ヲ呈出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
請求人ハ第七八二三號登録實用新案ニ於ケル凸片ヲ有スル内底及弧狀截切部ヲ具フル外底ヲ足袋ニ應用スルコトハ第一二六九五號特許及請求人カ該特許出願中ニ之ヲ實施セル事實ニ依リ新規ノ考案ト云フヲ得サルノミナラス其ノ登録出願前公知公用ニ屬スト云フモ請求人カ果シテ第七八二三號登録新案ノ出願前ニ之ヲ使用セシコトヲ知ルニ足ル立證ナキヲ以テ之ニ依リテ其公用ヲ知ルニ由ナク又第一二六九五號特許發明カ公報ニテ公ニセラレタルハ明治四十年九月二十三日ニシテ第七八二三號登録新案ノ出願後ナルヲ以テ之ニ依ルモ其ノ公知ヲ推定スルコト能ハス尙ホ追加甲第一號證ノ二ハ第七八二三號登録新案ノ無效タルコトヲ證スルニ足ラス之ヲ要スルニ請求人主張ノ事實ハ證據十分ナラサルヲ以テ其ノ主張ヲ認ムルコト能ハス其ノ他双方ニ爭フ所アルモ本審決ニ必要ナキヲ以テ説明ヲ加ヘス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年十二月十五日於特許局

審判長 特許局事務官

宿利英治

特許局技師

一川一

特許局事務官

奥山萬次郎

第千四百九號

東京市神田區五軒町一番地

請求人

小林長五郎

東京市神田區五軒町五番地特許代理業者

右代理人

日山豐治郎

東京市深川區四野町一番地

被請求人

福井德太郎

東京市京橋區桶町三十一番地特許代理業者

右代理人

高尾傳七

右小林長五郎ヨリ福井德太郎ニ對シ第八七二〇號實用新案權利確認ノ爲審判請求ヲ爲シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要旨ハ被請求人所有ノ第八七二〇號登錄實用新案濾過器ハ請求人ノ使用スル甲第二號證ノ濾過器ト撞着セシ且審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人所有ノ第八七二〇號登錄實用新案濾過器ノ登錄請求範圍ニハ『圖面ニ示セル濾過器ノ構造』トアリ而シテ圖面ノ說明ニ依レバ『(イ)ハ囊ノ口邊ヲ常ニ圓形ニ開長セシメ且懸環ヲ兼テシメタル金屬圓環、(ロ)ハ該圓環ニ縫着ケラレ

タル布囊(ハ)該囊ノ口邊數箇所ヲ截缺シテ鉤子(ニ)ヲ通セシムヘキ透孔、(ホ)ハ該截缺部ノ解舒ヲ防止セン爲ニ縫絲ナリ』トアリテ斯ル全體ノ構造ニ外ナラス而シテ請求人使用ノ甲第一號證舟形濾過器ハ口邊ニ金屬圓環ヲ附シタルモノニ非ス且前者ハ圓形ノ布囊ヲ有シ後者ハ舟形ナルカ故ニ構造ニ於テ全然相異ナルノミラス用法ニ於テモ前者ハ一箇ノ鉤子ニ懸垂シ後者ハ四方ヲ容器ノ縁等ニ支持セシメテ使用スヘキモノナルヲ以テ孰レノ點ヨリスルモ類似タルヘキモノト認メ難ク二者毫モ撞着スル理由ナシ云々ト云フニ在リテ甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要旨ハ請求人申立相立タストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ甲第一號證濾過器ハ被請求人ノ登錄實用新案濾過器ニ比シ效果ノ劣ルコト大ナリト雖モ其ノ構造ハ登録品ヨリ案出シ故ラニ類似ノ點ヲ避ケントシタルモノニシテ大體ニ於テハ類似セリト信ス云々ト云フニ在リ

依テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
登錄實用新案第八七二〇號濾過器ハ其ノ登錄請求範圍及ヒ圖面ニ明示セル構造ニ限定セラレタルモノニシテ其ノ口邊ニ金屬圓環ヲ附セス布囊ノ形狀モ圓形ト舟形トノ相異アリ且鉤子ニテ懸垂スル代リニ四方ヲ容器ノ縁等ニ支持セシムヘクナシタル甲第一號證ノ如キ濾過器ハ全ク構造ヲ異ニシ本件登錄實用新案ト撞着スヘキモノニ非サルコト請求人ノ主張スル所至當ナリトス其ノ他當事者双方ニ於テ互ニ論争スル所アリト雖モ本件審決ニ必要ナキヲ以テ説明セス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人使用ノ甲第一號濾過器ハ被請求人所有ノ登錄實用新案第八七二〇號ノ濾過器ト撞着セシ
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年十二月十八日於特許局

審判長 特許局技師 湯淺藤市郎
 特許局事務官 宿利英治
 特許局事務官 奥山萬次郎

第一千三百二十九號

東京市本郷區春木町二丁目二十六番地 請求人 野田 德松
 東京市本郷區新富町六丁目一番地特許代理業者 右代理人 吉井 濱治郎
 東京市本郷區駒込千駄木町百四十八番地 被請求人 湯淺 重太郎
 東京市芝區愛宕下町四丁目一番地特許代理業者 右代理人 高橋 淺五郎

右野田德松ヨリ湯淺重太郎ニ對シ實用新案第六四八五號登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第六四八五號登錄實用新案醫療用皮下注射器ハ無効トストノ御審決相成度其ノ理由ハ被請求人カ實用新案登錄ヲ受ケタル第六四八五號醫療用皮下注射器ノ請求範圍ハ單ニ筒ノ構造ニ止リ其ノ筒ノ構造ヲ圖面ノ說明ニ依リ按スルニ表裏兩面ニ方形孔ヲ穿テ下端ニ注射嘴ヲ有スル覆筒内ニ玻璃筒ヲ挿嵌シ覆筒ト玻璃筒ノ上下兩端接觸部ニ「フアイバー」護膜ヲ填充シタルモノニ塞蓋ヲ施シタリト云フニ過キス而シテ斯カル形狀及構造ヲ施シタル皮下注射器ハ從來ヨリ「シュータイヒ」氏注射器又ハ田中式注射器ノ名稱ノモトニ内國ニ於テ使用セラレツ、アリ請求人ノ如キモ明治三十八、九年頃ヨリ是ト毫末モ違ハサル注射器ヲ製造販賣シツ、アリテ被請求人ノ出願ニ係ル該注射器ハ毫モ新規ナル考案ニアラ

ス所謂公知公用ニ屬ス加之被請求人ノ該登錄出願ヲ爲シタル動起ハ明治四十年五月中陸軍衛生材料廠ニ於テ外科用注射器ヲ購入スル必要アルニ付同廠ノ從來ノ慣例ニ依リ豫メ一二ノ者ニ方法ヲ指示シテ標本ノ製作ヲ命シ其ノ標本ニ基キ競賣入札ノ方法ニ依ル爲先ツ同廠係官ハ當時醫療器械製造職タル被請求人ヲ呼出シ同人ニ命スルニ方法ヲ指示シテ標本ノ製作ヲ命シタルコトアリ茲ニ於テカ被請求人ハ該注射器ノ製造請負方ヲ自己ニ於テ獨占シ以テ利益ヲ壟斷センコトヲ計畫シ標本ヲ製作上納ノ上ニ於テハ竊カニ是ト寸分違ハサル本件物品ノ構造ニ付キ實用新案登錄出願ヲナシタルモノナリ而シテ被請求人カ本件實用新案ハ全ク新規ナル考案ニ出ツルモノナルコトヲ主張スルハ主トシテ注射針筒ノ上下兩端ニ「フアイバー」護膜ヲ填充セシメタル點ナルモ「フアイバー」護膜ヲ輸入シタルハ被請求人主張ノ如ク被請求人ヲ以テ嚆矢トスヘキニアラス日本電氣株式會社ノ如キハ明治三十二年以來輸入ノ上各種ノ工業品ニ應用シ又一般需用者ニ販賣シツ、アルコトハ同會社ノ證明スル處ニ徴シ明ナルノミナラス該「フアイバー」護膜ヲ注射器ノ針筒ノ上下兩端ニ填充セシメタルヲ以テ被請求人ノ考案ナリト云フハ全然虛偽ノ主張ナリ斯ル構造ノ物品ハ請求人ニ於テモ明治三十七年〔西曆千九百四年〕六月七日「クラウス」商會ヨリ本件ト同様ナル見本ヲ買入レ爾來之ヲ模範トシテ製造販賣シツ、アリテ尙ホ他ノ同業者ニ於テモ普ク製造販賣セシ處ナリ又被請求人ハ本實用新案ハ被請求人自ラ考案シ陸軍衛生材料廠ニ示シ同廠ノ同意ヲ得テ標本ヲ作製シタリ此ノ事實ハ被請求人代理人自ラ同廠係官タル磐井藥劑官ニ面會シテ此ノ趣旨ヲ確メタリト辯疏スルモ請求人及請求人代理人カ明治四十一年四月二十四日同藥劑官ニ面接シテ聽取リタルトコロニ依レハ從來當廠ニ使用シツ、アリシ注射器ノ實物ヲ示シ改良スヘキ要點ハ口頭ヲ以テ示シ標本ノ作製方ヲ被請求人ニ命シタリ而シテ其ノ出來上リタル標本ハ被請求人ノ實用新案品トハ大體ニ於テ同一物ナリ云々ト言明セラレ其ノ被請求人ノ考案ニアラサルコトハ火ヲ見ルヨリモ尙ホ明ナリ要之ニ本品ハ公

知公用ニ屬スルモノニシテ毫モ實用新案トシテノ價值存セス若シ假リニ數歩ヲ讓リテ公知公用ニアラス
トスルモ被請求人自己ノ發案ニアラサレハ實用新案トシテ登錄許可ヲ與ヘラレタルハ不當ナリト云フニ
在リ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タストノ御審決相成度其ノ理由ハ從來注射器トシテ行ハル、モ
ノ一ニシテ足ラスト雖モ本件登錄ノ如キ注射器殊ニ其ノ注射針筒ノ上下兩端ニ「ファイバー」護膜ヲ填充
シタルモノハ請求人ノ主張スル「シエトライヒ」又ハ田中式注射器ハ勿論其ノ他ノ注射器ニ於テモ未タ會
テ見サル所ニシテ全然被請求人ノ新ナル考案ニ基キタルモノニ外ナラス而シテ注射針筒ノ上下兩端ニ填
充スルニ特ニ「ファイバー」護膜ヲ填充シタルハ普通ノ護膜ハ藥液ノ注射又ハ藥液ニ依ル洗滌ノ爲腐敗シ
易キモ「ファイバー」護膜ハ然カラサル特效ヲ有スルカ爲ニシテ本邦ニ於テ該「ファイバー」護膜ヲ最初外
國ニ注文シテ取寄セタルハ實ニ被請求人ヲ以テ嚆矢トス然ルニ請求人ハ被請求人ノ登錄ヲ受ケタル本件
注射器ハ明治四十年五月中陸軍衛生材料廠ニ於テ被請求人ニ對シテ指示シテ標本ヲ作成セシメタル
モノニシテ被請求人自己ノ考案ニ基キタルニアラス然ルニ被請求人ハ自己ノ證明トシテ竊カニ實用新案
登錄ヲ受ケタルモノナリト主張スルモ是レ亦虛偽ノ主張ニシテ元來被請求人ハ從來專ラ醫療注射器ノ製
造ヲ業トスルモノニシテ注射器ニ付テハ多年ノ間苦心考慮ヲ費シタルコト決シテ尋常ナラス本件注射器
モ亦其ノ結果トシテ被請求人自ラ案出シタルモノニシテ斯ノ如キ注射器ハ非常ニ利益ナルヲ以テ之ヲ陸
軍衛生材料廠ニ示シタルニ同廠ニ於テモ頗ル之ヲ便トシテ被請求人ニ標本ノ提出ヲ命セラレタルヲ以テ
被請求人ハ之ニ應シテ標本ヲ製作提出シタルニ明治四十年九月三十日同廠ニ於テ「シエトライヒ」注射器
ナル名稱ノ下ニ購買廣告ヲナシ入札者ニ對シテハ特ニ被請求人ノ提出シタル標本ト同一ノ物品ヲ製作ス
ヘキコトヲ條件トシテ入札ヲ爲サシメタルモノナルニ外ナラス此ノ事實ハ被請求人代理人カ陸軍衛生材

料廠ニ至リ磐井藥劑官ニ面接ノ上本件登錄ノ注射器ノ製作ニ付テハ同廠ニ於テ被請求人ニ對シテ方法ヲ
指示シテ製作セシメタルヤ否ヤヲ確メタルニ同藥劑官ハ被請求人自ラ考案ノ上斯ノ如キモノヲ案出シタ
リトテ材料廠ニ示シタルモノニシテ材料廠ヨリ別ニ方法ヲ指示シテ製作セシメタルモノニアラスト明言
シタルニ依リテ之ヲ知ルコトヲ得ヘク又請求人ニ於テ以前現ニ同一品ヲ製造販賣シ居リタリト云フカ如
キハ全ク虛偽ノ陳述ナリ而シテ又請求人ハ明治三十九年中横須賀海軍病院ニ同一品ヲ納附シタルカ如ク
主張スルカ如シト雖モ被請求人ハ明治四十年十二月頃目下旅順海軍病院長ニシテ同年九、十月頃迄横須
賀海軍病院長タリシ海軍々醫大監齋藤有記氏ニ面會シ本件登錄ノ注射器一箇ヲ呈シテ試用ヲ願ヒタルニ
同氏ハ非常ニ便利有效ナルヲ賞賛セラレ旅順病院ニ於テモ試用スヘク尙ホ横須賀海軍病院ニ至リ大藥劑
師川合氏ニ面會シテ試用ヲ願ヘトテ名刺ニ紹介文ヲ記入シタルモノヲ與ヘラレタル事實アルヨリ見ルモ
請求人ノ主張ハ信スルニ足ラスシテ本件登錄ノ注射器ハ被請求人以外未タ案出シタル者ナク從テ公知公
用ニ屬スルカ如キ事實ナキヲ確カムルコトヲ得ヘシト云フニ在リ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ口頭審理ヲ爲シ證人ノ供述ヲ聽キ審決ノ理由ヲ説明スルコ
ト左ノ如シ

被請求人所有ノ第六四八五號登錄實用新案ハ普通ノ注射針筒ノ兩端ニ「ファイバー」護膜ヲ利用シタル
皮下注射針筒ナリ然ルニ請求人ノ提出ニ係カル西曆千九百四年發行ノ甲第十號證八十八頁中記載ノ第
一八七八號注射針筒ノ如キハ「アスベスト」製填充料即チ本件ノ所謂「ファイバー」護膜ヲ利用シタルモ
ノナリ又甲第八號證百三十六頁中ニモ注射器用「ファイバー」護膜輪ニ關スル記事アリ故ニ本件第六四
八五號登錄實用新案ハ同法第一條第二項第二號ニ該當スルモノト認ム
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

第六四八五號登錄實用新案ハ之ヲ無効トス
明治四十一年十二月十八日於特許局

審判長 特許局事務官 松田啓太郎
特許局技師 一川一
特許局事務官 奥山萬次郎

*百三十二

第一千四百五十四號

廣島縣深安郡福山町字西町五百十九番屋敷
大坂市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者
右代理人 淺野 榮吉
大坂市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許代理業者
右代理人 淺村 三郎
廣島縣深安郡福山町字醫者町二十一番屋敷
被請求人 佐々木 高吉
大坂市東區高麗橋三丁目百二十六番屋敷特許代理業者
右代理人 三谷 清吉
右淺野榮吉ヨリ三谷清吉ニ對シ第一一八二號實用新案權利確認ノ爲審判請求ヲ爲シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要旨ハ被請求人ノ番録ヲ得タル第一四一四號縞染機實用新案ニ於ケル捺染版ハ請求人ノ登錄第一一八二號實用新案含液捺染版ト撞着スルモノニシテ請求人ノ實用新案權ノ範圍ニ屬シ審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ請求人カ登錄ヲ得タル第一一八二號含液捺染版實用新案權ノ請求範圍ハ要スルニ凹凸ヲ設ケタル版ノ凸部面上ニ染液ヲ含ムヘキ毛織物ヲ張リタル捺染版ニシテ
被請求人カ登錄ヲ得タル第一四一四號縞染機實用新案ニ於ケル捺染版ハ面上ニ縞ノ幅ニ均シキ凸起部ヲ設ケ之ニ毛布ヲ貼リ染液ヲ浸潤セシムルモノナレハ彼此捺染版ハ全ク同一ナリ故ニ登錄第一四一四號實用新案縞染法ニ於ケル捺染版ハ登錄第一一八二號實用新案捺染版ニ撞着シ前者ハ後者ノ實用新案權ノ範圍内ニ屬スルコト明ナリ被請求人ハ登錄第一一八二號實用新案ノ登錄ハ無効タルヘキモノナリトノ理由ヲ以テ前記兩捺染版ヲ撞着スルモノニ非スト辯争スルハ當ヲ得ス殊ニ被請求人カ登錄第一一八二號實用新案ノ登錄ヲ無効トスル理由ハ誤レリ被請求人ハ登錄第一一八二號實用新案ノ登錄出願前特許第八五三八號ニ於テ同一捺染版ヲ實施公行セル筈ナシ又登錄第一一八二號實用新案ハ含液裝置ヲ有スル捺染版ノミニ存スルモノナレハ其ノ含液捺染版ニシテ實用上ノ效果ヲ奏シ且新規ナルトキハ實用新案法第一條ニ違フモノニ非ス又被請求人ノ實用新案縞染機ニ於テ含液捺染版ハ假リニ其ノ一部ニ過キストスルモ請求人ノ登錄實用新案第一一八二號ノ含液捺染版ト同一ナル以上ハ之ヲ撞着セスト云フヲ得ス云々ト云フニ在リ

被請求人答辯ノ要旨ハ請求人ノ申立相立タストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ凸凹形ノ面ヲ有スル捺染版上ニ毛布其ノ他ノ布片ヲ貼被スルノ構造ハ被請求人所有ノ特許第八五三八號縞染機ニ於テ實施公行セル所ニシテ少ナクモ請求人カ第一一八二號實用新案ヲ出願セル以前ヨリ公開セル被請求人ノ緋染工場ニ於テ多數ノ職工ニ習熟セシメテ之ヲ使用セル所ナリ故ニ請求人主張ノ如ク登錄第一一八二號實用新案カ染液ヲ含蓄スル裝置ヲ有スル捺染版ノミニ存ストセハ該實用新案ハ初メヨリ無効ノモノナリ被請求人ノ登錄第一四一四號實用新案ハ被請求人所有ノ特許第八五三八號縞染機ヲ根據トシ其ノ一部ニ改良ヲ加ヘ實用新案ノ登錄ヲ得タルモノナレハ毫モ請求人ノ實用新案ト撞着スル點ヲ發見セス且ツ請求人ノ實用新案第一一八二號ハ普通ノ「ローラ」ヲ用フルカ故ニ完全ニ實用ニ適スル縞絲ヲ製出スル能ハスシテ該

*百三十三

新案ハ全然無効ノモノナリ又登録第一四一四號實用新案ハ全部ヲ以テ請求範圍トシ一部分ナル捺染版ノミニテハ決シテ緋絲ヲ製出スル能ハス故ニ一部分ノ形狀カ類似セリトテ之ヲ權利ノ撞着トナス能ハス云々ト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人ノ登録實用新案第一一八二號捺染版ノ登録請求範圍ハ『別紙圖面ヲ以テ示セル染液ヲ含著セシムル装置ヲ有スル捺染版』トアリ之ヲ其ノ圖面及圖面ノ説明ニ依リ解釋スルトキハ凸凹アル捺染版面上ニ一面ニ毛織物ヲ張り渡シ抑ヘ木ヲ凹所ニ挾入シテ裝置シ以テ凸所面ニ染液ヲ含マシムヘクセル捺染版ト認メサル可カラスシテ唯々捺染版上ニ凸凹ヲ設ケ其ノ凸面上ノミニ毛布類ヲ貼付シタル如キハ其ノ内ニ包含セラルヘキモノニ非ス然ルニ被請求人ノ登録實用新案第一四一四號捺染機ニ於ケル捺染版面上ノ凸凹ヲ設クルコト登録實用新案第一一八二號捺染版ニ於ケルト同一ナリト雖モ其ノ凸面上ニノミニ々毛布類ヲ貼着シタル構造ナルカ故ニ彼此相異ナレル構造ニ係レリ故ニ被請求人カ登録實用新案第一一八二號捺染版ト登録第一四一四號捺染機ノ捺染版トハ相撞着セスト稱スル主張ハ至當ナリト認ム其ノ他當事者双方ニ於テ論争スル所アリト雖モ本件審決ニ必要ナキヲ以テ説明セス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

明治四十一年十二月十八日於特許局

審判長 特許局技師 湯淺藤市郎
特許局事務官 松田啓太郎

特許局事務官 奥山萬次郎

第千四百八十八號

京都市下京區松原通烏丸東入俊成町十番戶

請求人 宮本儀助

京都市上京區柳馬場通二條南入特許代理業者

右代理人 三浦倫吉

京都市本郷區湯島天神町二丁目十一番地

被請求人 齋藤榮之助

右宮本儀助ヨリ齋藤榮之助ニ對シ第八八八六號實用新案權利確認ノ爲審判ヲ請求シタルニヨリ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ製造販賣セル甲第四號證ノ寶石入半襟ハ被請求人所有ノ登録實用新案第八八八六號ノ請求範圍ニ屬セサルモノトス審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人所有ノ登録實用新案第八八八六號ノ登録請求範圍ハ圖面〔實用新案公報第百五十五號參照〕ニ示セル特殊ノ構造ニ限ルコト明白ナリ然ルニ請求人ノ先代宮本志賀ハ明治二十七年十月二十六日特許第二三七六號ヲ以テ半襟ノ裝飾ニ寶石ヲ應用セル特許ヲ得同二十八年四月二十四日第六一號改訂特許證ノ下付ヲ受ケ越ヘテ同三十八年五月五日請求人ノ支配人宮本松兵衛ハ更ニ案出シタル簡便有效ノ方法ヲ願書番號第三〇三七〇號ヲ以テ特許出願ヲナセリ其ノ方法ハ座金ニ突出セル長短二種ノ爪ヲ設ケ該長短ノ爪ヲ互ニ反對ノ方向ニ曲ケ長爪ハ切地ヲ貫通シ其ノ先端ニ於テ珠玉ヲ保持セシメ他ノ方向ニ曲ケタル短爪ハ更ニ他面ニ珠玉ヲ保持セシムルモノナリ然ルニ是等ノ考案ハ普通ニ行ハル、所ナリトシテ拒絕査定ヲ受ケタルヲ以テ其ノ後右出願ノ方法並ニ半面寶石入ノ半襟ニ付テハ短爪ヲ取除キ少數ノ長爪ノミトセル器具

ニ改良シ引續キ多年此等ノ方法ニヨリ寶石入半襟ヲ製造販賣シ來レリ而シテ是等ノ製品ハ明治三十八年
 京都市開設ノ第四回全國製産品博覽會並ニ翌三十九年ノ凱旋紀念内國製産品博覽會ニ出品シ弘ク公衆ノ
 展覧ニ供シタリ〔第四號證及第五號證〕今登錄實用新案第八八八六號ト前記座金ニ長短兩種ノ爪ヲ設ケテ
 各反對ニ曲ケタル兩面寶石入又ハ長爪ノミヲ座金ニ設ケタル半面寶石入ノ半襟トヲ比較スルニ(一)前者
 ハ座金ノ中央ニ螺狀杆ヲ有シ寶石ノ裏面ニ設ケタル孔ニ嵌合スルモ後者ハ座金ノ爪ヲ以テ直ニ寶石ヲ抱
 持スルノ差アリ(二)前者ハ絲ヲ以テ座金ノ底ニ設ケタル孔ヲ貫通シ切地ニ綴着スルニ反シ後者ハ座金ノ
 爪ヲ切地ニ貫通シ其ノ爪ノ突出セル先端ニテ寶石ヲ抱持スルノ差アリ故ニ此ノ兩者ハ根本ニ於テ相違シ
 前者ノ登錄範圍内ニ後者ヲ包含セサルコト明白ナリ云々ト云フニ在リテ甲各號證ヲ提出セリ
 被請求人ハ審判請求書副本ノ送附ヲ受ケ指定ノ期間ニ答辯書ヲ提出セス
 仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ且口頭審理ヲ行ヒ審決ノ理由ヲ説明スコト左ノ如シ

登錄實用新案第八八八六號寶石入半襟ノ權利範圍ハ其ノ圖面及ヒ圖面ノ説明ニ記載セル特殊ノ構造ニ
 限ルコト其ノ登錄請求範圍ニ依テ明白ナリ然ルニ請求人ノ製造販賣セリトシテ提出セル甲第四號證ノ
 寶石半襟ハ前記登錄實用新案第八八八六號ニ比シ第一前者ハ座金ノ爪ニテ寶石ヲ直ニ抱持スル者ナン
 トモ後者ハ座金ノ中央ニ設ケタル螺旋杆ヲ寶石ノ裏面ニ設ケタル孔ニ嵌合スルノ相違アリ第二前者ハ
 座金ノ爪ヲ切地ニ貫通シ其ノ爪ノ突出セル先端ニテ寶石ヲ抱持スル者ナレトモ後者ハ絲ヲ以テ座金ノ
 底ニ設ケタル孔ヲ貫通シテ切地ニ綴着スルノ相違アリ故ニ登錄實用新案第八八八六號ト甲第四號證ノ
 寶石入半襟トハ寶石取附ケ装置ノ根本ニ於テ異ナリ從テ相類似スルモノニ非サルコト請求人ノ主張ノ
 如シ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人ノ製作販賣セル甲第四號證ノ寶石入半襟ハ被請求人所有ノ登錄實用新案第八八八六號ノ登錄
 請求範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年十二月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 湯淺藤市郎
 特許局事務官 松田啓太郎
 特許局事務官 奥山萬次郎

第一千四百八十九號

京都市下京區松原通烏丸東入後成町十番戶 請求人 宮本儀助
 京都市上京區柳馬場通二條南入特許代理業者 右代理人 三浦倫吉
 京都市本郷區湯島天神町二丁目十一番地 被請求人 齋藤榮之助

右宮本儀助ヨリ齋藤榮之助ニ對シ第九八九九號實用新案權利確認ノ爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂
 クル處

請求人申立ノ要旨ハ請求人ノ製造販賣セル甲第四號證ノ寶石入半襟ハ被請求人ノ所有ニ係ル登錄實用新
 案第九八九九號ノ請求範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人
 所有ノ登錄實用新案第九八九九號〔甲第一號證〕ノ登錄請求範圍ハ圖面〔實用新案公報第百六十九號參照〕
 ニ示セル特殊ノ構造ニ限ル、モノナルコトハ其ノ登錄請求範圍ニ於テ圖面ニ示セル構造トアルニヨリ明

白ナリ然ルニ請求人ノ明治三十八年以來引キ續キ製造販賣シ同年京都市開設ノ第四回全國製産品博覽會并ニ翌三十九年凱旋紀念内國製産品博覽會ニ出品シ弘ク公衆ノ展覧ニ供シタル甲第四號證ノ寶石入半襟ハ座金ニ突出セル長短二種ノ爪ヲ設ケ珠玉ヲ切地ニ取付ケントスルトキハ該長短二種ノ爪ヲ互ニ反對ノ方向ニ曲ケ長爪ヲ以テ切地ヲ貫通シ其ノ突出セル先端ニテ珠玉ヲ保持セシメ同時ニ他方ニ曲ケタル短爪ニテ更ニ他面ニ珠玉ヲ保持セシムルモノ及座金ニ突出セル長爪ノミヲ設ケ之ヲシテ切地ヲ貫通セシメ其ノ先端ニテ珠玉ヲ保持セシムルモノニシテ是等ノ構造ヲ前記登錄實用新案ニ比較スルトキハ一ハ座金ノ爪ヲ以テ直ニ寶石ヲ抱持スルモ他ハ座金ノ中央ニ設ケタル螺旋杆ヲ寶石ノ裏面ニ設ケタル孔ニ嵌合シ一ハ座金ノ爪ヲ切地ニ貫通シ其ノ先端ニテ珠玉ヲ抱持セシムルモ他ハ座金ノ裏面ニ二條ノ金屬線ヲ固着シ切地ノ裏面ニ裏板ヲ當テ金屬線ヲ切地ノ表面ヨリ貫通シ裏面ニテ兩方ニ開キテ支持セシムルノ相違アリ即チ其ノ根本ニ於テ相違シ毫モ相類似セサルコト明白ナリ云々ト云フニ在リテ甲各號證ヲ提出セリ被請求人ハ審判請求書副本ノ送附ヲ受ケ指定ノ期間ニ答辯書ヲ提出セス

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ且口頭審理ヲ行ヒ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
登錄實用新案第九八九號寶石入半襟ノ權利ハ其ノ圖面ニ示セル特殊ノ構造ニ限ルコト其ノ登錄請求範圍ニ依リ明白ナリ而シテ請求人ノ製作販賣セリトシテ提出セル甲第四號證ノ寶石入半襟ノ構造ハ座金ニ突出セル長短二種ノ爪ヲ設ケ之ヲ互ニ反對ノ方向ニ曲ケ長爪ヲ以テ先ツ切地ヲ貫通シ其ノ先端ニテ寶石ヲ抱持セシメ同時ニ短爪ハ切地ノ他面ニ於テ他ノ寶石ヲ抱持スルモノ或ハ短爪ヲ省略シテ座金ニ長爪ノミヲ設ケ之ヲ以テ先ツ切地ヲ貫通セシメ其ノ先端ニテ寶石ヲ抱持セシメタルモノニシテ之ヲ前記登錄實用新案ニ比スレハ一ハ座金ノ爪ヲ以テ直ニ寶石ヲ抱持スルモ他ハ座金ノ中央ニ設ケタル螺旋杆ヲ寶石ノ裏面ニ穿テタル孔ニ嵌合シ一ハ座金ノ爪ヲ先ツ切地ニ貫通シ其ノ先端ニテ寶石ヲ抱持セ

シムルモ他ハ切地ノ裏面ニ裏板ヲ當テ座金ノ裏面ニ固着セル二條ノ金屬線ヲ切地ノ表面ヨリ貫通シ裏面ニ於テ兩方ヘ開カシメタルノ相違アリテ其ノ構造ノ根本ニ於テ異ナリ從テ類似スル者ニ非サルコト請求人ノ主張スル處ノ如シ
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人ノ製造販賣セル甲第四號證ノ寶石入半襟ハ被請求人ノ所有ニ係ル登錄實用新案第九八九號ノ請求範圍ニ屬セス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

明治四十一年十二月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 湯淺藤市郎
特許局事務官 松田啓太郎
特許局事務官 奥山萬次郎

實用新案審決錄終

意匠審決錄

實用新案審決錄

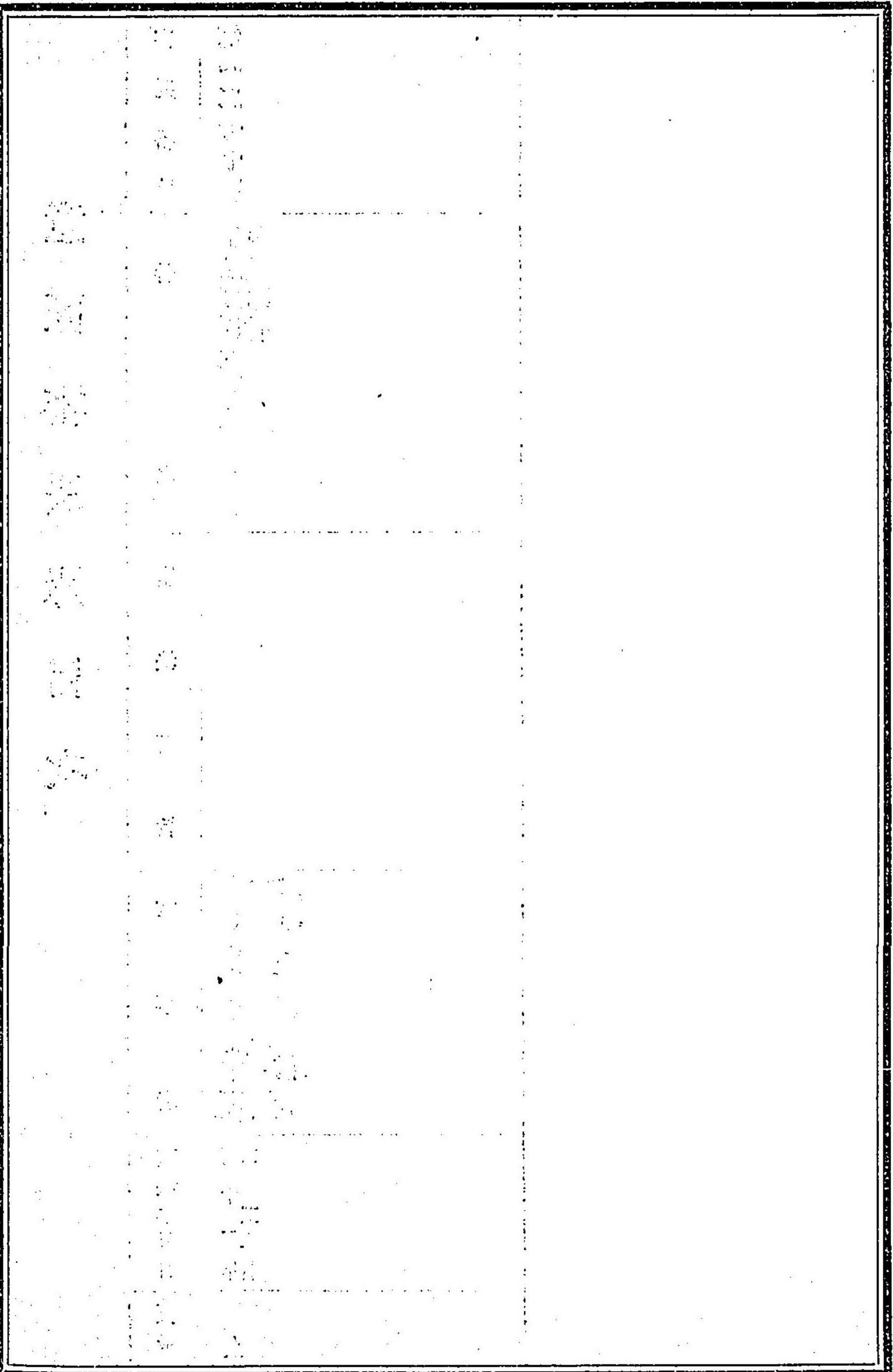
終

意匠審決錄

意匠審決録目次

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第二七七號	第三二四六號意匠登錄無効事件		(請) 田中 正太郎 (被) 上田 信利 外三人	十四年十一月二十一日	△

意匠審決録目次



意匠審決録

第一千二百七十七號

神戸市上桶通三丁目百一番屋敷煎餅商	請求人	田中正太郎
神戸市元町一丁目百五十九番屋敷煎餅商	請求人	安藤寅吉
神戸市元町一丁目二百十九番屋敷ノ三煎餅商	請求人	村上新
神戸市三宮町三丁目六十一番地煎餅商	請求人	近藤清次郎
神戸市楠町六丁目二百七十番邸ノ一特許代理業者	右代理人	前田長平
神戸市南逆瀬川町一丁目九十一番屋敷煎餅商	被請求人	上田信利

右田中正太郎外三名ヨリ上田信利ニ對シ第三二四六號意匠登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第三二四六號意匠登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ意匠ノ有效ニ登録セラルル要件トシテ其ノ意匠カ登録出願前公ニ用ヒラレサルコトヲ要ス然ルニ本件登録意匠ノ眼目タル楠公父子櫻井驛ノ模様ヲ煎餅ニ應用スルコトハ被請求人カ本件意匠ノ登録出願ヲ爲シタル以前ニ於テ既ニ公ニ用ヒラレタル處ニシテ本件登録意匠ハ意匠法第二條第三號ノ規定ニ該當シ同法第十一條ニヨリ無効タルヘキモノナリト云フニ在リ而シテ其ノ申立ヲ確ムル爲甲第一號證乃至甲第七號證ヲ提出シ且人證ノ申出ヲ爲セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ノ登録意匠ハ被請求人カ聊カ世ノ教育ニ資センカ爲案出シ其ノ登録ヲ得タルモノニシテ請求人主張ノ如ク未タ曾テ公ニ煎餅ニ使用セラレタルコトナキモノナリト云フニ在リ而シテ乙第一號證及第二號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件所争ノ要點ハ本件登録意匠ノ要部タル楠公父子訣別ノ圖形カ其ノ登録出願以前ニ於テ煎餅ノ模様トシテ應用セラレタルコトアルヤ否ヤニ在リ然ルニ本件ニ關スル證人岸本藤吉ノ訊問調書ニハ「楠公父子訣別ヲ顯ハセル印影ノ煎餅用焼印ヲ自分製造ノ煎餅ニ明治二十九年十二月以來用ヒテ居リマス」
「之ト同様又ハ類似ノ模様ハ京都其ノ他河内邊ノ煎餅屋ニテモ使用シテ居ルコトハ私カ小供時代ヨリ聞テ知リ居リマス」證人豊島房太郎ノ訊問調書ニハ「楠公父子訣別ヲ顯ハセル印影ノ煎餅用焼印ヲ製造ノ煎餅ニ明治二十九年五月以來使用發賣シテ居リマス」證人松尾ハマノ訊問調書ニハ「楠公父子訣別ヲ顯ハセル印影ノ煎餅用焼印ヲ自分製造ノ煎餅ニ明治二十六年二月以來使用發賣致シテ居リマス」トアリ而シテ被請求人ノ登録意匠ノ出願ハ明治二十九年二月二十日ニ係ルヲ以テ何レモ本件意匠登録出願前ニ於テ前記使用ノ事實アリタルコトヲ認ムルニ足ルモノトス從テ本件登録意匠ハ意匠法第二條第三號ノ規定ニ該當シ同第十一條ニ依リ無効タルヘキモノトス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

第三二四六號意匠登録ハ之ヲ無効トス

明治四十一年十一月二十一日於特許局

審判長 特許局長 中 松 盛 雄
特許局事務官 松 田 啓 太 郎

特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

意匠審決錄終

商
標
審
決
錄

商標審決録目次

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第一九二號	第二九二九號商標登 録無効事件	一、商標法第一條又ハ第八條ニ違 反シタル場合及非ノ登錄シタ ルモノカニシテ商標法ニ出願 以前該商標ニ係ルモノハ右ノ場 合ニ該商標ヲ登録セザルハ之ヲ以 テ其ノ商標ノ登録ヲ無効ナリ ト云フヲ得ス	尾上村茂久治 （請） （被） ビユカナン、エン ド、コムバニ	四月二十五日	三
第二六八號	第二九二八三號商標登 録無効事件	一、商標法第一條又ハ第八條ニ違 反シタル場合及非ノ登錄シタ ルモノカニシテ商標法ニ出願 以前該商標ニ係ルモノハ右ノ場 合ニ該商標ヲ登録セザルハ之ヲ以 テ其ノ商標ノ登録ヲ無効ナリ ト云フヲ得ス	西川定義 （請） （被）	四月六日	三
第二七五號	第二五五一五號商標登 録無効事件	一、商標法第一條又ハ第八條ニ違 反シタル場合及非ノ登錄シタ ルモノカニシテ商標法ニ出願 以前該商標ニ係ルモノハ右ノ場 合ニ該商標ヲ登録セザルハ之ヲ以 テ其ノ商標ノ登録ヲ無効ナリ ト云フヲ得ス	國武合名會社 （請） （被） 松井儀平	四月二十九日	三
第二五九號	第二八〇〇五號商標登 録無効事件	一、商標法第一條又ハ第八條ニ違 反シタル場合及非ノ登錄シタ ルモノカニシテ商標法ニ出願 以前該商標ニ係ルモノハ右ノ場 合ニ該商標ヲ登録セザルハ之ヲ以 テ其ノ商標ノ登録ヲ無効ナリ ト云フヲ得ス	廣瀬嘉吉 （請） （被） 太田衛 外二人	三月十六日	三
第一三三三號	第二六二六三號商標登 録無効事件	一、商標法第一條又ハ第八條ニ違 反シタル場合及非ノ登錄シタ ルモノカニシテ商標法ニ出願 以前該商標ニ係ルモノハ右ノ場 合ニ該商標ヲ登録セザルハ之ヲ以 テ其ノ商標ノ登録ヲ無効ナリ ト云フヲ得ス 二、商品ヲ表彰スル商標ノ使用 トシテ其ノ商標ノ登録ヲ無効 トスヘキモノニアラズ	守田治兵衛 （請） （被） 隅田岩次郎	三月十九日	三

商標審決録目次

商標審決録目次

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第一三三三號	第二六九〇二號商標登錄無效事件	商標法第二條第四號及第六號ニ該當スルモノト云フヲ得 二、審判請求後其ノ請求ノ理由ヲ變更シ又ハ追加スルモ之ヲ以テ請求ノ要旨ヲ變更スルモノト云フヲ得 一、商標ノ登錄ヲ受クルニ付現ニ營業ヲ有スルコトヲ要セス 二、商標ノ字消「ゴム」トハ之ヲ同一商品ナリト認ムルコトヲ得ス	（請） ブライスチフト、ウヰリッ ク、フリスワルト、ウヰリッ フェル、ベルグ、ク、ウヰリッ ゼル、ヤフト、ク、ウヰリッ （被） 重見 龍造	四月二十一日 三月二十五日	〇六
第二二八〇號	第二八〇八〇號商標登錄無效事件		（請） 八木 福松 （被） 合名會社稻岡商店	三月二十五日	〇八
第二二八一號	第四五三七六號商標登錄願拒絕再査定不服事件		（請） フリードリヒ、ウ オルフ父子商會	四月十一日	〇二
第二二八四號	第四三九五二號商標登錄願拒絕再査定不服事件		（請） デグ、ホス、アンド、 ロレンス、カム パニー	四月十日	〇三
第一一五四號	第九五八九號登錄商標權利確認事件		（請） チャールズ、ウイ リアム、ダイソン、 マリアンズ （被） 安井 敬七郎	四月三十日	〇五
第二二九八號	第六八六四號登錄商標權利確認事件		（請） 大倉 庄吉 （被） 嶺岸 今朝治	四月三十日	〇六

商標審決録目次

第一三三七號	第二七九七號商標登錄無效事件	一、商標登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シ得ル者ハ利害關係人ニ限ラサルコトハ商標法第二條ニ依リ特許法第三十條ニシテ解釋ニ任ズル所ナリ 二、帝國内ニ住所又ハ營業所ヲ有スル者ハ何人ナリハ審判ヲ請求シ得ルコトハ商標法施行細則第十七條ニ依リ商標法關シテ準用シタル特許法施行細則第十條ニ照スモ明ナリ	（請） 山邑 太左衛門 （被） 三好 虎之助	四月三十日 四月十一日	〇〇 〇三
第四八九號乃至第四九三號	第一五〇一五號、第一五〇一六號、第一五〇一七號、第一五〇一八號、第一五〇一七號商標登錄無效事件		（請） 洪 外十六人 （被） 郭 春 秧	四月十一日 六月五日	〇三
第一三一〇號	第二八〇八四號商標登錄無效事件		（請） 佐久間 文明 （被） 宇津權右衛門	四月九日	〇四
第一三四九號	第二七〇九〇號商標登錄無效事件		（請） 上田 四郎平 （被） 中島 壽 玄	四月十六日 六月十一日	〇二
第一三〇一號	第四四三七一號商標登錄願拒絕再査定不服事件		（請） 廣瀬 定治郎	四月二十七日	〇四
第一二九九號	第六八六四號登錄商標權利確認事件	一、商標ハ其ノ外觀ヨリ生ズル自然ノ稱呼ヨリ商標ノ混同ヲ來タスカ如キモノ亦商標ト類似スルモノト認ムヘキモノト云フヲ得ス 二、商標ノ要部以外ニ於テ商標中ニ商品ノ品質ヲ表ハス文字ヲ包含スルモ之ヲ以テ商標法第二條第六號ニ該當スルモノト云フヲ得ス	（請） 大倉 庄吉 （被） 阿部 松 衛	四月三十日 六月三十日	〇七

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第一二二〇號	第二八八七九號商標登 録無効事件	一、無効審判請求ノ目的タル商標ノ他ノ二箇以上ノ商標ニ類似ストハ理由ヲ以テ審判請求トシテ請求シタルモノニ非ス 二、商標ハ自己ノ商品ヲ表彰スルノ標章ニシテ商品取上他ノ商標ト明確ニ區別シ得ルモノナラサルヘカラス 三、商標取上ニ於テハ商標ヲ比較對照シテ商品ノ同一ヲ認識スルモ其ノ商標上ヨリ自然ニ生ズル觀念及稱呼等ヲ聯合シテ之ヲ爲スモノナルヲ以テ商標法適用上ニ於テハ商標上ニ自然ニ生ズル觀念及稱呼等同一ナルト云ハサルヲ得ス	(請) 松谷 茂一 (被) 柳原 榮三郎	四月十三日	五
第一三七八號	第四九六八八號商標登 録願拒絕再査定不服事 件	一、商標ノ要部タル文字カ其ノ指定商品ノ取引ヲ營業トセル他人ノ氏名又ハ商標ト同一ナルモノハ其ノ商標ハ商標法第二條第三號ニ該當スルモノトス	(請) 合名會社ヨット、エ ステットレル (被) 竹川 茂三郎	四月十七日	五
第一二二九號	第二一一〇二號商標登 録無効事件		(請) 齊藤 伊右衛門 (被) 川瀬 清太郎	四月十七日	五
第一三九一號	第四七四四一號商標登 録願拒絕再査定不服事 件		(請) エ、エンド、エフビ アス、リミテッド	四月十七日	五
第一二二三號	第二六六八三號商標登 録無効事件				三

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第一三八七號	第五一一五六號商標登 録願拒絕再査定不服事 件	一、無權代理ニ依ル出願ト雖モ後日代理委任狀ヲ提出スルモキハ其ノ日以後ニ以テハ該代理出願ハ有效トナルモノナリ	(請) ジャーデン、マゼッ ン、エンド、コンバ ニー、リミテッド	四月十日	五
第一三六四號	第四八三七六號商標登 録願拒絕再査定不服事 件	一、Double Vatted ナル文字ハ二重容器ノ意義ニシテ直ニ商品ノ品位ヲ指示スルモノト云フヲ得ス	(請) セームス、ワットソ ン、エンド、コンバ ニー、リミテッド	四月十四日	六
第一四二三號	第三〇二六六號商標登 録無効事件		(請) 法人スタンレー、 ウエルズ、バツハ、 コンパニー	四月十一日	七
第一三四五號	第二九二二〇號商標登 録無効事件 (大審院出訴中)		(請) 湯淺 七左衛門	四月十一日	七
第一四〇一號	第二三三二四號商標登 録無効事件 (大審院出訴中)		(請) 田中 六郎	四月十一日	七
第一四〇〇號	第三一九二八號商標登 録無効事件 (明治四十二年二月二十六日 大審院判決、一頁参照)		(請) 合名會社マツチア ス、ホーネル	四月十二日	七
第一三三三二號	第二七六九九號商標登 録無効事件		(請) 岩井 勝次郎	四月十七日	六
第一三七九號	第一五八九五號商標登 録權利確認事件	一、他人ノ商標使用ノ事實ヲ證スル爲メ審判事件ニ於ケル事實ノ請求ヲ爲スモノニ非ス再理ノ請求ヲ爲スモノニ非ス	(請) 大塚 三郎兵衛 (被) 中井 傳次郎	四月二十五日	三
第一四〇四號	第二四〇八五號商標登 録無効事件	一、商標法第二條第五號ニ所謂使用者アル商標トハ登録商標ノ意義ニアラス	(請) 岩井 勝次郎 (被) 橋本 直一	四月二十五日	六

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第二四一六號	第四七三二六號商標登 録願拒絕再査定不服事 件	一、商標中ノ主要部分ニ於テ他 ノ商標ニ類似スルトキハ其ノ 商標ハ類似商標タルモノトス	(請) リチャード、ゼー ムス、ホルストン	四十一年 十二月八日	〇九四
第二四一七號	第四七二二五號商標登 録願拒絕再査定不服事 件	一、商標中ノ主要部分ニ於テ他 ノ商標ニ類似スルトキハ其ノ 商標ハ類似商標タルモノトス	(請) シヤーン、マゼ ムス、ホルストン	四十一年 十二月八日	〇九六
第二四二六號	第四九六九一號商標登 録願拒絕再査定不服事 件	一、商標カ世人ノ最モ注目スル 主要部分ニ於テ他ノ商標ニ類 似スルトキハ其ノ商標ハ類似 商標タルモノトス	(請) シヤーン、マゼ ムス、ホルストン	四十一年 十二月八日	〇九八
第二四二七號	第四九六九二號商標登 録願拒絕再査定不服事 件	一、商標カ世人ノ最モ注目スル 主要部分ニ於テ他ノ商標ニ類 似スルトキハ其ノ商標ハ類似 商標タルモノトス	(請) シヤーン、マゼ ムス、ホルストン	四十一年 十二月八日	〇一〇〇
第二二九七號	第八〇九〇號登錄商標 權利確認事件	一、登錄商標專用權ヲ享受スル モ之カ登錄ヲ受クルニ非サル ハ第三者ニ對抗スルコトヲ得 ス 二、商標ノ登錄後其ノ商標ニ不 實ノ事項ヲ附記シタルニ因リ 其ノ登錄ヲ取消スヘキモノナ ルヤ否ヤハ商標登錄無効審判 ニ關係ナキモノトス	(請) 合名會社綿廣商店 前榮合資會社	四十一年 十二月九日	〇一〇二
第二三二七號	第二四九五〇號商標登 録無効事件	一、商標中ニ記載セル文字ノ扁 形ノ有無ノ如キハ商品ノ需用者 ノシテ區別ノ觀念ヲ生セシム ルニ足ラス	(請) 邨澤金廣 茂村源助	四十一年 十二月十一日	〇一〇八
第二三二九號	第二三〇〇七號商標登 録無効事件	一、商標中ニ記載セル文字ノ扁 形ノ有無ノ如キハ商品ノ需用者 ノシテ區別ノ觀念ヲ生セシム ルニ足ラス	(請) 中川久正 平島源二郎	四十一年 十二月十一日	〇一〇九

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第二三三〇號	第二四二二三號商標登 録無効事件	一、凡ソ商標カ互ニ類似スルヤ 否ヤヲ決スルノ標準ハ該商標 カ取引上世人ノ混同誤認ヲ受 ケルヤ否ヤノ點ニアルモノト ス	(請) 富山藥劑株式會社 富松武助	四十一年 十二月十一日	〇一一〇
第二三三一號	第二七〇三八號商標登 録無効事件	一、凡ソ商標カ互ニ類似スルヤ 否ヤヲ決スルノ標準ハ該商標 カ取引上世人ノ混同誤認ヲ受 ケルヤ否ヤノ點ニアルモノト ス	(請) 佐久間文明 福住良政	四十一年 十二月十一日	〇一一三
第二四一二號	第二五〇一三號商標登 録無効事件	一、凡ソ商標カ互ニ類似スルヤ 否ヤヲ決スルノ標準ハ該商標 カ取引上世人ノ混同誤認ヲ受 ケルヤ否ヤノ點ニアルモノト ス	(請) 扇橋製藥株式會社 相馬久吉	四十一年 十二月十五日	〇一一五
第二三八九號	第四九六九四號商標登 録願拒絕再査定不服事 件	一、凡ソ商標カ互ニ類似スルヤ 否ヤヲ決スルノ標準ハ該商標 カ取引上世人ノ混同誤認ヲ受 ケルヤ否ヤノ點ニアルモノト ス	(請) シヤーン、マゼ ムス、ホルストン	四十一年 十二月十六日	〇一一八
第二四二五號	第四九六八七號商標登 録願拒絕再査定不服事 件	一、凡ソ商標カ互ニ類似スルヤ 否ヤヲ決スルノ標準ハ該商標 カ取引上世人ノ混同誤認ヲ受 ケルヤ否ヤノ點ニアルモノト ス	(請) シヤーン、マゼ ムス、ホルストン	四十一年 十二月十六日	〇一二〇
第二四二八號	第三二九一九號商標登 録無効事件	一、凡ソ商標カ互ニ類似スルヤ 否ヤヲ決スルノ標準ハ該商標 カ取引上世人ノ混同誤認ヲ受 ケルヤ否ヤノ點ニアルモノト ス	(請) 中村富三郎 前田惣一郎	四十一年 十二月十六日	〇一二三
第二三二六號	第二五三八七號商標登 録無効事件	一、既ニ或商標ヲ附シタル物品 ニ帝國内ニ輸入セラレタルノ 商標アル上ハ其ノ物品カ同一 ノ商標ニ依テ日本内地ニ販賣サ レタルヲ認ムルヲ以テ至當ト ス	(請) ソシエダット、グイ エルダール、ハー 松下善四郎	四十一年 十二月十八日	〇一二四
第二三〇九號	第二五二八三號商標登 録無効事件	一、既ニ或商標ヲ附シタル物品 ニ帝國内ニ輸入セラレタルノ 商標アル上ハ其ノ物品カ同一 ノ商標ニ依テ日本内地ニ販賣サ レタルヲ認ムルヲ以テ至當ト ス	(請) 佐久間文明 茂村源助	四十一年 十二月二十二日	〇一二六
第二三一一號	第二五九九〇號商標登 録無効事件	一、既ニ或商標ヲ附シタル物品 ニ帝國内ニ輸入セラレタルノ 商標アル上ハ其ノ物品カ同一 ノ商標ニ依テ日本内地ニ販賣サ レタルヲ認ムルヲ以テ至當ト ス	(請) 佐久間文明 白尾谷吉郎兵衛	四十一年 十二月二十二日	〇一二八

審判番號	件名	審決要旨	當事者	審決年月日	頁數
第一三三八號	第三三九五三號商標登録無効事件		請 邨澤金廣 被 健谷林之助	四十一年 五月二十五日	〇三
第一四三一號	第二九一七號商標登録無効事件		請 エドワード・シヤラ 被 星野與兵衛	四十一年 五月二十六日	〇三

商標審決録

第千百九十二號

高知縣香美郡片地村字山田島三十九番屋敷
高知縣香美郡片地村字林田四百四番地
大阪市東區高麗橋二丁目百二十六番屋敷特許代理業者

請求人 尾立茂久治
被請求人 上村茂久治
代理人 岡田謙三郎

右尾立茂久治ヨリ上村茂久治ニ對スル第二九二二九號商標登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ付審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第二九二二九號商標ノ登録ハ之ヲ無効トスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ商標法施行以前ヨリ自家製造ノ商品タル大鋸(ラガ)前挽鋸ニ片茂ト書下シテ成ル商標ヲ使用シ居リ然ルニ被請求人ハ不法ニモ同一商標ヲ同一商品ニ竊用ノ目的ヲ以テ出願登録ヲ受ケタルヲ以テ請求人ハ之カ爲ニ自家専用商標ノ登録ヲ拒絕セラレタリ抑モ尾立家ハ高知縣ニ於ケル大鋸前挽鋸ノ始祖ニシテ初代吾郎右衛門ヨリ請求人ニ及フ迄已ニ八代ノ久シキニ亘リ連綿トシテ斯業ノ改良發達ヲ計リ先代ニ至ルニ世々傳承シ來レル片良ト書下セル商標ハ之ヲ長男丑太郎ニ繼承セシメ請求人ニ對シテハ片茂ト書下セル商標ヲ創定シテ之ヲ附與セリ之レ明治十四年ノコトニシテ爾來請求人ハ片茂ノ商標ヲ自製ノ大鋸前挽鋸ニ專用シ之ヲ公ニ發行シ來レルコト二十餘年ナリ之ニ反シテ被請求人ハ明治二十二年頃ヨリ請求人ノ本家丑太郎ノ弟子トナリ同三十一年頃其ノ門ヲ去リタルモノニシテ請求人ノ専用商標ヲ附セル商品ノ

商標ヲ羨望シ自己ノ名カ之ニ酷似セルヲ奇貨トシ請求人カ二十餘年來專用シ來レル商標ヲ自己ノモノ、
如ク裝ヒ之カ登録ヲ受ケタリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第十一號證ヲ提出シ且證人ノ訊問ヲ申請
セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ自己ノ專用スル商標ノ登
録ヲ受ケタルモ請求人カ固有ノ專用商標ヲ侵害シテ登録ヲ受ケタルコトナシ又請求人ノ所謂尾立家ノ連
綿トシテ會テ渝リシコトナキコト及片良ト書下シタル商標ハ代々同家ニ傳承シ來レルモノニシテ請求人
ノ從來使用セルモノナルコトヲ認ムルモ本件所爭ノ片茂ト書下セル商標ハ從來請求人ノ使用セシモノニ
非サルコトヲ主張ス何トナレハ技藝ノ家ト法定ノ家トハ別ニシテ請求人ノ主張ニ依ルモ請求人ハ技藝ノ
家ヲ繼承シタルモノナリ然ル上ハ其ノ家ニ代々傳承セル其ノ技藝ノ堪能ヲ標榜セル片良ト書下セル商標
ヲ承繼セサルノ理ナケレハナリ加之被請求人ハ開業以來其ノ製品ニ片茂ト記シタル商標ヲ附シ之ヲ各地
ニ賣弘メ追日信用ヲ増シタルヲ以テ之カ登録ヲ受ケタルモノニシテ決シテ請求人ノ商標ヲ侵害シタルニ
アラスト云フニアリテ乙第一號證乃至乙第二十五號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ且證人ノ陳述ヲ聽キ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
被請求人カ商品大形前挽鋸ニ對シ使用スル第二九二二九號登錄商標ハ明治三十九年十一月十五日登録
ヲ出願シ同四十年四月十八日登録セラレタルモノニシテ上部ニ^{土佐片地}第一本家ト記シ中央ニ稍大ニ^下記シ
下部ニ上村茂久治請合ト記セルモノニシテ其ノ主要部分ハ^下記セル部分ナリ然ルニ請求人カ商標
法施行以前ヨリ同一商品ニ對シ片茂ト書下セル商標ヲ使用セルコトハ證人齋藤忠兵衛ノ陳述及甲第一
號證乃至甲第十一號證ニ依リ認メ得ヘキ處ニシテ右商標ハ被請求人ノ第二九二二九號登錄商標ト類似
セルカ故ニ第二九二二九號登錄商標ハ商標法第二條第五號ニ該當シ同法第十條ニ依リ之ヲ無効トスヘ

キモノナリ其ノ他當事者間ニ於テ陳辯スル處アルモ本件審決ニ必要ナキカ故ニ説明セス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

被請求人ノ第二九二二九號登錄商標ハ之ヲ無効トス

明治四十一年一月二十五日於特許局

審判長 特許局長 中 松 盛 雄
特許局事務官 宿 利 英 治
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第一千二百六十八號

英吉利國ロンドン市東中央區ホールギン二十六番地
ブラックスクウォン 蒸溜場

請 求 人 ビュカナン、エンド、
コムバニー

東京市麹町區八重洲町一丁目一番地特許代理業者

右 代 理 人 ウオルター、オーガスタス、
ア、ハピランド

大阪市南區安堂寺橋通二十目十二番地

被 請 求 人 西 川 定 義

大阪市東區北久寶寺町一丁目八十番尾敷特許代理業者

右 代 理 人 廣 井 代 藏

右ビュカナン、エンド、コムバニーヨリ西川定義ニ對シ第二九二八三號登錄商標ヲ無効トスル爲審判ヲ請
求シタルニ付審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第二九二八三號登錄商標ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ右被請求人
ノ商標ハ明治三十二年三月一日公布商標法施行以前ニ於テ既ニ他ノモノヲ使用シ居タルモノニ類似セル

モノナルカ故ニ此ノ點ニ於テハ商標法第二條第五項ノ規定ニ違反シ又該商標ニ於テ被請求人カ其ハ貼紙ニ請求人商標ノ貼紙ニ記載セル文字ト同様ノ書方ヲ以テ上行ニBY Warrants of Appointment 中行ニDistillers to S. N. the KING 下行ニ& S. N. S. the PRINCE of WALES. ト記載セルハ事實ニ徴シテ皇族ニ關シ虚偽ノ事項ヲ掲ケタルモノニシテ此ノ點ニ於テハ商標法第十一條第二項ノ規定ニ違反スルモノナリ而シテ又被請求人ノ商標ハ之ヲ請求人ノ登録商標ニ比較シ第一圓角ヲ有スルノ點第二單ニOLDナル語ヲ加ヘテ依然SCOTCH WHISKYナル文言ヲ掲ケタルノ點又BLACK & WHITEナル語ヲ有スルノ點第四請求人登録商標ニアルSCOTCH WHISKY DISTILLERSナル語ニ單ニOLDナル語ヲ冠シテ之ヲ襲用シタルノ點第五被請求人署名ノ目的ヲ以テ書シタル文字ノ末尾ニOナル語ヲ請求人署名ノ末尾ニ於テ請求人ノ用キタルモノト全ク同一字形ヲ以テ記シタルノ點又被請求人カ以上各文言ノ記載順序ニ於テ全ク請求人ノ記載順序ト同一ナラシメタル事等ニ於テ被請求人ノ登録商標ハ請求人ノ登録商標ト相類似スルモノニシテ此ノ點ニ於テハ被請求人ノ登録商標ハ商標法第二條第四項ノ規定ニ違反セルモノナリト云フニアリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ被請求人ノ商標ハ商標法施行前ニ於テ他者ノ使用シ居ルモノニ類似スル商標ヲ包有セリト主張スルモ果シテ如何ナル商標カ何人ニ依リテ使用セラレタリヤ又其ノ時期ハ商標法施行前ナルヤ否ヤ等ニ關シ毫モ證據ノ徴スヘキナシ又請求人ノ商標中ニ記載シタル事項ヲ以テ商標法第十一條第一項ニ該當セルモノ、如ク主張スルモ同條ハ特許局長カ職權ヲ以テ商標ノ登録ヲ取消スコトヲ得ル場合ヲ規定シタルモノニシテ無効審判ヲ請求シ得ヘキ規定ニアラス又請求人ハ自己ノ登録商標ト被請求人ノ登録商標トハ相類似スト雖モ被請求人ノ商標ニハ

中央ニ最モ顯著ナル圓形即チ圓形欄内ニ羽ヲ擴ゲタル鳥ヲ描キ圓形ノ左右ニ各一頭ノ獅子カ立上リテ該圓形欄ヲ押ヘタル圖ヲ畫キ其ノ左右上下ニ附記ノ文字ヲ附加シ上方ニハ弧狀形ニ數行ノ文字ヲ記シタルモノニシテ之ヲ請求人ノ登録商標ニ比較シ其ノ全體ニ於テモ亦要部ニ於テモ將々對比的觀察ニ於テモ離隔的觀察ニ於テモ毫モ其ノ取捨甄別ニ迷フノ虞ナキハ一見明瞭ナルモノニシテ類似商標タルヘキモノニアラスト云フニアリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スル旨ト左ノ如シ

被請求人ノ登録商標ト請求人ノ登録商標トカ相類似スルヤ否ヤニ付キ被請求人ハ被請求人ノ登録商標ハ中央ニ最モ顯著ナル圓形即チ圓形欄内ニ羽ヲ擴ゲタル鳥ヲ描キ圓形ノ左右ニ各一頭ノ獅子カ立上リテ該圓形欄ヲ押ヘタル圖ヲ畫キタルモノニシテ對比的觀察ニ於テモ又離隔的觀察ニ於テモ請求人ノ登録商標ト混同セラハルヘキ虞アルモノニアラスト云フト雖モ今兩登録商標ニ就キ之ヲ案スルニ請求人ノ商標ハSCOTCH WHISKY BLACK & WHITE SPECIALLY SELECTED FOR THE HOUSE OF COMMONS. James Buchanan & Co. LTD. SCOTCH WHISKY DISTILLERS, GLASGOW LEITH & LONDON. GLENTAUCHERS-GLENNIVET DISTILLERY, MUIBEN, SPEYSLIFE ND.ナル歐文字ヲ數行ニ書クモノニヨリ成ルル商標ニシテ被請求人ノ商標ハBY Warrants of Appointment Distillers to S. N. the KING & S. N. S. the PRINCE of WALES. OLD SCOTCH WHISKY BLACK & WHITE SPECIALLY SELECTED FOR THE HOUSE OF COMMONS. Kofe bukya Nishikawa & Co. LTD. OLD SCOTCH WHISKY DISTILLERS.ナル歐文字ヲ數行ニ書クモノニシテ中央ニ圓形欄内ニ鳥ノ兩翼ヲ擴ゲ該圓形欄ノ左右ニ一箇ツノ獅子ノ立上リタル圖形ヲ畫キタルモノナリ故ニ兩商標ハ其ノ中央ニ於テハ一箇圓形ノ有無及數行ニ記載セル文字ノ二三相異ナル點

ニ於テ被請求人ノ唱フルカ如ク多少ノ差別アルヲ免カレサルモノナリト雖モ之レ單ニ商標内部ノ資料ニ多少ノ差異アリト云フニ過キスシテ兩商標全體ノ構成ニ於テ全ク其ノ意匠ト外觀トヲ同フシ殊ニ最モ世人ノ注目ヲ惹クヘキ中央部分ノ文字タル THE HOUSE OF COMMONS ハ兩商標ニ共通ニシテ兩商標ハ離隔的觀察ニ於テハ全ク世人ノ混同誤認ヲ免レサルモノナリ從テ兩商標ハ類似商標タルヲ免カレサルモノナリ而シテ請求人ノ商標登録ハ明治三十七年一月二十六日ニシテ被請求人ノ商標登録ハ明治四十年四月二十四日ニ屬スルカ故ニ被請求人ノ登録商標ハ商標法第二條第四號ノ規定ニ該當シ同第十條ニ依リ無効タルヘキモノトス其ノ他當事者双方ニ於テ申立ツル處アリト雖モ既ニ右ノ點ニ於テ無効タルヘキモノナルカ故ニ説明ヲ與ヘス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

被請求人ノ第二九二八三號商標登録ハ之ヲ無効トス

明治四十一年二月六日於特許局

審判長 特許局長 中 松 盛 雄

特許局事務官 松 田 啓 太 郎

特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第一千二百七十五號

久留米市通町五丁目百六十九番地

請 求 人 國 武 合 名 會 社

右 支 配 人

國 武 克 巳

久留米市通町六丁目二百十四番地

被 請 求 人 松 井 儀 平

右國武合名會社ヨリ松井儀平ニ對シ第二五五一五號登録商標ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ付審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第二五五一五號商標登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ請求人會社ノ社員タル國武喜次部ハ現行商標法施行前即チ明治二十五、六年頃ヨリ木綿緋又ハ其ノ他ノ木綿織物ニ綿ノ木ニテ左右ヨリ包マレタル半身婦人ノ商標ヲ使用シ來リ明治二十八年九月二十六日其ノ要部ヲ襲用シタル半身婦人ノ商標ヲ登録ヲ出願シ第七一〇八號トシテ登録セラレタリ而シテ國武喜次部ハ明治三十八年十一月十日其ノ權利ヲ營業ト共ニ請求人會社ニ讓渡シ且其ノ登録ヲ受ケタリ而シテ請求人會社ハ右商標權讓受後引續キ木綿織物ニ該商標ヲ使用シ居レリ然ルニ被請求人ハ明治三十九年三月十日前記商標ト類似セル半身婦人ノ商標ヲ木綿織物ニ使用スル爲登録ヲ出願シ第二五五一五號トシテ登録ヲ受ケタリ抑モ被請求人ノ第二五五一五號登録商標ハ請求人ノ第七一〇八號登録商標ト其ノ主要部分極メテ類似セルヲミナラス國武喜次部カ現行商標法施行前ヨリ使用シツ、アリタル商標ト比較スレハ幾分ノ差ナキニアラスト雖モ婦人半身ノ圖ヲ綿ノ木ニテ包圍セル狀及金牌ヲ上部ニ配置セル形狀等外觀頗ル酷似スルヲ以テ被請求人ノ第二五五一五號登録商標ハ商標法第二條第四號ニ該當シ同法第十條ニ依リ無効タルヘキモノナリ被請求人ハ又久留米緋ニ婦人ノ圖ヲ附スルハ一種ノ歴史的裝飾ニ過キスシテ商標ノ特徵アル部分ニ非スト云フト雖モ之レ事實ニ反スト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出シ且證人ノ訊問ヲ申請セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ノ第二五五一五號登録商標ハ商標ノ主要部トシ之ニ半身婦人ノ傍ラニ小兒ヲ顯シタルモノ並ニ綿ノ木及其ノ他ノ文字ヲ附記

シテ成リ明治三十九年三月十二日登録ニ依リ然レニ請求人ノ第七一〇八號登録商標ハ半身婦人ニ綿
ノ米及文字ヲ附記シテ成リ明治二十九年一月十四日登録ニ係レリ右兩者ハ對比的ニ觀察ニ於テハ勿論
離隔的觀察ニ於テモ全然區別アリ加之請求人ハ右兩商標ハ綿ノ木ニ包マレタル半身婦人ノ圖形アルカ故
ニ相類似スト云フト雖モ久留米緋ハ遠ク百餘年前井上阿傳ノ開業ニ係ルカ故ニ久留米緋ニ婦人ノ圖ヲ顯
ススコトハ古來ヨリ通行ナル、處ニシテ一種ノ歴史の裝飾タルニ止マルカ故ニ單ニ婦人ノ圖形ノミハ
久留米緋ノ商標トシテハ何等特徴ナキモノナルヲ以テ兩商標ハ全然區別アリト云フニアリテ乙第一號證
乃至乙第三號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
請求人ノ第七一〇八號登録商標ハ花及葉ヲ有スル二本ノ綿ノ木ヲ左右ヨリ抱合セシメ其ノ根ノ間ニハ
中央ヲ花結ヒトナシタル布片形ヲ畫キテ上下二段ニ區分シタル一種ノ欄形ヲ顯シ欄内ノ上段ニ右方ヲ
顧タル半身婦人ノ圖ヲ畫キ下段ニハ隸書ニテ久留米市通町國武喜次郎商店ト二段ニ列記シ欄形ノ上方
ニ隸書ニテ濟元祖井上阿傳肖像ト列記シタルモノニシテ商品木綿織物ニ使用スル目的ヲ以テ登録ヲ受
ケタルモノナリ然ルニ同シク木綿織物ニ使用スル目的ヲ以テ登録ヲ受ケタル被請求人ノ第二五五二五
號登録商標ハ方形欄内ノ上部左右ニ各大小五箇ノ圓形ヲ横列シ其ノ中央ニ商標ト記シ其ノ下部ニ
記シ右方ニ隸書ニテ膏等左方ニ同ク隸書ニテ金牌ト記シ又其ノ下部ニ花及葉ヲ有スル二本ノ綿ノ木ヲ
左右ヨリ抱合セシメ其ノ根ノ間ニハ中央ヲ花結ヒトナシタル布片形ヲ畫キ其ノ内部ニ半身ノ婦人カ反
物ヲ持チツ、左方ノ小兒ヲ顧タル圖形ヲ畫キ又其ノ右方ニ久留米市通町六丁目ト記シ左方ニ松井儀平
商店ト記セルモノニシテ之ヲ請求人ノ第七一〇八號登録商標ニ比較スルニ上方左右ニ横列セル圓形及
其ノ下部ニ於ケル目印ノ有無並記載ノ文字ニ於テ差異ナキニ非ズト雖モ兩商標共ニ花及葉ヲ有スルニ

本ノ綿ノ木ヲ左右ヨリ抱合セシメ其ノ根ノ中央ヲ花結ヒトナシタル布片形ヲ畫キタル欄形ノ中部ニ半
身ノ婦人ヲ畫キタル圖形其ノ主要部分ニシテ此ノ點ニ於テ互ニ相類似スルヲ以テ前記兩商標ハ相類似
スルモノナリト認ム被請求人ハ久留米緋ニ婦人ノ圖ヲ顯スコトハ古來ヨリ普通ニ行ハル、所ニシテ一
種ノ歴史の裝飾タルニ止マリ婦人ノ圖形ノミハ久留米緋ノ商標トシテハ何等特徴ナキモノナルヲ以テ
兩商標全然區別アリト云フト雖モ其ノ事實ヲ認ムルニ足ルモノナシ然リ而シテ請求人ノ第七一〇八號
登録商標ハ明治二十九年一月二十四日登録ヲ受ケタルモノニシテ被請求人ノ第二五五二五號登録商標
ハ明治二十九年三月十二日登録ヲ受ケタルモノナルカ故ニ被請求人ノ前記登録商標ハ商標法第二條第
四號ニ該當シ登録ヲ受クルヲ得サルモノニ屬シ同法第十條ニ依リ無効タルヘキモノナリ
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
第二五五二五號登録商標ハ之ヲ無効トス

明治四十一年二月二十九日於特許局

審判長 特許局長 中松盛雄
特許局事務官 宿利英治
特許局事務官 奥山萬次郎

第一千二百五十九號

東京市神田區猿樂町二番地
東京市本郷區東竹町二十九番地特許代理業者

請求人 廣瀬嘉吉
代理人 天野敬二

東京市芝區愛宕下町四丁目二番地	被請求人	太田 衛
東京市京橋區木挽町二丁目十三番地	被請求人	高島 彌七郎
東京市牛込區早稲田鶴卷町八番地	被請求人	青柳 直平
東京市芝區明舟町十九番地特許代理業者	右代理人	黒須 龍太郎
東京市芝區愛宕下町四丁目一番地特許代理業者	右代理人	高橋 淺五郎

右廣瀬嘉吉ヨリ太田衛、高島彌七郎、青柳直平ニ對シ第二八〇〇五號商標登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ付審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人カ専用スル第二八〇〇五號登録商標ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ本件商標ハ被請求人カ商標法施行細則第三十六類中ノ帽子ニ對シ使用スルノ目的ヲ以テ明治三十九年十一月四日登録ヲ出願シ同年十二月十四日カ登録ヲ受ケタルモノナリ然ルニ本件商標ハ元來早稲田大學カ其ノ制帽ニ徽章トシテ附着セシムル爲所定シタルモノニシテ明治三十九年十月十一日同校ニ於テ決定發表セラル、ヤ請求人ハ直チニカ製造ニ着手シ同年十月十七日ヨリ公然發賣シ始メタルモノナリ然ルニ被請求人ハ右徽章ノ賣行良キヲ見テ其ノ後十一月四日ニ至リ初メテ商標トシテ登録ノ出願ヲナシタルモノナレバ本件商標ハ即チ其ノ登録出願以前既ニ公ニ用キラレタルモノニシテ商標法第二十條特許法第三十條第二十條第二條ニ依リ無効ノモノナリ若シ如此商標ヲ有效ナリトセハ帝國大學ノ徽章等モ皆商標トシテ擅ニ私ニ於テ登録ヲ出願スルコトヲ得ルニ至リ其ノ使用ヲ命シタル者モ商標侵害ノ共犯者タルカ如キ奇怪ノ現象ヲ呈スヘシ加之假リニ本件商標カ其ノ登録出願前公用ニ屬シタルコトヲ以テ法律上無効ノ原因タラストスルモ本件商標ハ徽章トシテ別ニ一箇獨立ノ存在ヲ有スル商品ニシテ商品ヲ表彰スル爲ノ標識タル商標ノ性質ト相容レヌ從テ本件商標ハ此ノ點ニ於テモ無効タルヘキモノナリト云フニ在リテ之

カ主張ヲ確ムル爲甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ノ主張中本件商標ハ商標法施行細則第三十六類中ノ帽子ニ専用スル目的ヲ以テ登録ヲ許可セラレタルコト明治三十九年十一月四日登録ヲ出願シ同年十二月十四日カ登録ヲ受ケタルコト及本件商標ハ早稲田大學カ其ノ制帽ニ附着セシムル爲所定シタルモノニシテ明治三十九年十月十一日同校ニ於テ決定發表シタルモノナルコト其ノ發表後請求人カ之ヲ模擬製造シタルノ事實ハ之ヲ認ム然レトモ其ノ他ノ主張ハ之ヲ否認ス而シテ請求人ハ本件商標ハ其ノ登録出願前既ニ公知公用ニ屬スルモノナルカ故ニ其ノ登録ハ無効ナリト主張スレトモ本件商標ハ其ノ登録出願以前公知公用ノ事實ナク且ツ商標ノ登録ハ特許ノ如ク單ニ公知公用ノ理由ニ依リテ之ヲ妨ケラル、モノニアラス故ニ縱令既ニ他ニ商標トシテ使用セラレ廣ク世間ニ知ラル、モノト雖モ未タ登録ヲ經サルモノナルトキハ自ラ其ノ登録ヲ出願スルニ妨ケナキハ商標法第二條第四號ニ依リテ明白ナリ請求人ハ又本件商標ニシテ有效ナリトセハ東京帝國大學制帽ノ徽章海軍々人ノ徽章等モ亦擅ニ私ニ商標トシテ登録スルヲ得ヘク從テ之カ使用ヲ命スル者ハ商標侵害ノ共犯者ナリト云ハサルヘカラスト主張スルモ是レ本件ニ何等關係ナキノミナラス本件商標ヲ攻撃スルニ付何等意味ナシ加之本件商標ハ早稲田大學ノ求ニ依リ之ヲ附着セシムヘキ制帽ト共ニ昨年九月中被請求人等ニ於テ之ヲ考案シテ同大學へ提出シタルニ同大學ハ之ヲ徽章トシテ採用スルコトニ決シ明治三十九年十月十二日同大學ヨリ從來ノ豫約ニ基キ被請求人等ニ制帽ト共ニ一手製造販賣スルコトヲ特許セラレタルモノニシテ請求人ノ如キハ之ヲ模擬製造販賣シタルモノニ外ナラス而シテ之ヲ商標トシテ登録シタル理由ハ元來學校ノ制帽及徽章ハ之ヲ用フルモノハ必其ノ學校ノ在學生タルコトヲ證スルモノナルカ故ニ學校ノ體面上非在學者ヲシテ之ヲ濫用セシメサルノ必要アルカ故ニ制帽ニ付テハ實用新案ノ登録ヲ爲シ之ニ附着セシムヘキ徽章ニ付テハ

商標ノ登録ヲ爲スコトヲ同校ト被請求人等トノ間ニ協定ヲ遂ケタル上ニテ商標登録ヲ爲シタルモノニシテ現ニ該商標ハ實用新案第三七三四號前記制帽ニ付着専用シツ、アルモノニシテ法律上何等違法ノ點ナシト云フニ在リテ之カ主張ヲ確ムル爲乙第一號證ノ一、二、三ヲ提出セリ
仍テ一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スコト左ノ如シ

請求人ハ本件第二八〇五號登録商標ハ其ノ登録前早稻田大學カ其ノ制帽ノ徽章トシテ明治三十九年十月十一日決定發表シ請求人ハ其ノ發表後直ニ之カ製造ニ着手シ同年十月十七日ヨリ公然之ヲ發賣シ初メタルモノニシテ商標法第二十條特許法第三十條同第二條ニ依リ其ノ登録ハ無効ナリト主張スルモ商標登録カ無効タル場合ハ商標法第二條又ハ第八條ニ違反シタル場合及其ノ登録シタルモノカ商標ニ非ル場合ニ限ルモノニシテ商標登録出願以前公知公用ニ係ルモ右ノ場合ニ該當セサル限リ之ヲ以テ其ノ商標ノ登録ヲ以テ無効ナリト云フヲ得ス請求人ハ又本件登録ニ係ルモノハ徽章トシテ別ニ一箇獨立ノ存在ヲ有スル商品ニシテ商品ヲ表彰スル爲ノ標識タル商標ノ性質ト相容レスト主張スルモ本件登録ニ係ルモノハ冢體大學ノ二字ヲ書下シ穂ヲ有スル稻ニテ之ヲ抱擁セル圖形ニシテ商品其ノ物ニ非ルヲ以テ請求人ノ主張ハ其ノ理由無シ請求人ハ又本件登録商標ニシテ有效ナリトセハ帝國大學等ノ徽章等モ私人カ擅ニ商標トシテ登録スルトキハ其ノ使用ヲ命シタル者亦商標侵害ノ共犯者タルニ至ル奇怪ノ現象ヲ呈スルニ至ルヘシト主張スルモ商品ヲ表彰スル商標ノ使用ト制帽ノ徽章ノ使用トハ何等關スル處ナキノミナラス法律上商標ノ登録ヲ無効トスヘキ理由ナキモノトス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人ノ申立相立タス

明治四十一年三月十六日於特許局

審判長 特許局長 中松 盛雄
特許局事務官 宿利 英治
特許局事務官 人見 次郎

第一千二百二十一號

奈良縣南葛城郡御所町千五百十一番地

請求人 守田 治兵衛

親權者 守田 りん

大阪市東區高麗橋二丁目百二十六番屋敷特許代理業者

右代理人 岡田 謙三郎

富山市材木町九十三番地

被請求人 隅田 岩次郎

東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許代理業者

右代理人 稻木 繁太郎

右守田治兵衛ヨリ隅田岩次郎ニ對シ第二六二六三號登録商標ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ付審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ専用スル第二六二六三號登録商標ハ之ヲ使用スル商品中、丁幾劑、舍利別、煎劑、水劑、丸劑、浸劑、膏藥、散藥、錠藥、煉藥、生藥、藥油、防腐劑、防臭劑、驅蟲劑、殺蟲劑ニ對シテハ無効ナリトノ審決相成度其ノ理由ハ被請求人カ散藥、煉藥、丸藥、錠藥及其ノ他藥劑一切ニ使用スル爲明治三十九年六月六日登録ヲ受ケタル第二六二六三號商標タル「隅田眞寶丹」ノ隅田ハ被請求人及其ノ他世上ニ般ニ廣ク普通ニ使用セラル、氏名ニシテ其ノ書體亦極メテ普通ナリ此ノ點ニ於テ右登録商標ハ商標法

第二條第六號ニ該當ス而シテ之ト連續シテ記載セル眞實ナル文字ハ第二六二六三號商標登録以前即チ明治三十六年九月十一日酸類其ノ他ノ商品ノ専用商標トシテ第二〇〇五八號ヲ以テ請求人カ登録ヲ受ケタルモノト同一ニシテ此ノ點ニ於テ右被請求人ノ登録商標ハ商標法第二條第四號ニ該當ス而シテ丹ナル文字ハ藥劑ナル意味ヲ表示スル爲普通ニ使用セラル、文字ニシテ此ノ點ニ於テ右登録商標ハ商標法第二條第六號ニ該當シ第二六二六三號登録商標ノ登録ハ無効タルヘキモノナリ然ルニ被請求人ハ其ノ専用ニ屬スル第二六二六三號登録商標タル「隅田眞寶丹」ハ連續的ニ書下シ且連續的ニ讀下スカ故ニ該商標ハ請求人ノ専用ニ屬スル第二〇〇五八號登録商標ニ類似セスト主張スレトモ其ノ連續的ノ文字ハ一部ハ普通ノ書體ニ依レル普通ノ氏名及藥品ニ慣用セラル、文字ニシテ他ノ一部分ハ請求人カ登録ヲ有スル文字ナルカ故ニ之ヲ連續スルモ何等特殊ノ外觀ヲ有セス依然トシテ普通ノ氏名ト他人ノ登録商標トヲ連續シタルニ過キス從テ商標トシテ毫モ特別著明ノ外觀ヲ有スルモノニアラサルカ故ニ該商標ハ商標法第二條第四號ニ該當スルモノニシテ其ノ登録ハ無効ナリト云フニ在リテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ請求ニ係ル第二六二六三號登録商標ノ無効請求ハ更ニ其ノ理由ナキヲ以テ請求人ノ申立相立タサル旨審決相成度其ノ理由ハ凡ソ商標ハ全體ノ結合ニ依テ判斷ヲ爲スヘキモノナリ然シテ本件商標ハ「隅田眞寶丹」ト連續的ニ書下シ從テ連續的ノ稱呼ヲ有スルモノナルカ故ニ本件商標カ第二〇〇五八號登録商標タル「眞寶」ノ二字ニ類似セリト云フハ不當ナリ又請求人ハ本件商標ハ商標法第二條第四號ニ該當スルモノトシ審判ヲ請求シタル後其ノ辯駁書ニ於テ本件商標ハ商標法第二條第六號ニモ該當シ其ノ登録ハ無効ナリト云フモ右ハ請求ノ要旨ヲ變更スルモノニシテ一ノ請求書ニ於テ二箇ノ請求ヲ爲スモノニシテ不法ノ請求ナルカ故ニ排斥スヘキモノナリ而シテ又本件商標ハ隅田眞寶丹ナル結合商標ニシテ商標法第二條第六號ニ該當スルモノニ非スト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

第二六二六三號登録商標ハ隅田眞寶丹ト楷書體ニテ書下シタルモノニシテ第二〇〇五八號登録商標ハ眞寶ノ二字ヲ楷書體ニテ書下シタルモノニシテ其ノ外觀及商標上ヨリ生スル自然ノ稱呼共ニ甚相違スルカ故ニ前記兩商標ハ互ニ相類似スルモノト認ムルヲ得ス然ルニ請求人ハ第二六二六三號登録商標ハ其ノ商標中隅田ノ二字ハ普通ノ書體ニ依レル普通ノ氏名ニシテ丹ノ字ハ藥劑ナル意味ヲ表示スル爲普通ニ使用セラル、文字ナルヲ以テ此ノ點ニ於テ右登録商標ノ登録ハ商標法第二條第六號ニ該當シ又右登録商標中眞寶ノ二字ハ請求人ノ所有ニ係ル第二〇〇五八號ノ登録商標ト類似シ此ノ點ニ於テ右登録商標ハ商標法第二條第四號ニ該當シ此等ノ文字ヲ連續スルモ何等特別著明ノ外觀ヲ有スル商標タルノ資格ナク結局右登録商標ノ登録ハ無効ナリト主張スルモ第二六二六三號登録商標ハ楷書體ニシテ隅田眞寶丹ト書下シタルモノニシテ其ノ全體トシテハ普通ニ使用セラル、氏名ニ非ス藥劑ナルコトヲ表示スル爲普通使用セラル、處ニ非ス又請求人ノ所有ニ係ル第二〇〇五八號登録商標ト類似スルモノニ非サル以上ハ縱使其ノ一部カ請求人ノ主張スル所ノ如シトスルモ右登録商標ヲ以テ商標法第二條第四號及第六號ニ該當スルモノト云フヲ得ス而シテ又本件商標ヲ以テ特別著明ノ外觀ナキモノト認ムルヲ得ス被請求人ハ請求人カ審判請求書ニ依テ本件登録商標ハ商標法第二條第四號ニ該當スルヲ以テ無効ナリト主張シナカラ辯駁書ニ於テ商標法第二條第六號ニモ該當スヘキモノナリト云フハ請求ノ要旨ヲ變更シタル不當ノ請求ニシテ右商標法第二條第六號ニ因ル請求ハ一ノ請求書ニテ二箇ノ請求ヲ爲スモノニシテ不法ノ請求ナリト主張スルモ請求人ハ第二六二六三號登録商標ノ登録ノ無効ヲ主張シ審判ヲ請求シタルモノニシテ審判請求後其ノ請求ノ理由ヲ變更シ又ハ追加スルモノヲ以テ請求ノ要旨ヲ變更スルモノト云フヲ得ス又一ノ請求ヲ以テ二箇ノ請求ヲ爲スモノト云フヲ得ス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

明治四十一年三月十九日於特許局

審判長	特許局長	中 松 盛 雄
特許局事務官	宿 利 英 治	
特許局事務官	人 見 次 郎	

第一千二百三十二號

獨逸國ニユルンブルク

請 求 人

ブライスタフト、ハブリック、フアルマルス、ヨハン、フアイベル、アクチエンゲゼルシャフト

右 取 締 役

ハインリッヒ、エッペ
ライン

ドクトル、ルードウ
イッヒ、レンホルム

右 代 理 人

東京府豊多摩郡澁谷村元青山南町七丁目一番地
東京市京橋區築地三丁目十四番地特許代理業者
大阪市南區鹽町三丁目五十二番屋敷

右 代 理 人

長 島 鷲 太 郎
重 見 龍 造

被 請 求 人

右ブライスタフト、ハブリック、フアルマルス、ヨハン、フアイベル、アクチエンゲゼルシャフトヨリ重見龍造ニ
對シ第二六九〇二號商標登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ付審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ニ係ル第二六九〇二號商標登録ハ之ヲ無効トストノ審決ヲ求ム其ノ理由ハ被請求人カ明治三十九年八月七日ヲ以テ商標法施行細則第十五條第四十九類印肉墨汁「インキ」一切石筆、文鎮、筆架、字消「ゴム」、萬年筆、萬年ペン、筆筒、朱墨、水入、スタンプ、「インキ」壺、吸取器、水七、墨挾、「ペン」容器、硝子「ペン」、畫具筆、復字用筆ニ對シ第二六九〇二號ノ登録商標ヲ得タリ然レトモ商標專用權ハ固ト營業者ヲ保護スルヲ目的トスルモノナレハ營業ナキモノニ對シ之ヲ許スヘキモノニアラサルハ商標法第十二條ノ法文ヲ見ルモ明瞭ナリ然ルニ被請求人ハ元來獨立シテ一定ノ營業ヲ有スルモノニアラス大阪市東區平野町二丁目四十四番地福井定次郎ノ使用人ニ過キサレハ商標ノ專用ニ關シ何等利害ノ關係ヲ有スルモノニアラス或ハ他日營業ヲ開始スルノ見込ヲ以テ先ツ商標ヲ得タリト謂ハンモ被請求人ノ商標ヲ出願シタルハ一年以前ニアレハ今日ニ於テカ、ル口實ヲ許スヘキニアラス百歩ヲ譲リ被請求人ノ商標ハ無効ナラストスルモ本件指定商品中「字消」「ゴム」ハ之ヨリ前明治三十一年三月十一日請求人カ第一〇五九四號ヲ以テ登録ヲ得タル護謄筆及鉛筆附屬護謄ト同一ニシテ而モ同一商標ヲ用フルモノナレハ商標法第二條第四號ニ該當シ取消サルヘキモノナリト云フニ在リ

被請求人答辯ノ要領ハ本件商標ハ被請求人ニ於テ自己ノ商品ナル印肉等ニ使用ノ爲適法ニ登録ヲ受ケタルモノニシテ未ダ曾テ之等營業ヲ廢止シタルコトナシ而シテ請求人ハ被請求人ノ商標ハ其ノ指定商品中、「字消」「ゴム」ハ之ヨリ前請求人カ第一〇五九四號ヲ以テ登録ヲ得タル護謄筆及鉛筆附屬護謄ト同一ナルカ故ニ之ニ對シテ同一ナル商標ヲ使用スルハ商標法第二條第四號ニ該當シ取消サルヘキモノナリト云フモ被請求人ノ商品ハ「字消」「ゴム」ニシテ請求人ノ商品ハ筆ナレハ同一商品ト云フヲ得スト云フニ在リテ乙第一號證乃至乙第四號證ヲ提出セリ

仍テ一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人ハ被請求人ハ元來獨立シテ一定ノ營業ヲ有スルモノニアラス商標ノ專用ニ付何等利害ノ關係ヲ有スルモノニ非サルヲ以テ第二六九〇二號ノ登録商標ハ其ノ登録無効ナリト主張スルモ商標ノ登録ヲ受クルニ付法律上現ニ營業ヲ有スルコトヲ要セサルヲ以テ被請求人カ本件商標ノ登録ヲ受クル際營業ヲ有セザリシトスルモ本件登録商標ノ登録ヲ無効ナリト云フヲ得ス而シテ請求人ハ又本件登録商標ノ指定商品中「消」ゴム」ハ請求人カ第一〇五四九號登録商標ヲ使用スル護謄筆及鉛筆附屬護謄ト同一ニシテ同一商標ヲ用フルモノナルヲ以テ本件商標ハ字消「ゴム」ニ付テハ商標法第二條第四號ニ該當シ其ノ登録ハ無効ナリト主張スルモ護謄筆ト字消「ゴム」トハ之ヲ同一商品ナリト認ムルヲ得ス又第一〇五九四號登録商標ハ鉛筆附屬護謄ニ專用權アリ本件商標ハ鉛筆ニ附屬セサル字消「ゴム」ニ付キ專用權アルモノナルヲ以テ彼是商品同一ナリト云フヲ得ス從テ本件商標ハ字消「ゴム」ニ付商標法第二條第四號ニ該當ストノ請求人ノ主張ハ亦不當ナリ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

明治四十一年三月二十五日於特許局

審判長 特許局長 中 松 盛 雄
 特許局事務官 宿 利 英 治
 特許局事務官 人 見 次 郎

第一千二百八十號

大阪市西區土佐堀町八十四番屋敷

請求人 八 木 福 松

兵庫縣印南郡西志方村ノ内横大路村五十二番屋敷

被請求人 合名會社稻岡商店

大阪市東區北久寶寺町一丁目八十番屋敷特許代理業者

法定代理人 稻 岡 九 平
 右代理人 廣 井 代 藏

右八木福松ヨリ合名會社稻岡商店ニ對シ第二八〇八〇號商標登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ付審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ有スル第二八〇八〇號商標登録ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ右商標ハ被請求人カ明治三十九年十二月二十日其ノ登録ヲ受ケタルモノニシテ其ノ圖形ハ左ニ向テ片足ヲ揚ケ角ヲ有スル鹿カ歩行狀ヲナシテ顧眄シタルモノヲ其ノ傍ヨリ樹木様ノ前ニ立テタル細小ナル人物カ之ヲ射殺セント擬セルモノナリ然ルニ之ヨリ先キ明治三十五年七月七日ニ於テ請求人カ登録ヲ受ケタル第一七六三三號登録商標ハ等シク片足ヲ揚ケ角ヲ有シ且斑點アル鹿カ右方ニ向テ歩行狀ヲナシ顧眄セル處ヲ松樹ノ前ナル唐子カ半弓ヲ擬シテ之ヲ射殺セントスルノ圖形ニ係ルモノニシテ兩商標ハ其ノ概觀上及稱呼上ヨリ類似商標タルヲ免カレサルモノナリ從テ第二八〇八〇號商標登録ハ無効タルヘキモノナリト云フニ在リ而シテ其ノ申立ニ付第一號證乃至第三號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タス又商品手拭ニ對スル申立ハ之ヲ却下スト審決相成度其ノ理由ハ請求人ノ登録商標ト被請求人ノ登録商標トニ付之ヲ觀察スルニ兩商標ヲ形付クル欄下地トノ差異松樹ノ有無及鹿ノ方向並ニ其ノ陰陽等ニ於テ全然相異ナリ特ニ商標中ノ要部タル點ニ於テ相異ナルモノニシテ兩商標ハ概觀上ニ於ケル類似商標ニアラス又其ノ稱呼ニ於テモ同一又ハ類似ナルモノニアラスト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人所有ノ第一七六三三號登錄商標ハ角ヲ有シ斑點アル頭ノ鹿カ右ニ向テ歩行狀ヲナシ而シテ左方ヲ顧眄セルヲ畫キ左方松樹ノ前ナル唐子カ半弓ヲ擬シテ之ヲ射殺セントスルノ圖形ニ係リ而シテ之ニ外欄ヲ施シテ成レルモノナリ然ルニ商標中世人ノ注目ヲ惹キ其ノ記憶點トナルヘキ部分ハ鹿及唐子ノ之ヲ射殺セントスル圖形ニ係ルモノナリ而シテ又被請求人ノ第二八〇八〇號登錄商標ハ左ニ向テ片足ヲ揚ケ歩行ノ狀ヲ爲セル一箇ノ角アル鹿カ右方ヲ顧眄シ而シテ右方上部ノ樹木様ノ前ニ立テタル細小ノ人物カ之ヲ射殺セントスルノ圖形ヲ畫キ之ニ附記ノ文字ト周欄ヲ施シタルモノナリト雖モ右商標中ニ在テ世人ノ注目ヲ惹キ其ノ目印トナルヘキ部分ハ之亦畢竟鹿及一箇ノ小人物カ之ヲ射殺セントスル圖形ニ外ナラサルモノナリ故ニ前記兩商標ハ其ノ中央部分タル世人ノ注目ヲ惹クヘキ部分ニ於テ全ク相類似シ世人ノ混同誤認ヲ免レサルモノニシテ類似商標タルモノトス被請求人ハ被請求人商標中ノ鹿ヲ射殺セントスル人物ノ圖形ノ細小ナルト又請求人被請求人兩商標ノ欄、地ノ差別松樹ノ有無鹿ノ方向並ニ其ノ陰陽ノ差異アル等ニ依リテ兩商標ノ區別アルヲ主張スト雖モ此等ノ差異ハ以テ離隔的觀察ニ於ケル兩商標ノ差別ヲ招クモノニアラス畢竟兩商標ハ類似商標タルヘキモノニシテ後ニ登錄セラレタル第二八〇八〇號登錄商標ハ商品西洋手拭及手巾ニ對シテハ商標法第二條第四號ニ該當シ同第十條ニ依リ無効タルヘキモノトス

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

第二八〇八〇號商標登錄ハ商品西洋手拭及手巾ニ對シ無効トス

明治四十一年三月二十五日於特許局

審判長 特許局長 中 松 盛 雄

特許局事務官 松 田 啓 太 郎
特許局事務官 人 見 次 郎

第一千二百八十一號

獨逸國バーテン太公國カスル

請 求 人

フリードリヒ、ウォルフ父子商會

右商會代表者

ゲオルヒ、ウォルフ

右代理人

ハ、ビョーデル

右復代理人

ヘルマン、ケスレル

神戸市京町七十五番屋敷
東京市京橋區築地町四十八番地特許代理業者

右フリードリヒ、ウォルフ父子商會ヨリ願書番號第四五三七六號商標登錄願ニ對スル明治四十年十月十八日付ノ拒絕再査定再査定ニ服セス審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ願書番號第四五三七六號商標登錄願ニ對スル明治四十年十月十八日付ノ拒絕再査定ハ不當ナリト審決相成度其ノ理由ハ審査官ノ本願ニ對スル拒絕理由ヲ見ルニ本願商標カ第二八六六三號商標ト最モ人目ヲ惹クニ足ルヘキ點ニ於テ同一資料ヲ採用シタル爲混同サレ易シト云フニ在リ然ルニ彼是兩商標ハ明ニ區別セラルヘキ外觀ト稱呼ヲ有スルモノニシテ若シ西洋婦人ノ半身像ヲ畫ケリト云フノ點ニノミ重キヲ措キテ論スルトキハ西洋婦人ノ半身像アルモノ極メテ多キニ因リ第二八六六三號カ登錄セラレタルコトモ亦議スヘキモノナリ況ンヤ本願商標ノ婦人ハ右向シテ「メーフラワー」ヲ嚙キ居ルニ反シ第二八六六三號ハ單ニ何等ノ裝飾ヲ有セサル左向ノ婦人ノ頭部ノミナルオヤ審査官ハ本願商標中最モ

人目ヲ惹クノ部分ハ婦人ノ半身圖ニシテ「ヂビニヤ」ノ文字ノ如キハ單ニ附記ノモノニ過キス且綜合的外觀ニ於テ差異アリトモ之ヲ以テ稱呼差別ナリト論斷スルヲ得スト爲シ本願商標ニ付テハ主トシテ稱呼ノ同一ナル點ヨリ推論シ商標ヲ構成スル圖形、文字、色彩、外觀等ノ表象的部分ニ對シテハ何等ノ說明ヲ與ヘサルハ理由不備ノ甚シキモノナリ而シテ本願商標ハ「ヂビニヤ」ナル文字アルカ爲ニ特殊ノ稱呼ヲ有シ他ノ婦人ヲ材料トセル商標ト混交誤認サレサルヘキ強キ根據ヲ有スルナリ且本願商標ハ其ノ外觀ノ綜合的觀念ニ於テ一見シテ第二八六六三號ト誤認サルヘキ點毫モ存在セスト云フニ在リ

審査官答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人不服理由ノ要領ハ出願商標ノ稱呼ハ「ヂビニヤ」ニシテ第二八六六三號商標ト稱呼上混同ノ虞ナシ又出願商標ノ婦人ノ頭部ヲノミ重要視シテ綜合的外觀ヲ看過シタルハ不當ナリト云フニ在リ然レトモ凡ソ商標ノ稱呼ナルモノハ商標中ノ文字、圖形記號ノ最モ人目ヲ惹ク部分ヨリ發生スルヲ常トス出願商標中人目ニ映スル程度ニ於テ婦人ノ半身像ト「ヂビニヤ」ノ文字トハ到底比較ヲ爲スニ足ラス即チ請求人主張ノ如ク本願商標ノ稱呼トシテ「ヂビニヤ」ノ文字カ婦人ノ半身像ヨリ生スル稱呼ニ代ルノ價值ナキモノト認ム而シテ稱呼トシテ必シモ商標全體ヲ構成スル各部分ヲ綜合シテ冗長散漫ナルモノヲ生セス構成部分中主要ナル材料ヨリ生スルモノナルカ故ニ單ニ綜合的外觀ニ於テ差異アリトノ理由ヲ以テ稱呼差別ナリト論斷スルヲ得ス要スルニ本願商標ハ稱呼上ニ於テ第二八六六三號ノ商標ト混同スルノ虞アリ類似商標タルモノト認ムト云フニ在リ仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ說明スルコト左ノ如シ

審査官カ本件商標ノ登錄ヲ拒絕シタル理由ハ本件商標ト第二八六六三號登錄商標トハ其ノ最モ人目ヲ惹クヘキ部分ニ於テ相同ク商標上ヨリ生スル稱呼相同キニ依リ兩商標相類似スト云フニ在ルモ本件商標ハ隻手ニ花ヲ持テ喚キ居ル婦人ノ半身圖「ヂビニヤ」「エフ、ウアルフ、エンド、ソソ」ノ羅馬字等ヲ面上

ニ表ハシタル楕形ノ圖及楕形、狼、王冠及草花等ヲ結合セル圖ニシテ第二八六六三號登錄商標ハ唐草模様ヨリ成ル小欄ヲ有スル縱長欄ニ羅馬字ヲ付記シ右小欄内ニ婦人ノ首ヲ表ハシタルモノニシテ本件商標ハ婦人ノ半身圖ヲ有スル楕形アルモノトシ普通商品需要者ニ認識セラレ又之ニ印象ヲ與フヘク第二八六六三號登錄商標ハ婦人ノ首ヲ有スルモノトシテ認識セラレ印象ヲ與フヘキモノニシテ其ノ外觀及商標上ヨリ生スル稱呼全ク相異ナルモノニシテ審査官カ前記ノ理由ニ依リ本願商標ノ登錄ヲ拒絕シタルハ不當ナリ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

第四五三七六號商標登錄願ニ對シ特許局審査官カ其ノ商標ノ登錄ヲ許可スヘカラスト査定シタルハ不當ナリトス

明治四十一年四月一日於特許局

審判長 特許局長 中 松 盛 雄
特許局事務官 宿 利 英 治
特許局事務官 人 見 次 郎

第一千二百八十四號

亞米利加合衆國紐約市クリストフワール街第十番、第十二番

請 求 人

デヴル、ス、ア、ン、ド、ロ、ー、レ、ン、ス、カ、ム、バ、ニ、ー、
右東洋諸國總支配人

ハーヴェー、エッチ、ワ
トキンス

東京市京橋區采女町十五番地特許代理業者

右代理人 秋山源藏

右デウス、アンド、ローレンス、カムバニーヨリ願書番號第四三九五二號商標登録願ニ對スル特許局審査官ノ拒絕再査定ニ服セス審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ原査定ヲ廢棄シ更ニ本願商標ハ登録スヘキモノナリト審決相成度其ノ理由ハ本願商標ハ Pain Killer ナル複成文字「英語」ナルニ審査官ハ右ハ今日已ニ一種ノ藥品ノ名稱ヲ表示スル所謂普通名稱ニ過キストシテ其ノ登録ヲ拒絕セラレタリ然ルニ右「ペインキラー」ナル一種ノ名詞ハ決シテ從來ナル者一種ノ植物性藥品ヲ發明シ之ヲ「ヴェゼタブル、ペインキラー」ト呼ビシヨリ終ニ「ペインキラー」ナル名稱ヲ右藥名ニ採用シ同時ニ之ヲ以テ其ノ必スデヴィスノ製作ニ依ルモノタルコトヲ示スコトトナシタルモノニシテ右デヴィスノ創設以前何人モ使用セザリシモノナリ後同人ハ之ヲ該藥品ノ商標ト爲シ專用シタルヨリ其ノ藥品取引上單ニ「ペインキラー」トシテ弘ク世上ニ知ラルルニ至リ其ノ本國ニ於テモ其ノ使用年月ノ長キト名稱ノ高大ナルトニ依リ時ニ或ハ之ヲ普通名稱ノ如ク誤解セラルルコトナキニアラサルモ今日尙ホ一種ノ特種名稱ナルコトハ一般ノ知ル處ナリト云フニ在リ
審査官答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ再審査査定書中ニ詳記シタル如ク本件 Pain Killer ナル文字ハ今日既ニ一種ノ鎮痛劑ノ普通名稱トシテ汎ク世人ニ使用セラレ世人ハ其ノ名ニ依リ直ニ其ノ商品ノ何物タルヤヲ了知スルノ程度ニアルモノニシテ其ノ語ノ起源カベルリデヴィスノ創作ニ係ルト否トハ其ノ普通名稱タルヲ妨クルモノニ非ラスト云フニ在リ
仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
本件商標ノ Pain Killer ナル文字カ六十年前ヨリ一種ノ植物性藥品ノ名稱トシテ取引上弘ク世上ニ知

ラル、ニ至リ米國ニ於テモ英語ノ一種ノ普通名稱ナリトナスモノアルニ至レルノ事實ハ請求人ノ自認スル處トス既ニ一定ノ名稱カ取引上一定商品ノ名稱トシテ普通ニ使用セラル、ニ至レルモノハ商標法第二條第六號ニ所謂商品普通ノ名稱タルモノナルカ故ニ本件商標ハ商標法第二條第六號ニ該當シ登録ヲ受クルコトヲ得サルモノトス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
請求人申立相立タス

明治四十一年四月十日於特許局

審判長 特許局長 中松盛雄
特許局事務官 宿利英治
特許局事務官 人見次郎

第千百五十四號

英吉利國ウチルセスタア市アロード町リ、エンドベリシス社 請求人
東京市麴町區八重洲町一丁目一番地特許代理業者 右代理人
兵庫縣神戸市荒田町三丁目 被請求人 安井敬七郎
右チャールス、ウイリアム、ダイソン、ペリンスヨリ安井敬七郎ニ對シ第九五八九號登録商標權利確認ノ爲
審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人カ「ソース」ニ使用スル第一號證〔被請求人ノ答辯書ニ添附セル乙商標ニ同シ〕ノ商標ト請求人ノ専用ニ係ル第九五八九號登錄商標ト撞着スト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ左右及上部ニ數多ノ三角形ヲ形成シツ、曲折セル布片形ヲ描キ其ノ他ノ餘地ニ花形ヲ嵌地セル外線内最上部ニ弧形ニ WORCESTERSHIRE SAUCE ト記シ其ノ下ニ楕形及該楕形ノ左右ニ弧狀線ヲ描キ線ノ間ニ FROM THE RECIPE OF A NOBLEMAN IN THE COUNTY ト分記シ其ノ下部ニ商品ノ用方品質效能登錄證主ノ姓名住所ヲ羅馬字ニテ七段ニ記シ更ニ其ノ下部ニ一箇ノ橫長方形區劃ヲ設ケ該區劃面上左右ニ鳥羽形ノ紋形ヲ面上ニ有スル正方形ノ面上ニ子母三線ヲ以テ劃シタル圓形欄内ニ左方圓内ニ二羽ヲ填充シ其ノ面上ニ Lea & Perrins ト記シテ成ル商標ヲ明治三十年八月二十八日付第九五八九號ヲ以テ登錄ヲ受ケ「ソース」ニ使用セリ然ルニ被請求人ハ第一號證〔被請求人ノ答辯書ニ添附セル乙商標ト同シ〕ニ示セルカ如キ商標ヲ同シク「ソース」ニ使用セリ右第一號證ノ商標ヲ請求人ノ前記登錄商標ト比較スルニ楕形内ノ記標製造者ノ氏名住所下部左右兩圓内ノ動物ヲ異ニスルモ他ハ殆ント同様ニシテ類似商標ト認定スヘキモノナリ被請求人ハ同ナル記標ハ人目ニ付キ易ク又 Lea & Perrins ヲ Ke Yosui ナル文字ハ最モ目立ツ故請求人ノ商標ト類似セスト稱スルモ此等ハ商標全部ヨリ見レハ其ノ一部ニ過キス商標全部ノ意匠的圖形ニ至テハ全ク同一ニシテ離隔的觀察ニ於テハ殆ント其ノ區別ヲ確認シ難ク類似商標ト云ハサルヲ得ヌ殊ニ商標中 Original manufacturers ト記シタルハ明ニ世人ヲ欺瞞スルモノニシテ商標法第二條第三號ニ依リ正當ノ商標タル資格ナシト云フニ在リテ甲第一號證及第五號證ヲ提出シタリ被請求人申立ノ要領ハ請求人専用ノ第九五八九號登錄商標ト被請求人ノ使用スル商標トハ抵觸セスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人提出ノ乙商標ハ太陽ノ下部ニ在ル同最モ人目ニ付キ易ク且請求人ノ商標ニ

ハ大字ヲ以テ中央ニ Lea & Perrins ト記シ被請求人ノ甲號商標ニハ同シク大字ヲ以テ被請求人ノ氏名 Ke Yosui ト記シ如此商標中最モ目立ツヘキ部分ニ於テ明確ナル區別アル上ハ兩商標ヲ以テ相類似セリト云フヲ得ヌ兩商標ノ類似セル點ハ商標用紙ノ地色ト其ノ形狀ナリ然レトモ是等ハ商標ノ部分ニ屬セス Worcestershire Sauce ナル語ハ此ノ種ノ「ソース」ノ普通名詞ニシテ產地名ハ商標タルコトヲ得サルヲ以テ被請求人ニ於テ之ヲ商標中ニ使用スルモ差支無シ請求人ハ被請求人カ「ヨリジナル、マヌファクチュラーズ」即チ元祖ト記シタルヲ答メ世人ヲ欺罔スルモノナリト云フト雖モ被請求人カ製造スル「ソース」ハ被請求人ノ發明ニ係リ此ノ種ノ「ソース」ニ付テハ被請求人カ元祖ナリ然レトモ元祖ノ何人ナルヤハ商標ノ類否ニ何等關スル所無シト云フニ在リテ乙第一號證ヲ提出シタリ仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據物件ヲ査閲シテ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人ノ所有ニ係ル第九五八九號登錄商標ハ左右及上部ニ數多ノ三角形ヲ形成シツ、曲折セル布片形ヲ描キ其ノ他ノ餘地ニ花形ヲ嵌地セル外線内最上部ニ弧形ニ WORCESTERSHIRE SAUCE ト記シ其ノ下ニ楕形及該楕形ノ左右ニ弧狀線ヲ描キ線ノ間ニ FROM THE RECIPE OF A NOBLEMAN IN THE COUNTY ト分記シ其ノ下部ニ商品ノ用方品質效能登錄證主ノ氏名住所ヲ羅馬字ニテ七段ニ記シ更ニ其ノ下部ニ一箇ノ橫長方形ノ區劃ヲ設ケ該區劃面上左右ニ鳥羽形ノ紋形ヲ面上ニ有スル正方形ノ面上ニ子母三線ヲ以テ劃シタル圓形欄内ニ左方圓内ニ二羽ノ鳥ヲ又右方圓内ニ兔ヲ描キ又長方形ノ區劃ノ中央部ノ上下ニ外線ト同様ノ圓形ヲ描キ其ノ中間ニ小紋形ヲ填充シ其ノ面上ニ Lea & Perrins ト記シテ成ル商標ニシテ明治三十年八月二十八日登錄セラレタルモノナリ然ルニ該商標ト被請求人ノ使用スル甲第一號證〔被請求人ノ明治四十年四月一日付提出ノ答辯書ニ貼附セル乙商標ト同シ〕ノ商標トハ楕形内ニ目印及製造者ノ氏名住所並下部左右兩圓形内ノ動物等ヲ異ニスルモ彼此商標

ノ概観相酷似シ商品取引上混同誤認ヲ免レサルモノト認ム而シテ其ノ商標ヲ使用スヘキ商品孰レモ「ソース」ナルカ故ニ被請求人ノ使用スル前記商標ハ請求人ノ所有ニ係ル第九五八九號登録商標ニ撞着スルモノトス其ノ他當事者ニ於テ論争スル所アルモ必要ナキニ依リ説明セス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

被請求人カ「ソース」ニ使用スル甲第一號證（被請求人ノ明治四十年四月一日付提出ノ答辯書ニ貼付セル乙商標ニ同シ）ノ商標ハ請求人ノ所有ニ係ル第九五八九號登録商標專用權ノ範圍ニ屬ス
明治四十一年四月三十日於特許局

審判長 特許局長 中松盛雄
特許局事務官 宿利英治
特許局事務官 奥山萬次郎

第一千二百九十八號

請求人 大倉庄吉
代理人 西脇今朝治
被請求人 嶺岸今朝治
宮城縣宮城郡高砂村大字岡田
東京市京橋區岡崎町一丁目三十三番地
東京市京橋區築地三丁目十五番地特許代理業者
右大倉庄吉ヨリ嶺岸今朝治ニ對シ第六八六四號登録商標專用權ヲ確認セシムル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人カ商品葡萄酒ニ使用セル商標ハ請求人ノ第六八六四號登録商標ノ專用權ニ

屬スト審決相成度其ノ理由ハ請求人カ明治二十八年九月十日附ヲ以テ第六八六四號ノ登録ヲ受ケ商品葡萄酒其ノ他ニ使用セル商標ハ光線ヲ發射セル太陽カ雲際ヨリ半バ現レタル圖ヲ畫キ其ノ左右ニ光線ニ掛ケテ隸書ニテ農商務省登録商標ト四字ツ、分記シ尙ホ光線ノ面上ナル中央ニ隸書ニテ旭ノ一字ヲ記シ上部ノ左右ニ各一羽ノ舞鶴ヲ畫キタルモノナリ然ルニ被請求人カ葡萄酒ニ使用セル無登録ノ商標ハ光線ヲ發射セル太陽カ怒濤ノ上半バ現ハレタル圖ヲ畫キ其ノ左右ニ光線ニ掛ケテ蔓唐草ヲ畫キ而シテ同草ノ面上ナル中央ニ羅馬字ニテ「トレード」マークト分記シ上部ノ内方ニ商標、外方ニ旭印ト各一字ツ、其ニ隸書ニテ分記シタルモノニシテ右兩者ノ間ニハ多少ノ差異ナキニアラスト雖モ斯ル差異ハ商標ノ主要部ニアラストシテ枝葉ニ屬シ到底兩商標ヲ區別スルニ足ラス兩者ハ離隔的ノ觀察ニ於テ相紛ハシキモノナルノミナラス其ノ商標上ヨリ生スル自然ノ稱呼ニ於テモ亦同一ナルヲ以テ被請求人ノ使用スル商標ハ請求人ノ第六八六四號登録商標ニ類似シ從テ請求人ノ登録商標ノ專用權ニ屬スルモノナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ
被請求人ハ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セス

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ査閲シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ
請求人ノ第六八六四號登録商標ハ明治二十八年三月二十六日登録ヲ出願シ同年九月十日登録セラレ商品葡萄酒外九種ノ商品ニ使用スルモノニシテ光線ヲ發射セル太陽カ雲際ヨリ半バ現ハレタル圖ヲ畫キ其ノ左右ニ光線ノ面上ニ掛ケテ隸書ニテ農商務省登録商標ノ八字ヲ四字ツ、分記シ光線ノ面上中央ニ隸書ニテ旭ノ一字ヲ記シ其ノ左右上方ニ各一羽ノ舞鶴ヲ畫キタルモノナリ而シテ被請求人カ商品葡萄酒ニ使用セル甲第二號證商標ハ光線ヲ發射セル太陽カ怒濤ノ上半バ現ハレタル圖ヲ畫キ其ノ左右ニ光線ニ掛ケテ蔓唐草ヲ畫キ其ノ面上ニ「TRADE MARK」ト分記シ上部ノ内方ニ商標外方ニ旭印ト隸書

ニテ分記シタルモノニシテ之ヲ請求人ノ前記登録商標ニ對比スルニ其ノ間多少ノ差異ナキニアラスト
 雖モ其ノ主要部分ニ於テ共ニ旭日ノ圖ヲ有シ且前記登録商標ニハ隸體ニテ旭ノ字ヲ記シ被請求人ノ商
 標ニハ隸體ニテ旭印ト附記シタルヲ以テ商標上ヨリ生スル稱呼相同シキモノト認ムルヲ以テ被請求人
 ノ商標ハ請求人ノ商標ニ類似シ互ニ撞着スルモノナルカ故ニ被請求人ノ使用スル甲第二號證ノ商標ハ
 請求人ノ前記登録商標專用權ノ範圍ニ屬スルモノトス
 右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

被請求人カ商品葡萄酒ニ使用セル甲第二號證ノ商標ハ請求人ノ第六八六四號登録商標專用權ノ範圍
 ニ屬スルモノトス

明治四十一年四月三十日於特許局

審判長 特許局事務官 宿利英治
 特許局事務官 奥山萬次郎
 特許局事務官 人見次郎

第一千三百二十七號

兵庫縣武庫郡魚崎村ノ内魚崎村四百五十番屋敷 請求人 山邑 太左衛門
 大阪市東區瓦町一丁目五番地特許代理業者 右代理人 廣井 代藏
 大阪市東區伏見町四丁目十九番地 被請求人 三好 虎之助
 大阪市東區備後町一丁目七番地特許代理業者 右代理人 西村 長太郎

右山邑太左衛門ヨリ三好虎之助ニ對シ第二七七九七號商標登録ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ
 審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第二七七九七號商標ノ登録ハ之ヲ無効トスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ノ第二
 七七九七號登録商標ハ一線ヨリ成ル複瓣櫻花形ノ周圍ニ方形ニ無數ノ櫻ノ花、葉及苔ヲ充填シテ畫キ以
 テ特種ノ圖形トナシ其ノ内部中央ニ組ミ合ハシタル「九三」ノ文字ノ上ニ正宗ノ二字ヲ書シタルモノナリ
 然ルニ請求人ノ第一三三三九號登録商標ハ一線ヨリ成ル複瓣櫻花形ノ周圍ニ方形ニ無數ノ櫻ノ花、葉及
 苔ヲ充填シテ畫キ以テ特種ノ圖形トナシ其ノ内部中央ニ複瓣櫻花ノ而上ニ正宗ト書シ其ノ他附記ノ文字
 圖形ヲ加ヘタルモノナリ右兩商標ハ一線櫻花形及其ノ周圍ニ方形ニ充填シタル櫻ノ花、葉、苔竝ニ内部ニ
 「正宗」ノ文字ヲ現ハシタル等重要ナル點ニ於テ全然同一ナリ只正宗ナル文字ノ下面ニ於ケル圖形ノ櫻花
 ナルト「九三」ノ組ミ合ハセ文字ナルト又附記ノ圖形文字ノ有無等ノ差異アルモ之等ハ兩者ノ差別ヲ甄別
 シ得ル價值アルモノニアラスシテ大體ニ於テ兩者ハ世人ヲシテ混同誤認セシムルノ虞アルモノナリ加之
 兩商標ハ其ノ圖形上ヨリ共ニ櫻正宗ナル稱呼ヲ生スヘク即チ相類似スルモノナリ而シテ請求人ノ第一三
 三三九號登録商標ハ明治三十二年六月十九日商品清酒ニ對シテ出願シ同年八月三十日登録ヲ受ケ又被請
 求人ノ第二七七九七號登録商標ハ明治三十九年九月二十四日等シク清酒ニ對シテ出願シ同年十一月十九
 日登録ヲ受ケタルモノナルカ故ニ右第二七七九七號商標登録ハ商標法第二條第四項第五項ニ該當シ同法
 第十條ニ依リ無効タルヘキモノナリト云フニアリ
 被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ請求ハ之ヲ棄却スト審決相成度其ノ理由ハ請求人ノ第一三三三九號登録
 商標ハ一線ヨリ成ル複瓣櫻花形ノ周圍ニ無數ノ櫻花ヲ畫キ右方ニ二箇ノ賞牌二箇ノ鳳凰ヲ排シ其ノ中央
 ニ一等有功賞ノ文字ヲ記入シ左方ニ名聲布四海ノ五字ヲ記シ中央ニ複瓣櫻花ノ上ニ正宗ト書シタリ然ル

ニ被請求人ノ第二七七九號登錄商標ハ輪郭ニ無數ノ櫻花ヲ散布シ中央ニ組ミ合ハセタル「九三」ノ文字
上ニ正宗ノ二字ヲ記シタルモノニシテ二者ノ識別ニ最モ重要ナル點ニ於テ大ニ異ナレリ偶々輪郭ニ無數
ノ櫻花ヲ配スルノ點ニ於テ稍相似タリト雖モ凡ソ清酒ニ貼用スル商標ニシテ正宗ナル文字ト他ノ文字又
ハ標章トヲ組ミ合セテ成ルモノ數百ニシテ止マラス而モ世人カ之ヲ識別スルニ當リテハ正宗ナル文字ニ
如何ナル文字又ハ記號等ヲ配スルヤヲ見、次ニ之ヲ何正宗ト唱フルヤ其ノ稱呼ニ注意ヲ拂フヲ常トス其
ノ輪郭ノ如キハ何等願ルナキヲ常トスルヲ以テ本件兩者ヲ混同誤認スルカ如キ虞ナク兩商標相類似スル
モノニ非ラスト云フニ在リ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

被請求人カ清酒ニ使用スル目的ヲ以テ登錄ヲ受ケタル第二七七九號登錄商標ハ複瓣櫻花形ノ輪郭ヲ
畫キ其ノ輪郭外ヲ四角形ニ櫻花ノ折枝ニテ繞ラシ輪郭内中央部ニ二重文字ニテ圓形ニ九三ト記シ其ノ
面上ニ草書ニテ正宗ノ二字ヲ大書シタルモノナリ然ルニ請求人カ商品清酒ニ使用スル目的ヲ以テ登錄
ヲ受ケタル第一三三三九號登錄商標ハ四角形ノ四隅ヲ缺キ其ノ缺キタル部分ニ一重ノ櫻花一輪ツ、ヲ
畫キ又四角形ノ内ニ複瓣櫻花形ノ輪郭ヲ設ケ其ノ輪郭外ヲ櫻花ノ折枝ニテ繞ラシ輪郭内中央部ニ複瓣
櫻花一輪ヲ畫キ其ノ面上ニ草書ニテ正宗ノ二字ヲ大書シ右側ニ二箇ノ賞牌及二箇ノ鳳凰ヲ畫キ其ノ中
央ニ一等有功賞ノ文字ヲ記シ左側ニ篆書ニテ名聲布四海ノ五字ヲ記シ其ノ下部ニ小圓形ヲ畫キ其ノ中
ニ篆書ニテ本家精釀ノ四字ヲ記シ而シテ中央正宗ノ上方ニ隸書ニテ登錄商標ノ四字ヲ橫記シ其ノ下部
左方ニ「TRADE」右方ニ「MARK」ト記シ下部ニ「SAKURA-MASAMUNE」ト橫記シタルモノニシテ圓形ニ記
シタル「九三」ノ文字ト複瓣櫻花ノ圖及其ノ他附記ノ文字及圖形ニ於テ差異ナキニアラスト雖モ複瓣櫻花
形ノ外部ヲ櫻花、葉及荅ヲ以テ四角形ニ圍繞シタル欄内ニ草書ニテ正宗ノ文字ヲ書下シタル點相同

シク兩商標ノ概觀相類似シ商品ノ取引上混同誤認ノ虞アルカ故ニ兩商標ハ類似商標ナリト認ム然リ而
シテ請求人ノ商標ハ明治三十二年六月二十一日登錄ヲ出願シ同年八月三十日登錄セラレタルモノニシ
テ被請求人ノ商標ハ明治三十九年九月二十四日登錄ヲ出願シ同年十一月十九日登錄セラレタルモノナ
ルカ故ニ被請求人ノ商標ハ商標法第二條第四號ニ該當シ同法第十條ニ依リ無効トナスヘキモノナリ其
ノ他當事者間ニ於テ辯論スル處アルモ必要ナキカ故ニ説明セス
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

被請求人ノ第二七七九號登錄商標ノ登錄ハ之ヲ無効トス

明治四十一年四月三十日於特許局

審判長 特許局事務官 宿利英治
特許局事務官 奥山萬次郎
特許局事務官 人見次郎

第四百八十九號乃至第四百九十三號

臺北縣大加納堡大稻埕得勝街一號 請求人 洪松英
臺北縣大加納堡大稻埕太平橫街三十九號 請求人 陳松
臺北縣大加納堡大稻埕南街二十號 請求人 陳輝
臺北縣大加納堡大稻埕建昌街二丁目十三號 請求人 陳大
臺北縣大加納堡大稻埕怡和巷街十七號 請求人 黃清
請求人 陳大 黃清 陳輝 陳大 黃清

臺北縣大加納堡大稻埕新興街五十六番戶	請	求	人	陳	玉	露				
臺北縣大加納堡大稻埕得勝街十五番戶	請	求	人	黃	添	泉				
臺北縣大加納堡大稻埕得勝街十四番戶	請	求	人	黃	清	齋				
臺北縣大加納堡大稻埕太平橫街十四番戶	請	求	人	王	棉	檢				
臺北縣大加納堡大稻埕朝陽街七十一番戶	請	求	人	王	芳	稱				
臺北縣大加納堡大稻埕六館街二丁目二十八番戶	請	求	人	張	占	魁				
臺北縣大加納堡大稻埕新興街五十番戶	請	求	人	馬	守	謙				
臺北縣大加納堡大稻埕南街二十番戶	請	求	人	莫	沛	然				
臺北縣大加納堡大稻埕永和街五番戶	請	求	人	劉	清	鐘				
臺北縣大加納堡大稻埕永和街十七番戶	請	求	人	白	圻	選				
臺北縣大加納堡大稻埕朝陽街二十八番戶	請	求	人	林	淇	水				
臺北縣大加納堡大稻埕怡和街十九番戶	請	求	人	鄭	水	仙				
東京市麴町區內幸町一丁目三番地特許代理業者	右	復	代	理	人	增	島	六	一	郎
東京市京橋區彌左衛門町十五番地特許代理業者	右	復	代	理	人	平	岡	萬	次	郎
臺北縣大加納堡大稻埕太平橫街	被	請	求	人	郭	春	秧	道	嘉	道
東京市京橋區日吉町二十番地特許代理業者	右	代	理	人	原	嘉	道	嘉	道	道

右洪英外十六名ヨリ郭春秧ニ對シ第一五〇一五號第一五〇一六號第一五〇一七號第一五〇七七號及第一五〇七八號商標登錄無效審判請求事件ニ付明治三十五年六月六日大審院カ言渡シタル判決ニヨリ差戻ヲ受ケ更ニ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ登錄商標第一五〇一五號第一五〇一六號第一五〇一七號第一五〇七七號第一五〇七八號ノ登錄ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ請求人等ハ二十餘年若クハ十餘年ノ久シキ臺灣ニ在リテ包種茶ノ營業ヲ爲シ本件商標ヲ包種茶ノ商標ニ使用セリ然ルニ被請求人ハ五年前初メテ渡臺シ同一商標ヲ使用セシモノナルニ明治三十三年七月ニ至リ其ノ登錄ヲ出願シ同年十一月登錄ヲ受ケ爾來之ヲ使用スルモ同商標ハ前記ノ如ク請求人等カ商標法施行前即チ明治三十二年七月ヨリ使用セルモノナルカ故ニ其ノ登錄ハ同法第二條第五號ニ該當シ無効ナリ被請求人ノ主張スルカ如ク明治三十一年八月十六日臺灣總督府令第八十三號ニ依リテ臺北茶商公會ヲ組織シタリトスルモ右公會規約ノ商標ニ關スル規定ハ實際ニ行ハレス乙第二號證及同第三號證公會ノ決議ハ適法ナル形式ニヨリ成立シタルモノト認ムヘカラスト雖モ其ノ成立如何ニ關ハラス該證ニ依レハ乙第二號證ハ其ノ當時同一商標ヲ使用スル者多數アリシニヨリ其ノ救濟ヲ爲サントシテ決議シタルニ拘ハラズ實際決議ノ行ハレサリシ爲メ更ニ乙第三號證ノ決議ヲ爲シタルモ是亦實際行ハレスシテ從來使用者ニ於テ隨意其ノ商標ヲ使用シタルコトハ陳瑞星、大庭永成ノ證言ニ徵スルモ明ナリ被請求人ハ右決議書ヲ援用シ被請求人ハ其ノ商標ヲ公會ニ届出テ承認ヲ經タルモ請求人ハ此ノ手續ヲ爲サ、ルカ故ニ請求人ニ於テ事實上本件商標ヲ使用スルモ是被請求人ノ商標專用權ヲ侵害スル不法ノ使用ナリト主張スルモ公會規約第十七條ニハ商標ハ公會事務所ニ申出テ其ノ承認ヲ經ヘントアリテ此ノ承認ナキ以上ハ何人ノ專用トモ決定セサルナリ然ルニ決議書ニハ其ノ承認ヲ與ヘタル證據ナク只届出ヲ爲サ、リシモノハ違約處分ニ依ルトアルモ其ノ制裁ハ不明ナレハ之ヲ以テ被請求人ノ主張ヲ認ムルコトヲ得ス又請求人中洪英、玉棉檢、馬守謙、林淇水、莫沛然ハ何レモ茶商ヲ營ミ黃清齋、黃添泉ハ日本籍ヲ有スルモノニシテ是ニ關スル被請求人ノ主張モ亦理由ナシト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第三號證及證人陳瑞星、李春生、趙滿朝、大庭永成、陳天來、林望周ノ證言ヲ援用セ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ臺灣ニ商標法ノ施行セラ
 ル、以前ヨリ本件商標ヲ使用シタリシカ故ニ同法施行後之カ登録ヲ受ケタルモノナリ而シテ請求人等カ
 商標法施行以前ヨリ係争商標ト同一若クハ類似ノ商標ヲ製茶ニ使用シ居リタリトノ事實ハ被請求人之ヲ
 認メス假リニ請求人等ハ商標法施行前ニ於テ本件登録商標ト同一若クハ類似ノ商標ヲ使用シ居タリトス
 ルモ此ノ事實ハ之ヲ以テ被請求人ニ對抗スルヲ得ヘキモノニアラス何トナレハ臺灣ニ於テハ明治三十
 一年八月十三日總督府令第八十三號ヲ以テ臺灣茶業取締規則ヲ公布セラレ茶業組合ヲ設ケタル地區内ニ於
 テハ組合以外ノ者ハ茶業ヲ營ムコトヲ得サルモノト定メラレ又茶業組合ハ粗惡茶及正茶取締ニ關スル事
 項並ニ製造及販賣上ノ弊害矯正ニ關スル事項等ニ付規約ヲ定メ總督ノ認可ヲ受クヘキ旨ヲ發布セラレタ
 リ臺北ノ茶業者ハ此ノ府令ニ基キ明治三十一年十一月十日臺北茶商公會ヲ組織シ同三十二年一月二十四
 日總督ノ認可ヲ受ケタリ而シテ公會規約第五章ニ於テ商標ノ保護取締ニ關スル規定ヲ設ケ會員中自家製
 造ノ製茶ヲ表彰スル商標ヲ使用セントスル者ハ明細書及見本ヲ添ヘ公會事務所ニ申出テ其ノ承認ヲ受ケ
 之ヲ專用スルヲ得ヘキ旨ヲ定メ此ノ手續ニ依リ一人ノ專用ニ歸シタル商標ハ他人之ヲ使用スルヲ得ス若
 シ擬造又ハ使用スル時ハ違約處分法ニ依リ其ノ商標ヲ附シタル用紙及原版ヲ引キ上ケ燒却スヘキコトヲ
 定メタリ而シテ被請求人ノ本件登録商標ハ商標法施行以前實ニ此ノ規約ニ依リテ公會事務所ニ申出テ其
 ノ承認ヲ受ケタルモノナルニ請求人等ハ嘗テ此ノ手續ヲ爲シタルコトナシ從テ假リニ請求人等主張ノ如
 ク請求人等カ商標法施行以前ニ於テ本件登録商標ト類似商標ノ使用ヲ爲シ居タリトスルモ是被請求人ノ
 權利ヲ侵害シタル不法ノ使用ナリ彼ノ商標法第二條第五號ニ他ニ使用者アル時トアルハ勿論他人カ適法
 ニ使用スル場合ヲ指シ他人ノ侵害行為ノ如キハ茲ニ所謂使用ニアラス請求人等ハ不法ノ使用ニ基キ本件

ノ請求ヲ爲スヲ得ス又請求人ハ茶商公會規約ハ實施サレザリシト云フモ公會規約ハ實施セラレタルコト
 勿論ニシテ被請求人ハ本件商標ヲ直ニ届出テタリ然ルニ請求人等ハ被請求人ノ商標ヲ摸擬使用シタルモ
 ノナルヲ以テ公然ノ届出ヲナス能ハサリシナリ公會ハ乙第二號證及第三號證ノ決議ヲ以テ各茶商ニ對シ
 其ノ使用商標ヲ届出ツヘク若シ之ヲ届出テサル時ハ失權者トシテ處分スヘキ旨ヲ警告シタリ而シテ證人
 陳瑞星及大庭永成ノ證言ト右決議書ヲ綜合スレハ被請求人ハ其ノ使用商標ヲ届出テタルモ請求人等ハ之
 ヲ届出テタルコトナシ被請求人ノ届出アリテ他人之ヲ届出テサリシ上ハ被請求人ノミ之ヲ使用シ得ヘキ
 コトハ亦陳瑞星ノ證言ニ徴シテ之ヲ知ルヘシ假リニ請求人ニ於テ本件商標ヲ商標法施行前ヨリ使用シタ
 ル事實アリトスルモ其ノ使用ハ被請求人ノ商標專用權ヲ侵害シタル不法ノ使用ナリ且請求人中洪英、玉
 棉檢、馬守謙、林淇水、莫沛然、鄭水仙ハ何レモ現今茶業ヲ營ムモノニアラサルヲ以テ本件登録商標ニ
 付何等利害關係ナク本件請求ヲ爲スヲ得ス其ノ他黃清齋、黃添泉、鄭水仙ハ清國人ニシテ商標法ノ保護ヲ
 受クヘキ權利ナク劉清鐘ハ既ニ死去シタルニ尙ホ其ノ名ヲ以テ請求ヲ爲スハ不法モ甚タシキモノナレハ
 本請求ハ棄却セラレタシト云フニアリテ乙第二號證乃至同第五號證及證人陳瑞星、大庭永成ノ證言ヲ援
 用セリ
 仍テ本件ニ關スル一切ノ書類並ニ證據ヲ查閱シ當事者ノ口頭陳述ヲ聞キ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ
 如シ

被請求人ハ請求人中洪英、王棉檢、馬守謙、林淇水、莫沛然、鄭水仙ハ何レモ現今茶業ヲ營マサルヲ以テ
 本件登録商標ニ付何等ノ利害關係無キモノナレハ本件請求ヲ爲スヲ得ス其ノ他黃清齋、黃添泉、鄭水仙
 ハ清國人ニシテ商標法ノ保護ヲ受クヘキ權利ナク劉清鐘ハ既ニ死亡シタルニ尙ホ其ノ名ヲ以テ請求ヲ
 ナスハ不當ナリト主張スト雖モ商標登録ヲ無効トスル爲メ審判ヲ請求シ得ル者ハ利害關係人ニ限ラサ

ルコトハ商標法第二十條ニ依リ商標ニ關シテ準用セラレタル特許法第三十條ノ解釋上疑ナキ所ナリ又帝國内ニ住所又ハ營業所ヲ有スル者ハ何人ヲ問ハス審判請求權ヲ認メタルコトハ商標法施行細則第十七條ニ依リ商標ニ關シテ準用シタル特許法施行細則第十條ノニ照ラスモ明ニシテ前記黃清齋外二名カ臺灣ニ營業所ヲ有スルコトハ臺北廳長ノ取調書ニ依リ明ナルヲ以テ右清國人亦審判請求權ナシト云フヲ得ス又劉清鐘ノ生存者ナルコトハ臺北廳長ノ取調書ニ依リテ明ナレハ上述ノ被請求人ノ主張ハ理由ナキモノトス依テ本案ニ就テ審理スルニ請求人カ商標法施行前ヨリ引續キ使用セリト主張スル甲第一號證五種ノ商標ト被請求人所有ノ登錄商標第一五〇一五號第一五〇一六號第一五〇一七號第一五〇七七號及第一五〇七八號商標ト酷似ノモノタルコトハ當事者間爭ナキ所ニシテ爭點ハ第一、甲第一號證五種ノ商標ヲ包種茶ノ商標トシテ被請求人以外ノ者ニ於テ商標法施行前ヨリ引續キ使用セル事實アルヤ否ヤ第二、第一ノ爭點タル該商標使用ノ事實アル場合ニ於テ其ノ使用ハ商標法第二條第五號ニ所謂使用ニ該當スルヤ否ヤニアリ第一點ニ付キテハ證人李春生趙滿朝及大庭永成ノ證言ニ依ルモ略ホ該商標使用ノ事實ヲ認メ得ルノミナラス證人陳天來及林望周ノ證言ニ依レハ明ニ其ノ事實ヲ確認スルコトヲ得ヘシ第二點ニ關シテハ被請求人ハ本件登錄商標ヲ商標法施行以前明治三十一年八月臺灣總督府令第八十三號及同年九月臺北縣令第六號ニ基キ設立シタル臺北縣臺北茶商公會規約ニ從テ公會事務所ニ申出テ其ノ承認ヲ受ケタルモノナルモ請求人ハ嘗テ此ノ手續ヲ爲サス從テ請求人カ商標法施行以前ヨリ本件登錄商標ト類似商標ヲ使用シタル事實アリトスルモ是被請求人ノ專用權ヲ侵害シタル不法ノ使用ニシテ商標法第二條第五號ニ所謂使用ト稱スヘキモノニアラスト主張スト雖モ被請求人カ本件登錄商標ニ付公會ヨリ其ノ使用ノ承認ヲ受ケタル事實ニ付テハ一モ其ノ證據ノ認ムヘキモノナシ被請求人カ本件登錄商標ヲ公會ニ届出テタル事實アルモ公會規約第十七條ニ依レハ商標ハ公會事務所ニ申

出テ其ノ承認ヲ受ケテ之ヲ專用スルヲ得ヘシト規定セルヲ以テ專用權ヲ獲得シタルモノト云フヘカラス又一方ニ於テ請求人カ其ノ商標ヲ公會ニ届出ツルコトヲ怠リタリトスルモ公會規約中ニハ第二十條ニ於テ他人ノ專用ニ屬スル商標ヲ使用シタル場合ノ制裁ヲ規定シタルニ止マリ只届出ヲ怠リタル者ニ對スル制裁ニ付キテハ何等ノ規定ナシ從テ乙第二號證及同第三號證公會決議書ニハ指定ノ期間内ニ商標ノ届出ヲナサ、ルモノハ偷用トシテ處分スヘシトアレトモ公會規約中該決議ノ準據スヘキ條項ナキヲ以テ届出ヲ怠リタル理由ニヨリ直ニ請求人ノ商標使用ヲ不法ノ使用ナリト斷定スルコトヲ得ス要之本件五種ノ登錄商標ト酷似ノ商標ヲ請求人ニ於テ商標法施行前ヨリ引續キ使用シ來レル事實明ニシテ其ノ使用ヲ以テ不法ノ使用ト認ムヘカラサル以上ハ本件五種ノ登錄商標ノ登錄ハ商標法第二條第五號ニ該當シ同法第十條ニ依リ無効タルヘキモノナリ

右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ
 登錄商標第一五〇一五號第一五〇一六號第一五〇一七號第一五〇七七號及第一五〇七八號ノ登錄ハ無効トス

明治四十一年六月五日於特許局

審判長 特許局事務官 宿 利 英 治
 特許局事務官 松 田 啓 太 郎
 特許局事務官 人 見 次 郎

第一千三百十號

富山市荒町二十五番地

東京市本所區小泉町三十四番地特許代理業者

栃木縣鹽谷郡北高根澤村大字上高根澤百十九番地

東京市日本橋區通二丁目一番地特許代理業者

請求人 佐久間 文明

右代理人 宮崎 三之助

被請求人 宇津 權右衛門

右代理人 加藤 規衛

右佐久間文明ヨリ宇津權右衛門ニ對シ第二八〇八四號商標登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第二八〇八四號商標ノ登錄ハ無効ナリト審決相成度其ノ理由ハ被請求人ハ小兒蟲氣用ノ丸藥錠劑ノ商標トシテ明治三十九年十二月二十一日第二八〇八四號ヲ以テ長方形形ノ中央ニ金匱救命丸ノ大字及其ノ上部ニ二人ノ小兒相抱擁スルノ圖ヲ畫キ其ノ兩側ニ小兒藥王ト書シ下部ニ自己ノ店舖姓名ヲ付書シタル商標ノ登錄ヲ受ケタリ然ルニ請求人ハ明治十六年九月十日主務官廳ノ許可ヲ得テ大人小兒解熱其ノ他諸病藥トシテ金匱救命丸ナル商標ヲ付シタル賣藥ヲ今日迄引續キ販賣營業セリ而シテ請求人專用ノ商標ト被請求人ノ登錄商標トハ長方形形ノ輪郭ト兩兒相抱擁スル圖及製藥效能小兒藥王其ノ他住所氏名等微細ノ點ニ於テ差アリト雖モ其ノ主タル部分即チ金匱救命丸ナル文字ハ同一ニシテ世人ノ重キヲ置クハ此ノ文字ニアリ其ノ輪郭圖形等ノ有無ハ商標ノ價值ニ何等ノ影響ヲ及ボサス故ニ被請求人ノ前記登錄商標ハ請求人ノ前記商標ニ類似シ商標法第二條第五號ニ該當シ登錄ヲ受クルヲ得サルモノナリ被請求人ハ本件登錄商標ハ丸藥錠劑ニ限ルヲ以テ請求人ノ商標ノ範圍外ニアリト云フト雖

モ請求人專用商標ノ範圍ハ大人小兒解熱其ノ他諸病藥ニシテ其ノ範圍最モ廣クシテ丸藥錠劑モ包含セリ被請求人ハ又金匱救命丸ハ普通名稱ニ屬スト云フト雖モ凡ソ或ル名稱ノ普通名稱ナルヤ否ヤヲ區別スルニハ古來ヨリ使用シ來リ一般ニ公知ノモノナリヤ否ヤニ依ルヘキモノニシテ金匱救命丸ナル名稱ハ昔ヨリ在來ノ名稱ニアラスシテ請求人ノ考案ニ係ルモノナレハ普通名稱ニアラスト云フニ在リテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ申立相立タスト審決相成度其ノ理由ハ請求人ハ明治十六年以來金匱救命丸ナル商標ヲ付シタル賣藥ノ製造販賣ヲ爲シ來リタリト云フト雖モ其ノ事實ハ之ヲ認メス假リニ其ノ事實アリトスルモ被請求人ノ登錄商標ハ蟲氣用ノ丸藥錠劑ニ限ルヲ以テ請求人ノ商標ノ範圍外ニアリ又本件登錄商標ハ單ニ金匱救命丸ナル文字ヨリ成レルモノニアラスシテ該文字ト長方形ノ輪郭ト兩兒相抱擁セル圖形トヲ以テ成レルモノナルカ故ニ單ニ金匱救命丸ナル文字ヨリ成ル商標ト類似スルモノニアラス又金匱救命丸ナル名稱ハ現時ニ於テハ寶丹精錡水實母散ト同シク一般的名稱ト化シタルモノニシテ商標法第二條第六號ノ適用ヲ受クヘキモノナリ若シ金匱救命丸ナル文字カ普通名稱ニ非ストセハ右ノ文字ハ第二〇八七五號登錄商標ニ之ヲ有シ右登錄商標ハ登錄後三年ノ經過ニ依リ既ニ其ノ無効ヲ主張スルコト能ハサルモノナルヲ以テ此ノ點ヨリスルモ本件請求ハ不當ナリト云フニ在リテ乙第一號證乃至乙第三號證ヲ提出セリ

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類及證據ヲ查閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

請求人ハ被請求人ノ第二八〇八四號登錄商標ハ請求人ノ商標ニ類似スト云フト雖モ被請求人ノ右商標ハ四隅ヲ卷曲セル曲線ヲ以テ區別セル長方形ノ中央ニ文字ニテ金匱救命丸ト横記シ其ノ上部ニ二人ノ小兒相抱擁スルノ圖ヲ畫キ其ノ右方ニハ小兒ナル文字左方ニ藥王ナル文字ヲ横記シ下部ニ小字ニテ三

段ニ小兒蟲氣一切之良藥、本輔大日本下野國高根澤西根郷宇津權右衛門謹製ト横記シ其ノ下部左方ニ
KINKI石方ニKIUMEIGAN中央ニTAKANESAWASHIMOTSUKEJAPANト横記シタルモノニシ
テ請求人カ明治十六年九月十日ヨリ使用セリト主張スル商標ハ單ニ金匱救命丸ト記載セルノミナルカ
故ニ特種ノ圖形及文字ヨリ成ル被請求人ノ第二八〇八四號登錄商標トハ互ニ類似セサルモノト認ム
ニ兩商標ニシテ相類似セサルモノト認定スル以上ハ爾餘ノ争點ニ付考覈スルノ必要ナシ
右ノ理由ニ依リ審決スルコト左ノ如シ

請求人申立相立タス

明治四十一年六月九日於特許局

審判長

特許局事務官

宿利英治

特許局事務官

奥山萬次郎

特許局事務官

人見次郎

第千三百四十九號

奈良縣吉野郡下市町大字下市百八十七番地

大阪市東區瓦町一丁目五番地特許代理業者

奈良縣吉野郡下市町大字下市百四十四番屋敷

請求人 上田四郎平

右代理人 廣井代藏

被請求人 中島壽玄

右田四郎平ヨリ中島壽玄ニ對シ第二七〇九〇號商標登錄ヲ無効トスル爲審判ヲ請求シタルニ依リ審理
ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ第二七〇九〇號商標登錄ハ煎劑浸劑ニ對シ無効トスト審決相成度其ノ理由ハ被請求
人ノ專用權ヲ有スル第二七〇九〇號登錄商標ハ明治三十九年六月十五日第一類藥劑化學品及醫療補助品
一切ニ對シテ登錄ヲ出願シ同年九月一日登錄ヲ受ケタルモノニシテ其ノ商標ハ安泰ノ二字ヲ記シ傍訓ヲ
施シタルモノナリ然ルニ請求人ノ前代上田四郎平ハ甲號各證ノ示ス如ク商標法施行期日タル明治三十
九年七月一日以前ヨリ引續キ煎劑浸劑ニ對シ安泰湯ト記シタル商標ヲ使用セルモノニシテ前代ハ明治三十
九年九月死亡シタルニヨリ請求人ニ於テ家督相續ト共ニ營業ノ全部ヲ繼承シ爾來尙ホ引續キ同商標ヲ使
用セルモノナリ而シテ右第二七〇九〇號登錄商標ト請求人カ前代ヨリ引續キ使用セル商標トハ等シク安
泰ナル主要部ヨリ成ルモノナルカ故ニ稱呼同一ニシテ相類似スルモノナルコトハ論ヲ埃タス從テ第二七
〇九〇號登錄商標ハ商標法第二條第五號ニ該當シ同法第十條ニ依リ其ノ登錄ハ無効タルヘキモノナリト
云フニ在リテ其ノ申立ヲ確ムル爲甲第一號證乃至同第四號證ヲ提出セリ

被請求人ハ本件審判請求書ノ送附ヲ受ケ指定ノ期間内ニ答辯書ヲ提出セス

仍テ本件ニ關スル一切ノ書類並ニ證據ヲ査閱シ審決ノ理由ヲ説明スルコト左ノ如シ

第二七〇九〇號商標登錄主即チ被請求人中島壽玄ハ本年五月二十五日付ヲ以テ特許局ニ對シ該商標

ヲ使用スヘキ指定商品中煎劑、浸劑ニ對シ商標專用權拋棄届ヲ差出シ即日其ノ旨登錄セラレ本件審判

請求ノ目的ハ消滅シタルモノトス

右ノ理由ニヨリ審決スルコト左ノ如シ

本件請求ハ之ヲ却下ス

明治四十一年六月十六日於特許局

審判長

特許局事務官

宿利英治

特許局事務官 奥山 萬次郎
特許局事務官 人見 次郎

第一千三百一號

東京市京橋區木挽町一丁目十四番地

請求人 廣瀨 定治郎

東京市京橋區南鍋町二丁目四番地特許代理業者

右代理人 原田 敬吾

右廣瀨定治郎ヨリ願書番號第四三七一號商標登録願ニ對スル特許局審査官ノ拒絕再査定ニ服セス審判ヲ請求シタルニ依リ審理ヲ遂クル處

請求人申立ノ要領ハ商標登録願第四三七一號ノ商標ハ登録スヘキモノナリト審決相成度其ノ理由ハ審査官ハ本願商標ノ要部ヲ「ぬか石鹼」ノ文字ニ在リト云フモ見本ニ於テ明ナルカ如ク數莖ノ稻穂ヲ顯著ニ描記シ其ノ中央ニ「ぬか石鹼」ト記シタルモノニシテ離隔上ノ外觀ニ於テハ何人モ先ツ其ノ圖形ニ注目シ而シテ後ニ文字ヲ一讀スヘキカ故ニ本件商標ノ要部ガ稻穂ノ圖形ニアラスシテ「ぬか石鹼」ノ文字ニアリト云フカ如キ說ハ本件商標見本ニ於テ文字ノ部分ヲ赤ク着色シタルカ爲ニ眩惑シタル結果ナルベシ審査官ハ「ぬか石鹼」ナル文字ハ商標中樞ノ位置ニアリテ要部ヲ構成シ稻穂ノ圖形ハ此ノ文字ノ周圍ニ描キアルヲ以テ一ノ裝飾タルニ過キスト云フモ位置ヲ以テ商標ノ要部ヲ定メントスルハ誤レリ要部タルヤ否ヤハ人ノ注意ヲ惹クヤ否ヤニヨリテ決スヘキモノニシテ「ぬか石鹼」ナル文字カ果シテ人ノ注意ヲ惹クニ足ラモノナランニハ其ノ位置カ何處ニアリトモ決シテ要部タルヲ害セサルヘク又若シ人ノ注意ヲ惹クニ足ラサルモノナルトキハ假令中樞ノ位置ニ在リトモ要部タルヲ得サルヘシ故ニ稻穂ガ周圍ニアリテ文字カ中

樞ニ在ル點ニ執着シテ要部ヲ定メント試ルカ如キハ甚タ誤レリ又稻穂ノ圖形カ裝飾ノ目的ニ使用セラレタルニ過キスト云フモ凡ソ商標ニ於テ圖形カ裝飾ノ意ヲ含マサルハ幾ント稀ナリ然レトモ或ハ圖形カ單ニ附記ノ裝飾ナルヤ將タ商標ノ要部ナルヤハ商標法上ノ原理ニ基キ客觀的ニ斷定スヘキ商標案出者ノ主觀的意思ヲ顧慮スヘキモノニアラス故ニ稻穂ノ圖形ガ單ニ修飾ノ目的ニ出タリトスルモ事理ニ於テ要部ヲ構成セル以上ハ則チ要部タルヲ害セス假リニ一步ヲ讓リテ本件商標ノ要部ヲ「ぬか石鹼」ノ文字ニアリトスルモ之ヲ以テ商品ノ品質ヲ表彰スル商標ト云フハ甚タ謬レリ何トナレハ本件商標ヲ附スヘキ商品ハ糠、午臘、拂子油、苛性曹達ノ化合物ナルヲ以テ所謂品質ハ即チ此化合物ナルコト論ヲ俟タス而シテ糠ハ化合物ヲ組成セル一原料ナルニ相違ナシト雖モ原料ト品質トハ區別判然タルヲ以テ原料ノ一部ヲ表示スレハトテ特別著明ノ要件ヲ缺如セリト云フヘカラス殊ニ糠ト石鹼トハ其ノ效用ニ於テモ甚タ抵觸シ糠ヲ以テ洗滌ノ用ヲ爲シ難キ場合ニ石鹼ヲ以テ其ノ目的ヲ達シ得ヘク普通ノ慣習ニ於テモ石鹼ヲ購フノ資力若クハ便宜ナキ場合ニ限リ糠ヲ使用スルノ狀態ナルカ故ニ此ノ抵觸セル二名稱ヲ連結シテ「ぬか石鹼」ナル奇異ノ名稱ヲ作リタル點ニ於テ特別著明ノ外觀ヲ構成セルハ明ナリ審査官ハ「ぬか石鹼」トハ「糠」ノ入リタル石鹼」ト云フ意味ニシテ常識上「糠」ノ入ラサル石鹼」ト其ノ品質ヲ異ニスルカ故ニ是レ即チ商品ノ品質ヲ表示スル名稱ナリト云フモ此ノ議論ハ其ノ自白スルカ如ク常識論ニシテ商標法上ノ議論ニアラス商標法ニ所謂品質トハ商品ノ資格ヲ謂フモノニシテ審査官ノ謂フカ如ク或一原料ノ混入セルヤ否ヤヲ謂フニアラス何トナレハ或一原料ノ有無ヲ以テ商品ノ資格ヲ定ム可カラサレハナリ且又「ぬか石鹼」トハ糠ノ入タル石鹼ト斷定スルハ甚タ早計ニシテ或ハ「糠」ノ效用ヲナス石鹼」或ハ「糠」ノ如ク價格低廉ナル石鹼」或ハ糠ノ用方ニ從ヒ袋ニ入レ湯ニ浸シテ使用シ若クハ糠ト混合シテ使用シ得ヘシトノ意味ニ於テモ解スヘク必スシモ糠ヲ原料ノ一トシテ製造シタリトノ意味ニ限定セラル、モノニアラス審査官カ縱ニ其ノ意